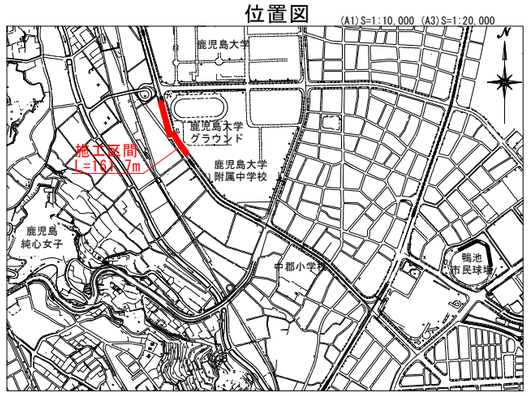
唐湊線（郡元工区）電線共同溝設置工事（その６）計画平面図(1/2)　(A1)S=1:250　(A3)S=1:500
【BP～NO.6】

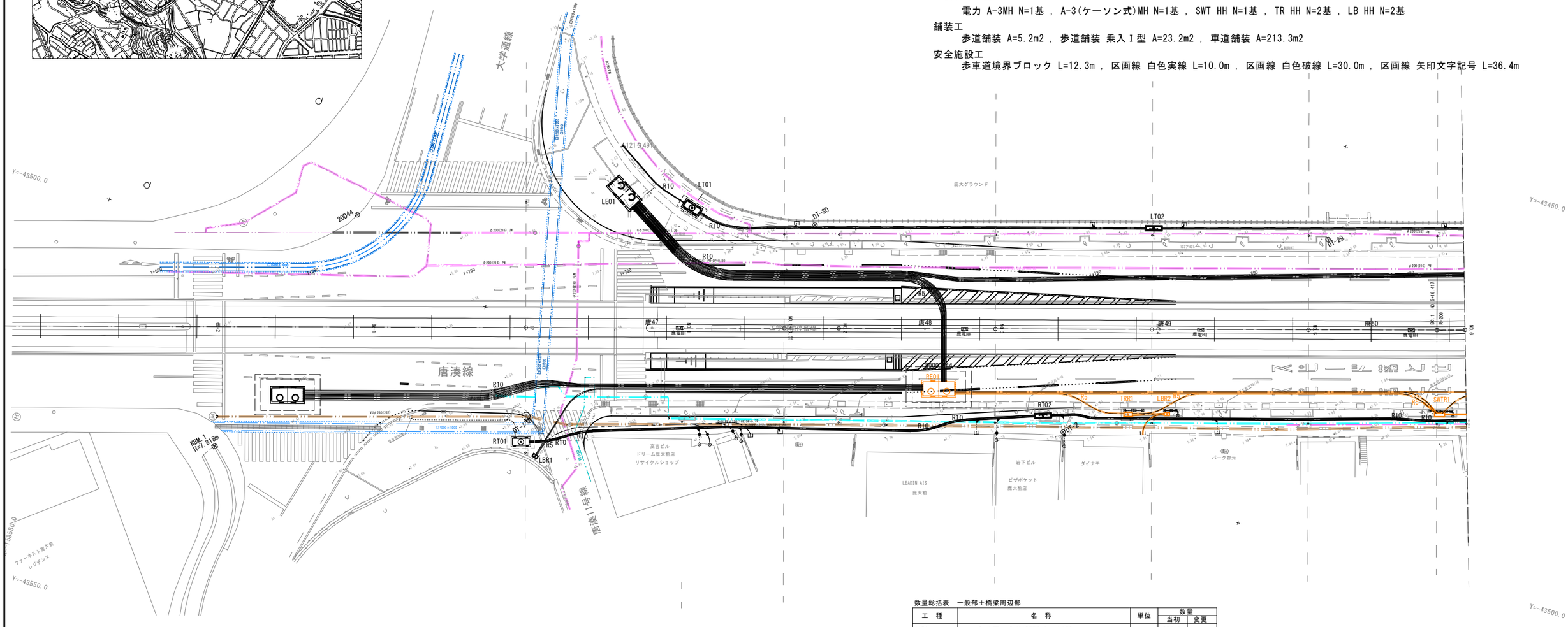
位置図　(A1)S=1:10,000 (A3)S=1:20,000



工事起点
No. 2+10.6

施工区間 L=161.7m

管路工
　電力 強化可とう管(SFEP管) φ150 L=225.3m， 強化可とう管(SFEP管) φ100 L=586.5m
　　難燃性FEP管 φ150 L=5.0m， 難燃性FEP管 φ100 L=31.9m
特殊部設置工
　電力 A-3MH N=1基， A-3(ケーソン式)MH N=1基， SWT HH N=1基， TR HH N=2基， LB HH N=2基
舗装工
　歩道舗装 A=5.2m2， 歩道舗装 乗入Ⅰ型 A=23.2m2， 車道舗装 A=213.3m2
安全施設工
　歩車道境界ブロック L=12.3m， 区画線 白色実線 L=10.0m， 区画線 白色破線 L=30.0m， 区画線 矢印文字記号 L=36.4m



数量総括表　一般部＋橋梁周辺部

工　種	名　称	単位	数量 当初	数量 変更
管路工	電力 強化可とう管(SFEP管) φ150	m	225.3	
	強化可とう管(SFEP管) φ100	m	586.5	
	難燃性FEP管 φ150	m	5.0	
	難燃性FEP管 φ80	m	31.9	
特殊部設置工	電力 A-3マンホール	基	1	
	電力 A-3(ケーソン式)マンホール	基	1	
	SWTハンドホール	基	1	
	TRハンドホール	基	2	
	LBハンドホール	基	2	
舗装工	歩道舗装	m2	5.2	
	歩道舗装 乗入Ⅰ型	m2	23.2	
	車道舗装	m2	213.3	
安全施設工	歩車道境界ブロック	m	12.3	
	白色実線(W=15cm)	m	10.0	
	白色破線(W=15cm)	m	30.0	
	矢印・文字・記号(W=15cm換算)	m	36.4	

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	唐湊線（郡元工区）電線共同溝設置工事(その６) 計画平面図(1/2)　S=1:250		
図面番号	全 46 の 1	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　　099-281-9143

唐湊線（郡元工区）電線共同溝設置工事(その６)計画平面図(2/2)　(A1)S=1:250　(A3)S=1:500
【NO.6～NO.14+7.0】

施工区間 L=161.7m

工事終点 No.10+12.3

管路工

電力 強化可とう管(SFEP管) φ150 L=225.3m ， 強化可とう管(SFEP管) φ100 L=586.5m
難燃性FEP管 φ150 L=5.0m ， 難燃性FEP管 φ100 L=31.9m

特殊部設置工

電力 A-3MH N=1基 ， A-3(ケーソン式)MH N=1基 ， SWT HH N=1基 ， TR HH N=2基 ， LB HH N=2基

舗装工

歩道舗装 A=5.2m2 ， 歩道舗装 乗入Ⅰ型 A=23.2m2 ， 車道舗装 A=213.3m2

安全施設工

歩車道境界ブロック L=12.3m ， 区画線 白色実線 L=10.0m ， 区画線 白色破線 L=30.0m ， 区画線 矢印文字記号 L=36.4m



工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	唐湊線（郡元工区）電線共同溝設置工事(その６) 計画平面図(2/2)　S=1:250		
図面番号	全 46 の 2	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　　099-281-9143

配線計画平面図(1/2)　(A1)S=1:250　(A3)S=1:500
【BP～NO.6】

特殊部凡例

区　分	記　号	名　称
電力系		A-2マンホール 1500×1800×3500
		A-3マンホール 1800×2100×4000
		A-3特1マンホール 1800×2100×4700
		機器用ハンドホール 680×800×1560 (SWM用)
		機器用ハンドホール 420×450×1200 (SWT用)
		機器用ハンドホール 470×800×1000 (TR用)
		機器用ハンドホール 330×590×610 (LB用) 330×650×610 (LB用-底なし)
通信系		T-1(特殊部Ⅱ型横断用)（車道） 1400×1800×3000
		T-2(特殊部Ⅱ型横断用)（歩道） 950×1400×3000
		T-3(特殊部Ⅱ型起点用)（歩車道） 950×1500×2200
		T-4(通信接続用)（歩道） 500×1050×2000
		通信ハンドホール 1400×800×1320

参画企業記号凡例

区　分	記号	企　業　名
電力系	E特	九州電力-高圧幹線
	Eh	九州電力-高圧分岐
	EL	九州電力-低圧
	E特メ	メンテナンス管(電力用)
	EC1	九州電力-遠制ケーブル
	EC2	九州電力-光通信ケーブル
	ECメ	メンテナンス管(通信用)
通信系	N	西日本電信電話
	Q	QTnet
	B	BTV
	メ	メンテナンス管
	P	鹿児島県警(信号等)

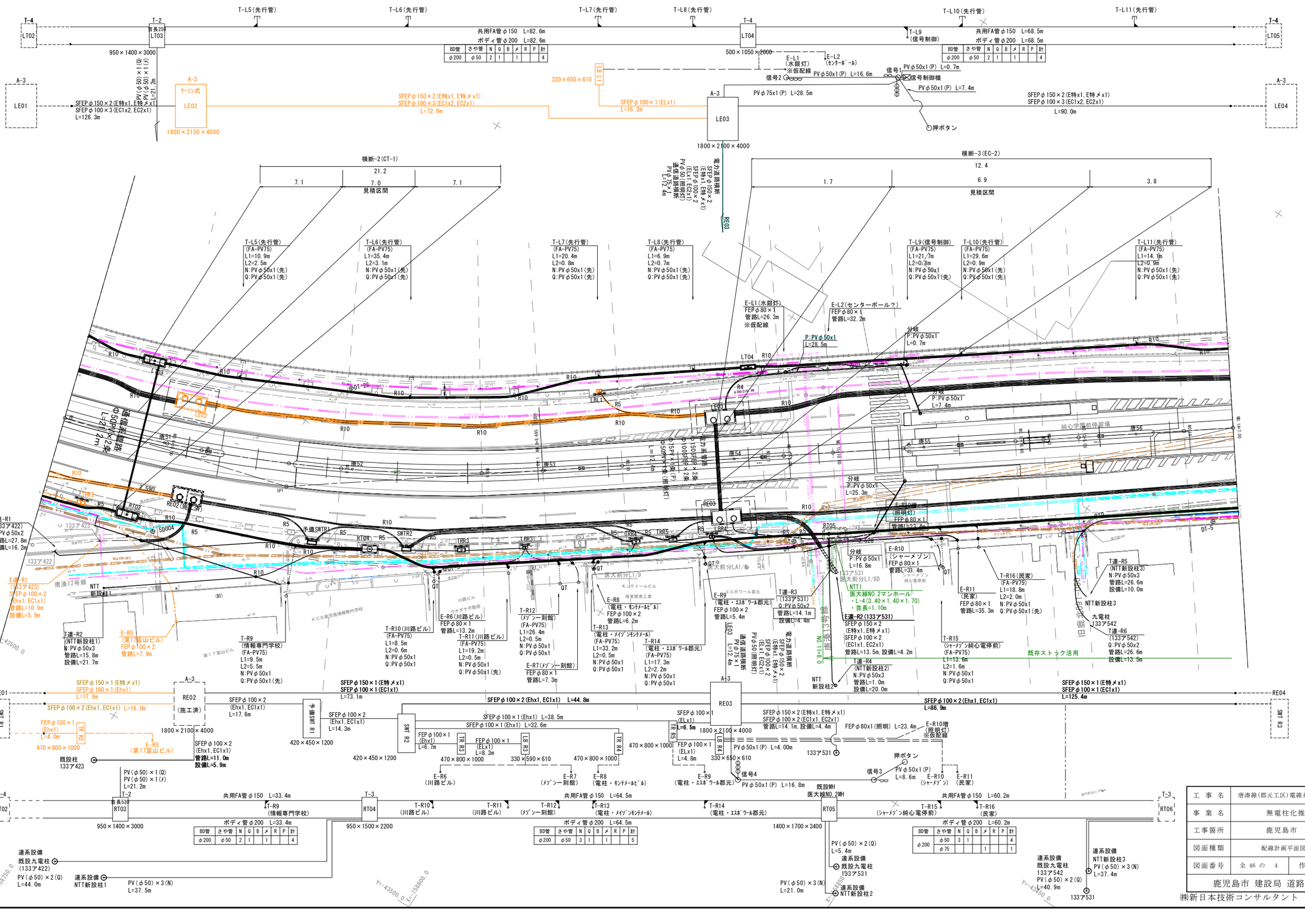
種別	線種	備考
上水道		
下水道		
ガ　ス		
NTT		
九電		
雨水		

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	配線計画平面図(1/2)　S=1:250		
図面番号	全 46 の 3	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

配線計画平面図(2/2)
【NO.6～NO.14+7.0】

(A1)S=1:250 (A3)S=1:500



工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その6)
事業名	無電柱化推進計画事業
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目
図面種類	配線計画平面図(2/2)　S=1:250
図面番号	全 46 の 4　作製　令和8年11月

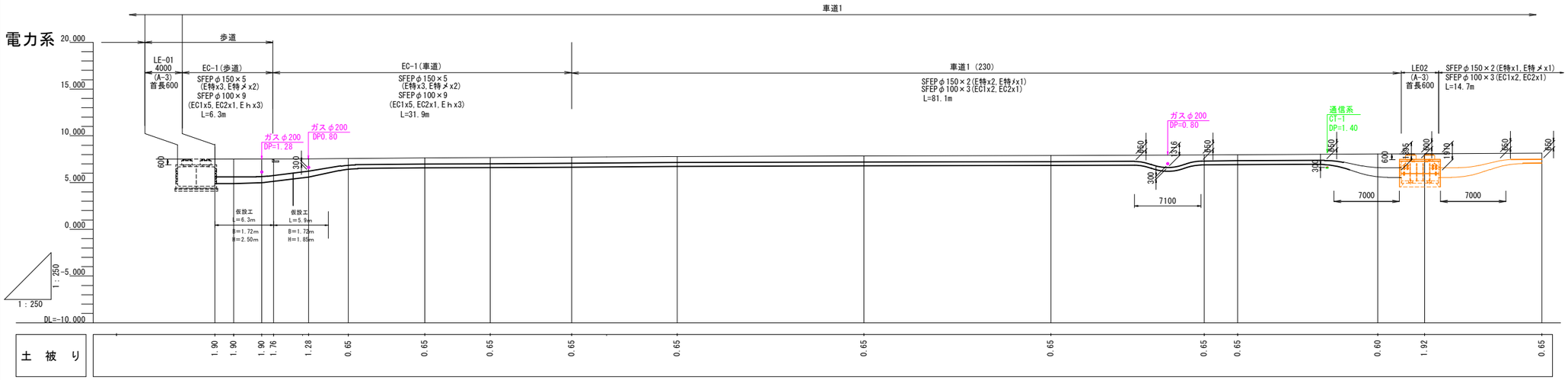
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

本線縦断図(1/3)　(A1)S=1:250　(A3)S=1:500

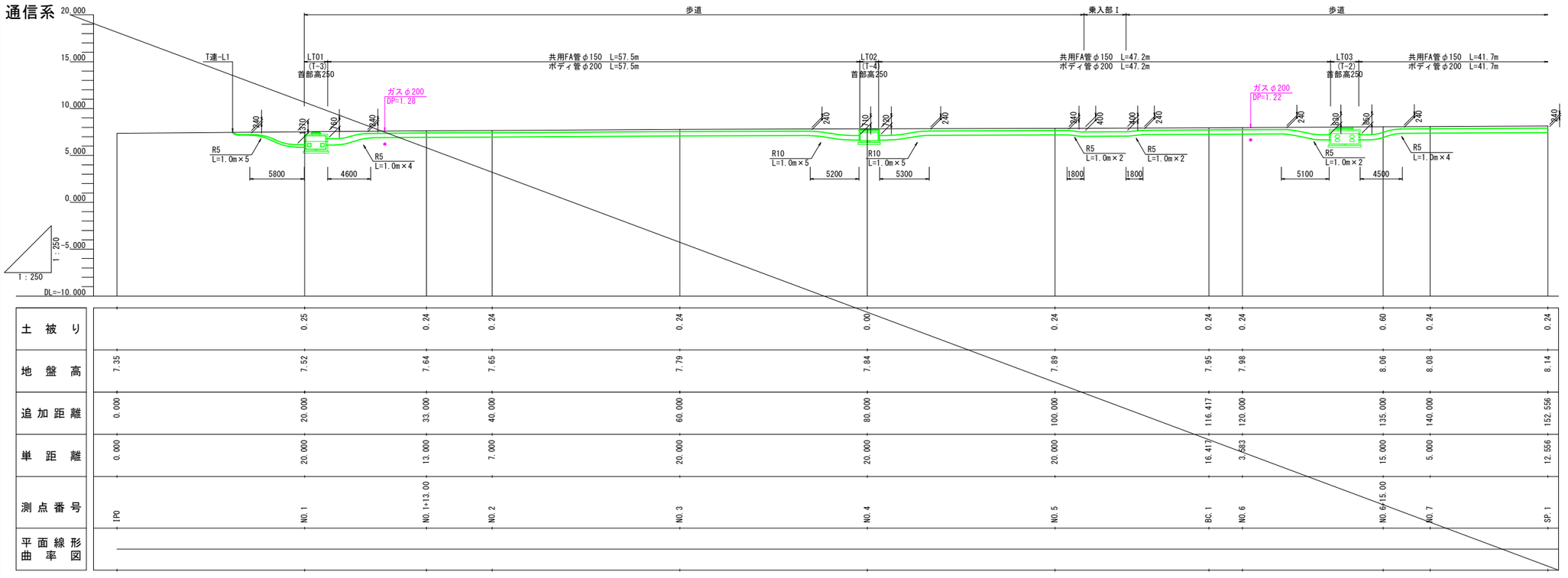
(LE01～LE02間)

（左側）



特殊部凡例

区　分	記　号	名　称
電力系		A-2マンホール 1500×1800×3500
		A-3マンホール 1800×2100×4000
		A-3特1マンホール 1800×2100×4700
		A-2ケーソン式マンホール 1500×1800×3500
		A-3ケーソン式マンホール 1800×2100×4000



特殊部凡例

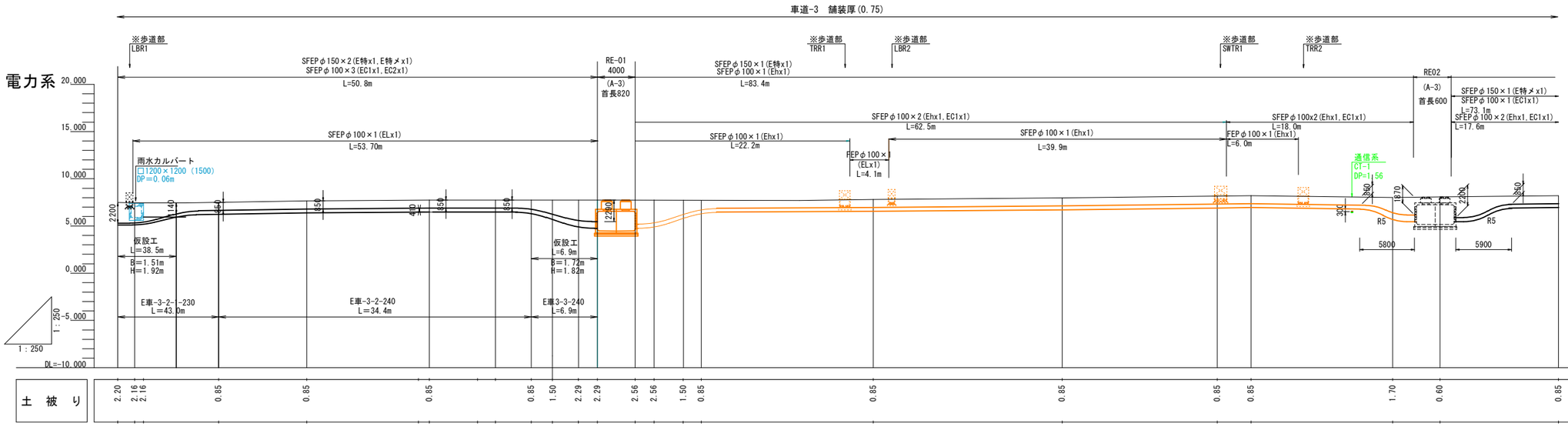
区　分	記　号	名　称
通信系		T-1(特殊部Ⅱ型横断用) 1400×1800×3000（車道）
		T-2(特殊部Ⅱ型横断用) 950×1400×3000（歩道）
		T-3(特殊部Ⅱ型起点用) 950×1500×2200(歩車道)
		T-4(通信接続用)（歩道） 500×1050×2000
		通信用ハンドホール 1400×800×1320

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)
事　業　名	無電柱化推進計画事業
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目
図面種類	本線縦断図(1/3)　S=1:250
図面番号	全 46 の 5　作製　令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課	

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

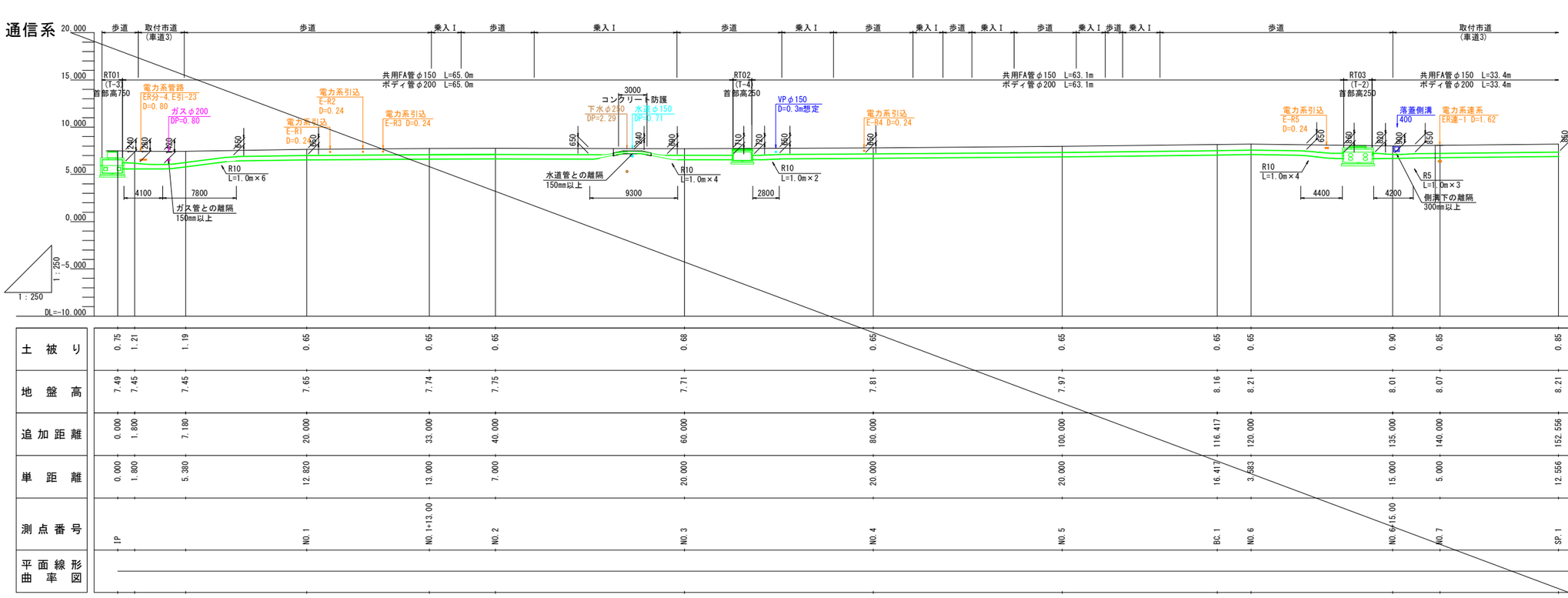
本線縦断図(2/3)　(A1)S=1:250　(A3)S=1:500

(右側　RE11～RE01～RE02間)



特殊部凡例

区分	記号	名称
電力系		A-2マンホール 1500×1800×3500
		A-3マンホール 1800×2100×4000
		A-3特1マンホール 1800×2100×4700
		A-2ケーソン式マンホール 1500×1800×3500
		A-3ケーソン式マンホール 1800×2100×4000
		機器用ハンドホール 680×800×1560 (SWM用)
		機器用ハンドホール 420×450×1200 (SWT用)
		機器用ハンドホール 470×800×1000 (TR用)
		機器用ハンドホール 330×590×610 (LB用) 330×650×610 (LB用-底なし)



特殊部凡例

区分	記号	名称
通信系		T-1(特殊部Ⅱ型横断用) 1400×1800×3000 (車道)
		T-2(特殊部Ⅱ型横断用) 950×1400×3000 (歩道)
		T-3(特殊部Ⅱ型起点用) 950×1500×2200(歩車道)

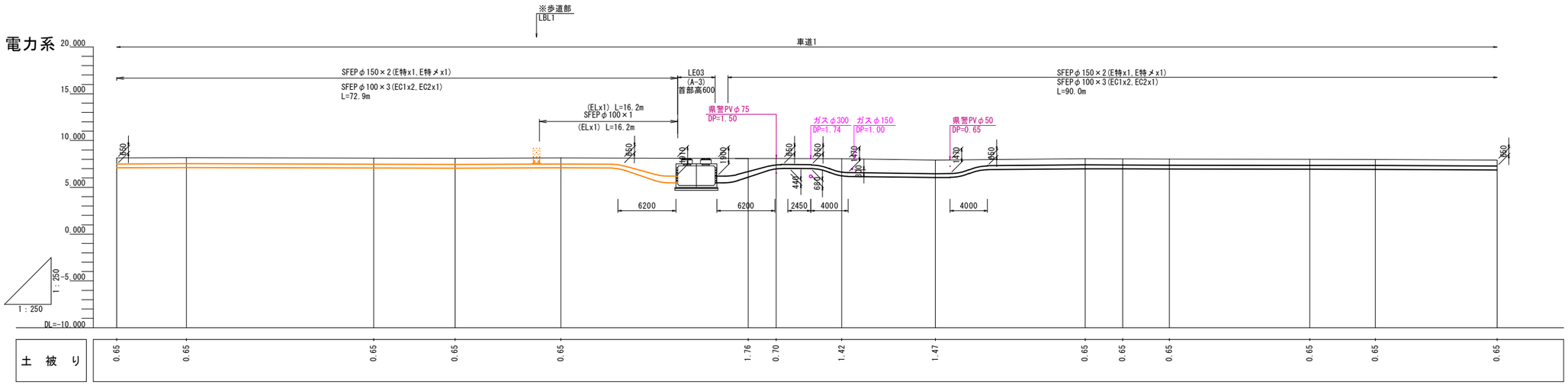
工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その6)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	本線縦断図(2/3)　S=1:250		
図面番号	全 46 の 6	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

本線縦断図(3/3)　(A1)S=1:250　(A3)S=1:500

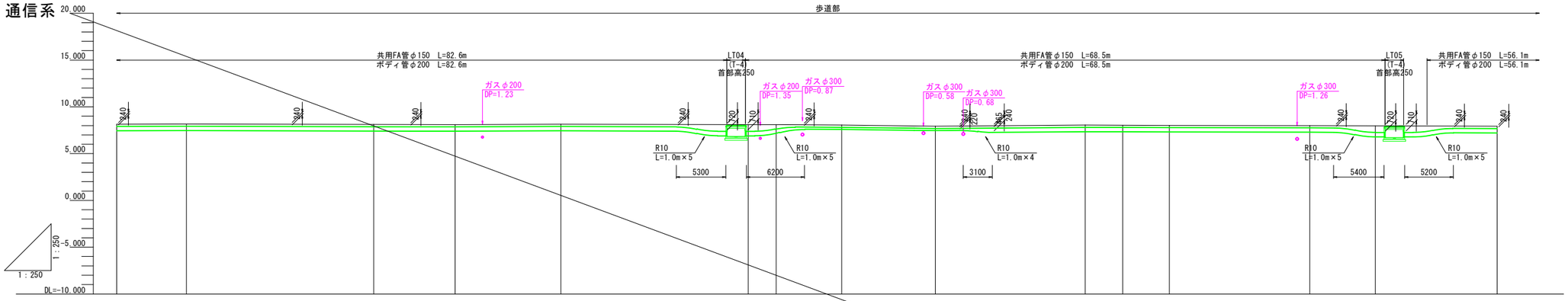
（～LE03～）

（左側）



特殊部凡例

区 分	記 号	名 称
電力系		A-2マンホール 1500×1800×3500
		A-3マンホール 1800×2100×4000
		A-3特1マンホール 1800×2100×4700
		機器用ハンドホール 680×800×1560 (SWM用)
		機器用ハンドホール 420×450×1200 (SWT用)
		機器用ハンドホール 470×800×1000 (TR用)
		機器用ハンドホール 330×590×610 (LB用) 330×650×610 (LB用-底なし)



特殊部凡例

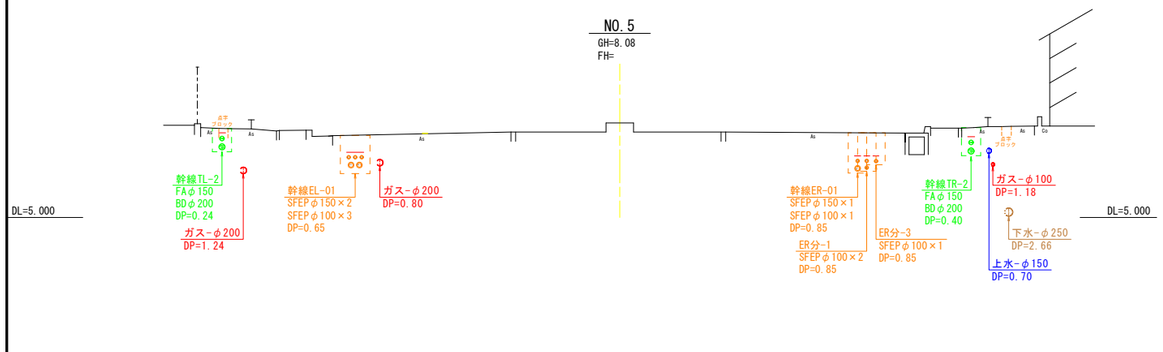
区 分	記 号	名 称
通信系		T-1(特殊部Ⅱ型横断用) 1400×1800×3000 (車道)
		T-2(特殊部Ⅱ型横断用) 950×1400×3000 (歩道)
		T-3(特殊部Ⅱ型起点用) 950×1500×2200 (歩車道)
		T-4(通信接続用) (歩道) 500×1050×2000
		通信用ハンドホール 1400×800×1320

| | | |

標準断面図　(A1)S=1:100　(A3)S=1:200

管路部

標準部



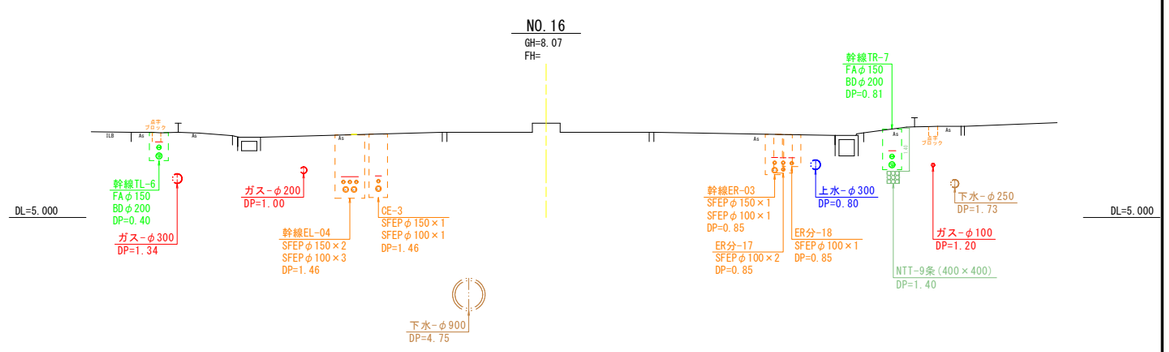
区分	記号	企　業　名	箇所	管径	条数	条数計	管路構造図
電力系	E	九州電力	単管	φ150	1	単管 φ150x2孔 φ100x3孔	φ100 EC1 EC2 E特 E特メ φ150
	E特メ	メンテナンス管		φ100	3		
				φ150	1		

区分	記号	企　業　名	箇所	管径	条数	条数計	管路構造図
通信系	N	NTT	ボディ管	φ50	2	ボディ管 φ200x1孔 サヤ管 φ50x4孔	ボディ管φ200 ボディ管 通信系ボディ管φ200構造図 Q メ N N
	Q	QTnet		φ50	1		
	メ	メンテナンス管		φ50	1		

区分	記号	企　業　名	箇所	管径	条数	条数計	管路構造図
電力系	E	九州電力	単管	φ100	1	単管 φ150x1孔 φ100x1孔	φ100 Eh E特メ φ150
	E特メ	メンテナンス管		φ150	1		

区分	記号	企　業　名	箇所	管径	条数	条数計	管路構造図
通信系	N	NTT	ボディ管	φ50	2	ボディ管 φ200x1孔 サヤ管 φ50x4孔	ボディ管φ200 ボディ管 通信系ボディ管φ200構造図 Q メ N N
	Q	QTnet		φ50	1		
	メ	メンテナンス管		φ50	1		

既存ストック活用



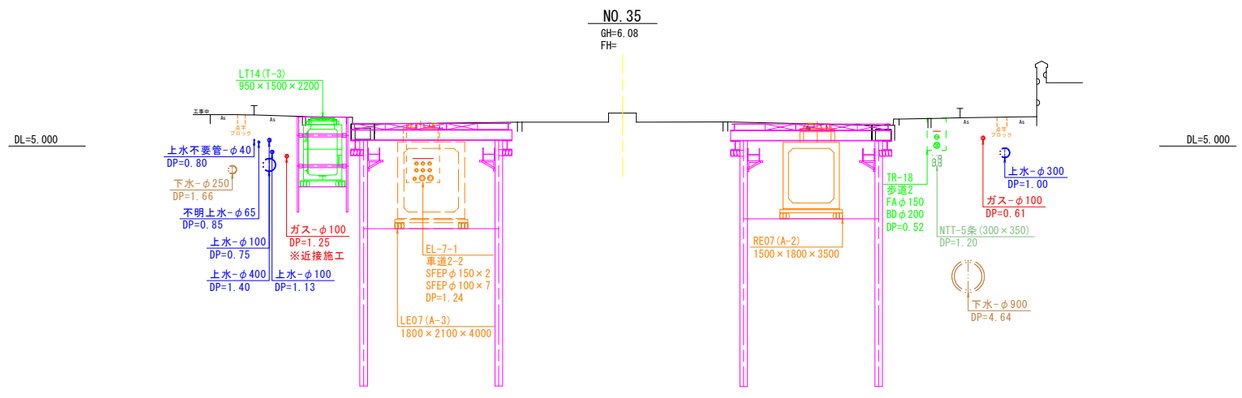
区分	記号	企　業　名	箇所	管径	条数	条数計	管路構造図
電力系	E	九州電力	単管	φ150	1	単管 φ150x2孔 φ100x3孔	φ100 EC1 EC2 E特 E特メ φ150
	E特メ	メンテナンス管		φ100	3		
				φ150	1		

区分	記号	企　業　名	箇所	管径	条数	条数計	管路構造図
通信系	N	NTT	ボディ管	φ50	2	ボディ管 φ200x1孔 サヤ管 φ50x4孔	ボディ管φ200 ボディ管 通信系ボディ管φ200構造図 Q メ N N
	Q	QTnet		φ50	1		
	メ	メンテナンス管		φ50	1		

区分	記号	企　業　名	箇所	管径	条数	条数計	管路構造図
電力系	E	九州電力	単管	φ100	1	単管 φ150x1孔 φ100x1孔	φ100 EC1 E特メ φ150
	E特メ	メンテナンス管		φ150	1		

区分	記号	企　業　名	箇所	管径	条数	条数計	管路構造図
通信系	N	NTT	ボディ管	φ50	3	ボディ管 φ200x1孔 サヤ管 φ50x5孔	ボディ管φ200 ボディ管 通信系ボディ管φ200構造図 Q メ N N
	Q	QTnet		φ50	1		
	メ	メンテナンス管		φ50	1		

特殊部



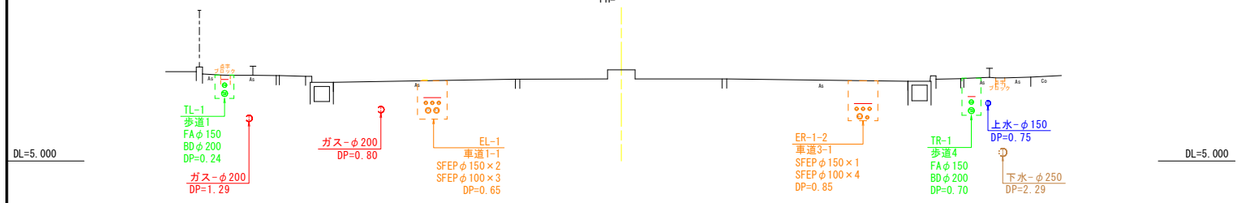
※埋設物の深さは、各管理者の埋設図等による

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	標準断面図　S=1:100		
図面番号	全 46 の 8	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

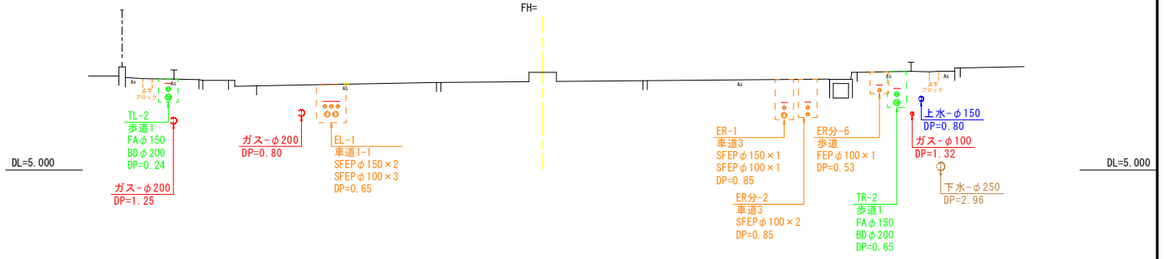
㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

横断図(1/2) (A1)S=1:100 (A3)S=1:200

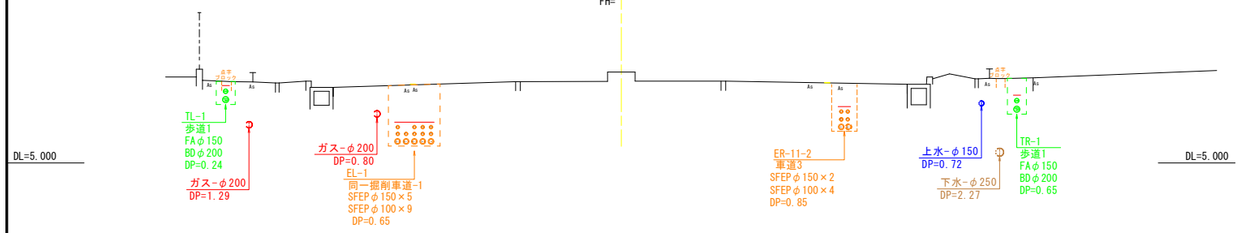
NO.3
GH=7.97
FH=



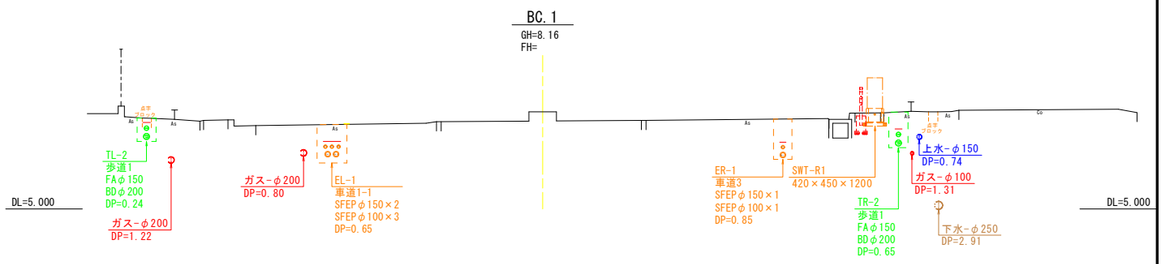
NO.6
GH=8.18
FH=



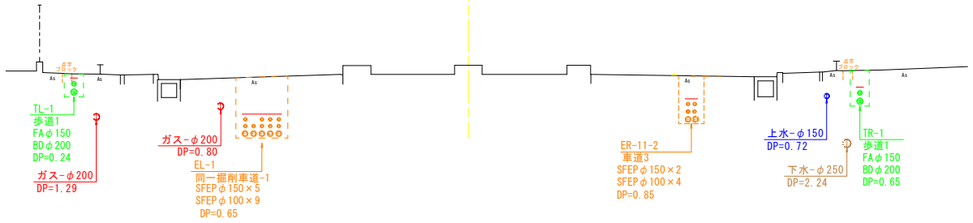
NO.2
GH=7.96
FH=



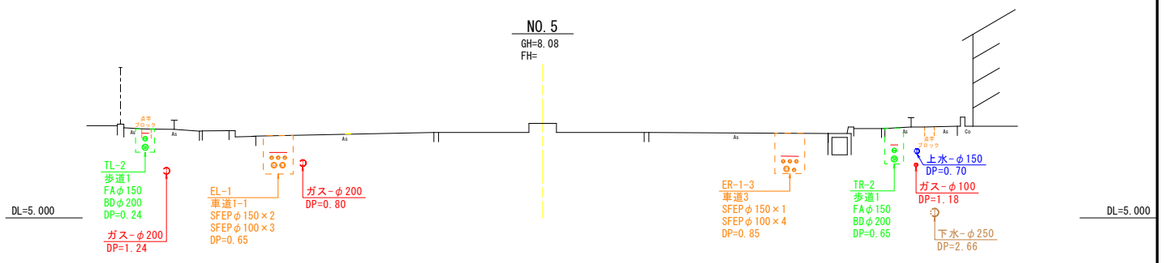
BC.1
GH=8.16
FH=



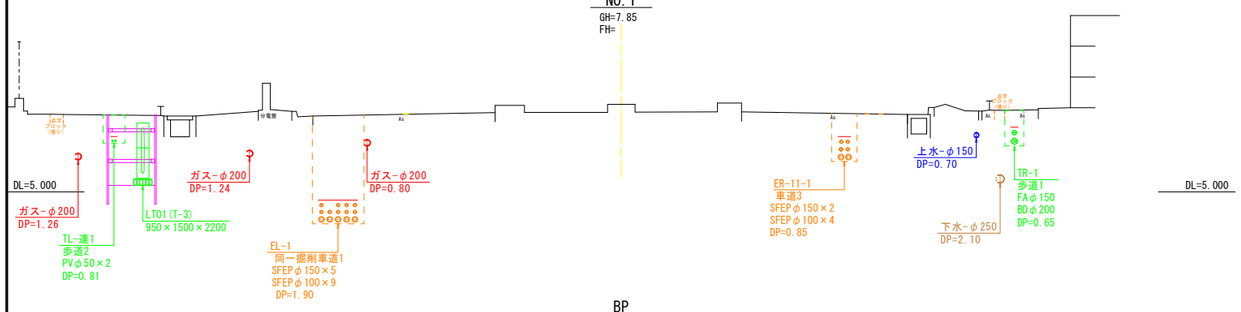
NO.1+13.00
GH=7.92
FH=



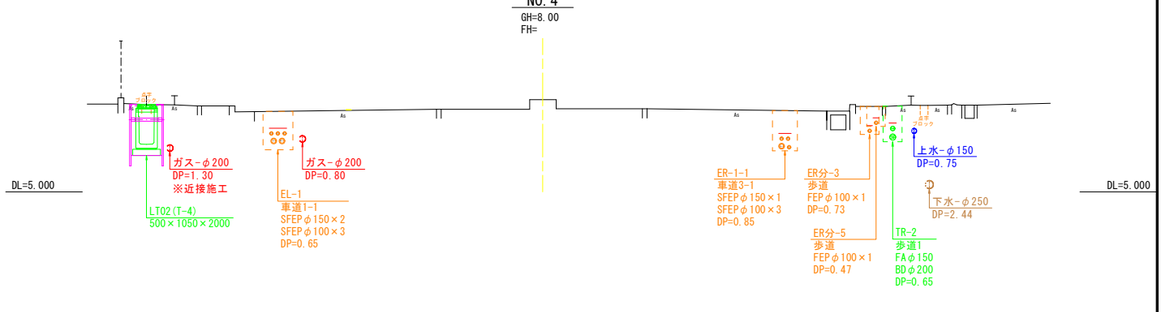
NO.5
GH=8.08
FH=



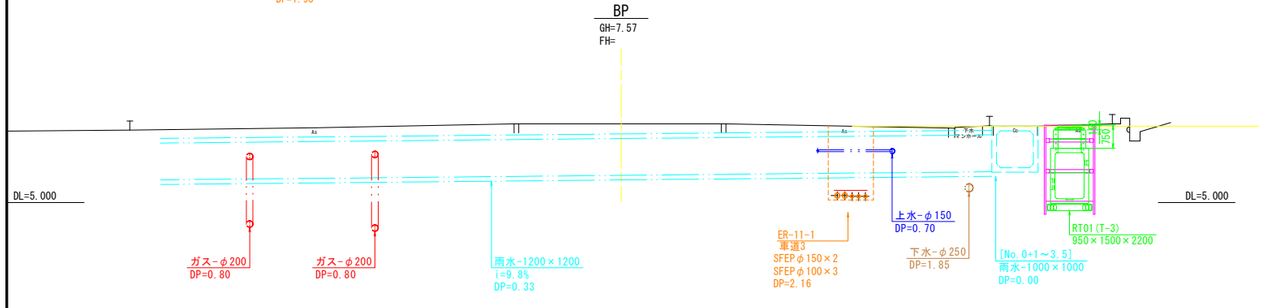
NO.1
GH=7.85
FH=



NO.4
GH=8.00
FH=



BP
GH=7.57
FH=



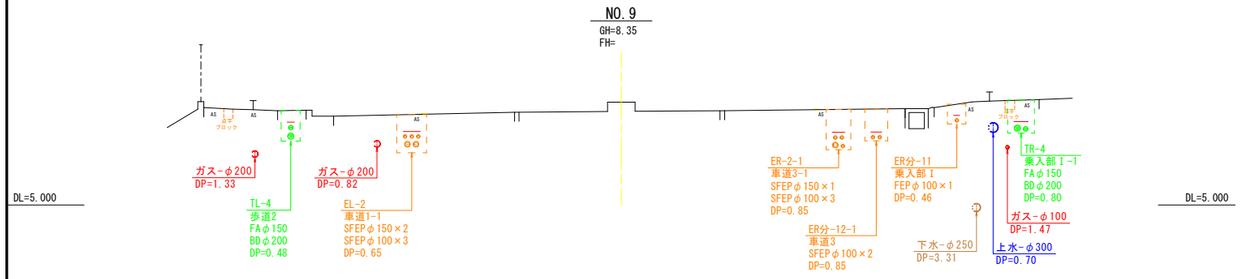
※仮設工は、標準的な工法としているため、
埋設物の管理者と協議により決定すること。
※埋設物の深さは、各管理者の埋設図等による
想定である。

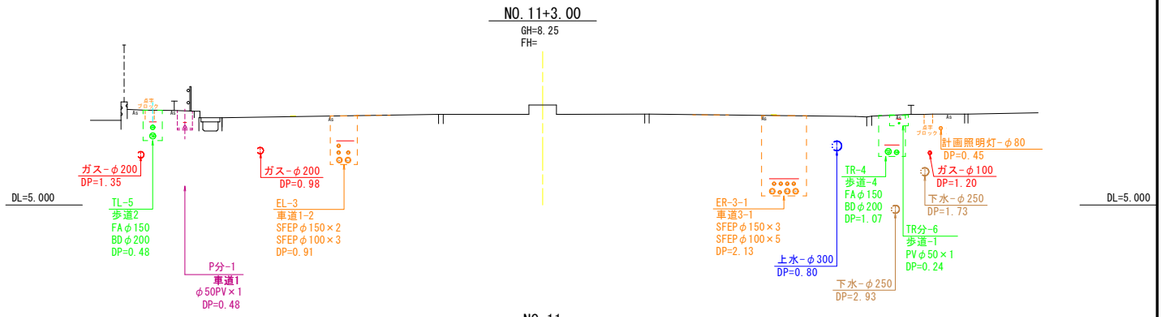
種別	線種	備考
上水道		
下水道		
ガ ス		
NTT		
九電		
雨水		

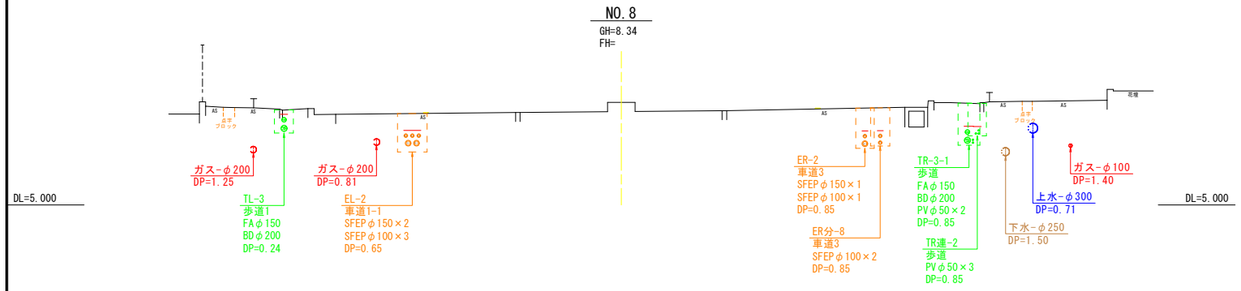
工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市 郡元一丁目		
図面種類	横断図(1/2) S=1:100		
図面番号	全 46 の 9	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

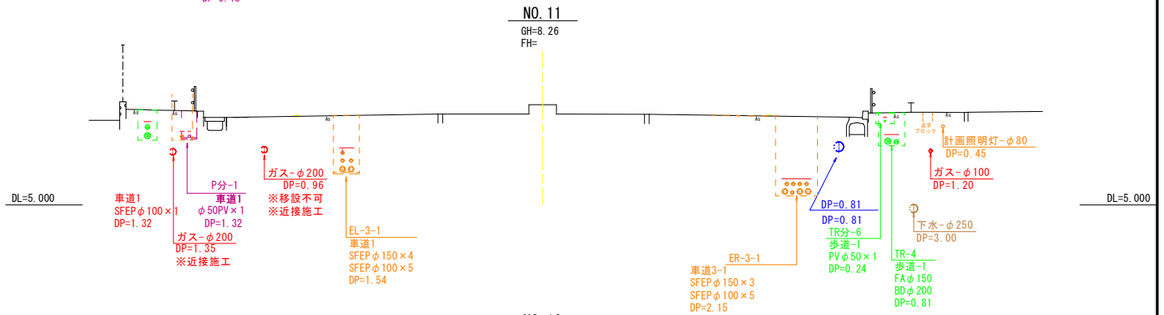
㈱新日本技術コンサルタント 099-281-9143

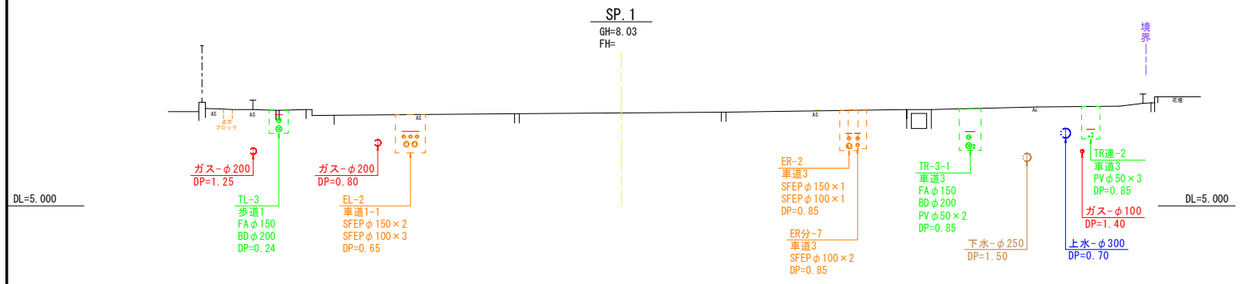
横断図(2/2)　(A1)S=1:100　(A3)S=1:200

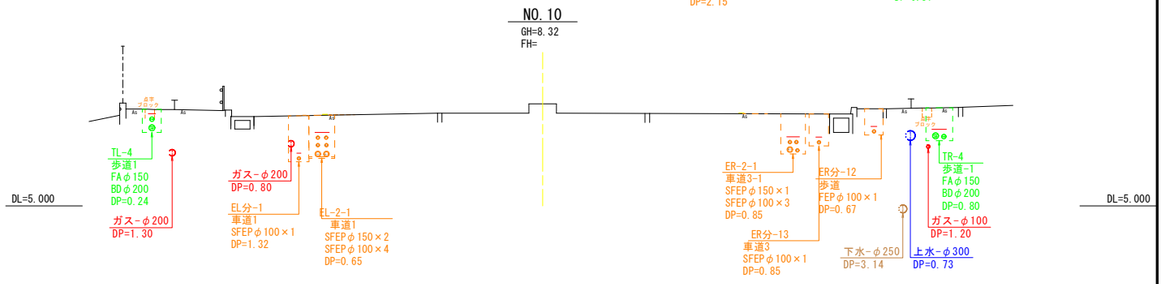


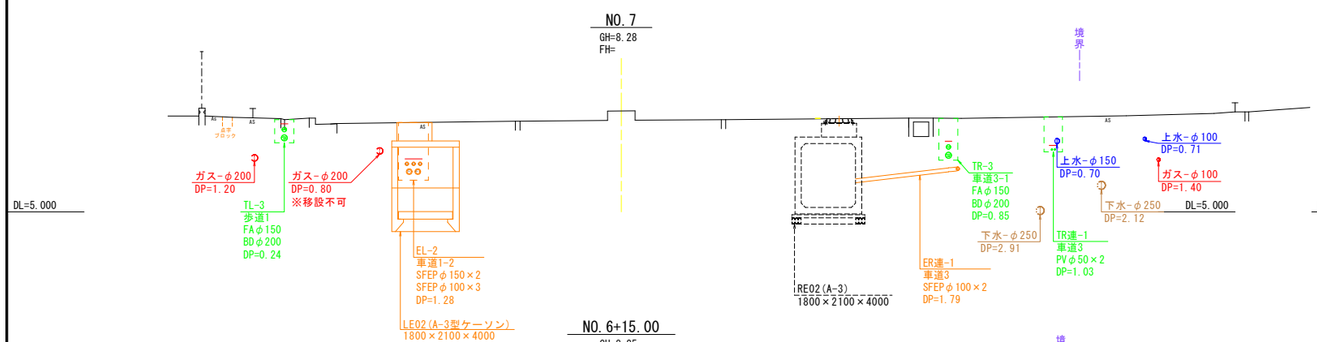


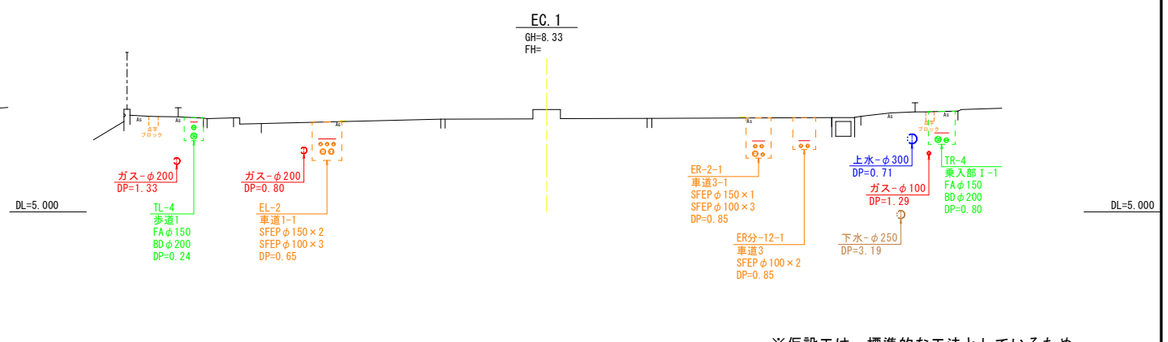


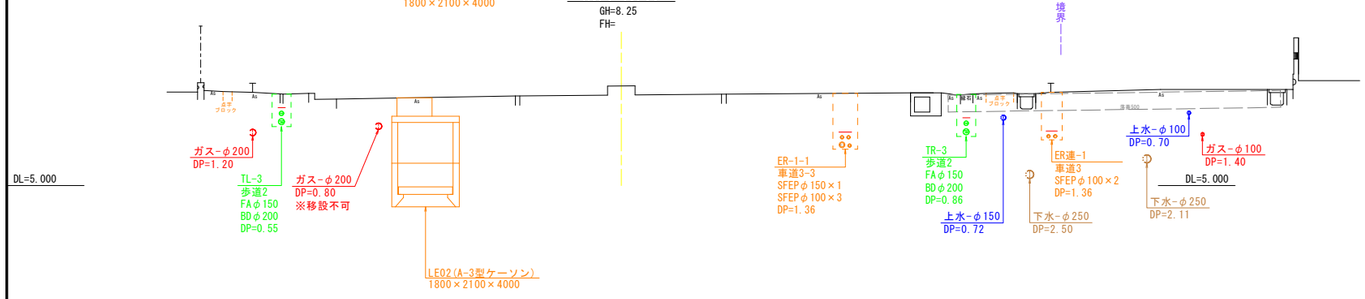












※仮設工は、標準的な工法としているため、
埋設物の管理者と協議により決定すること。
※埋設物の深さは、各管理者の埋設図等による
想定である。

種別	線種	備考
上水道		
下水道		
ガス		
NTT		
九電		
雨水		

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その6)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	横断図(2/2)　S=1:100		
図面番号	全 46 の 10	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

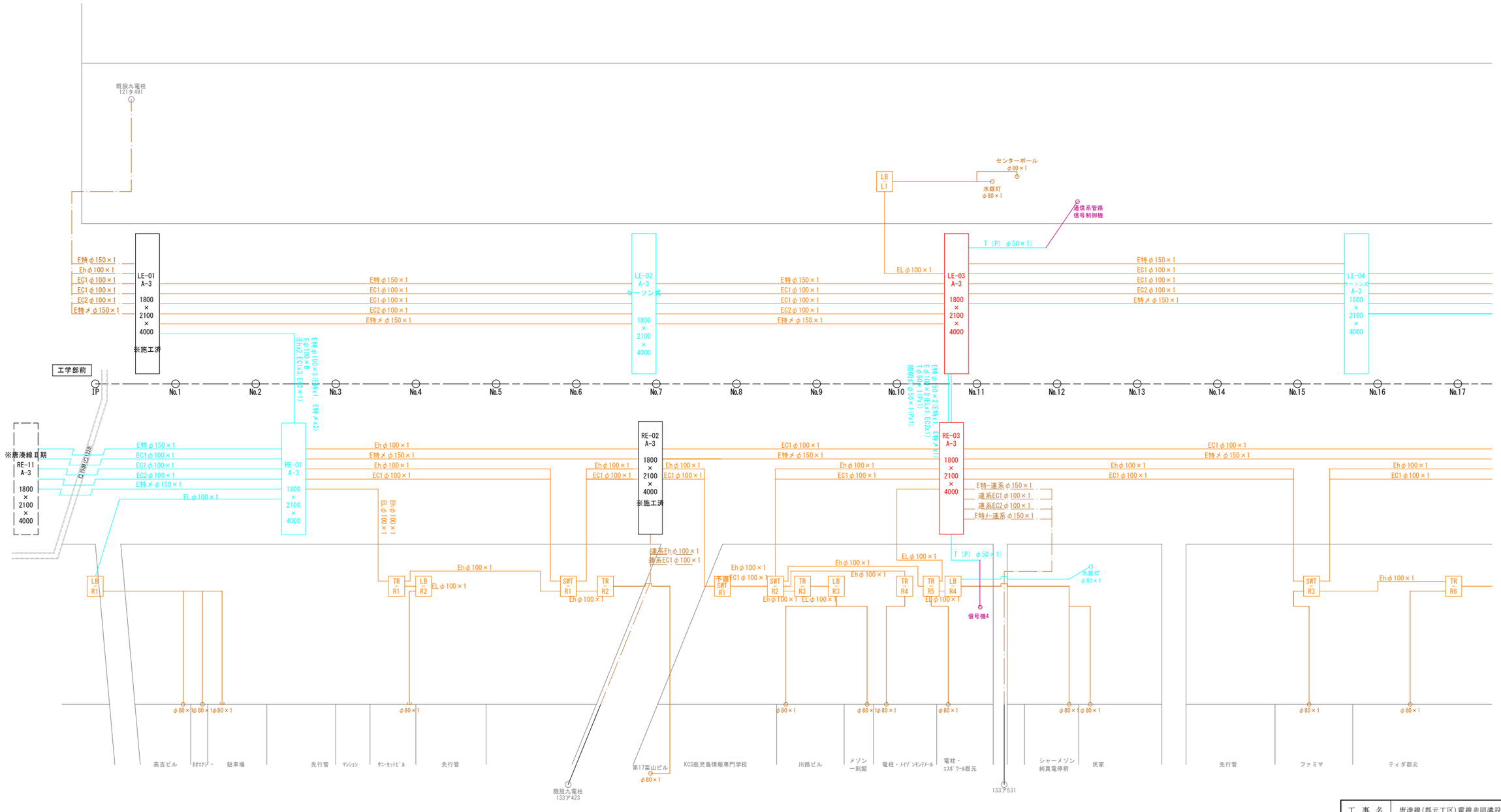
㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

配管系統図

（電力系）

(A1)S=1:500 (A3)S=1:1000

内 ——— 及びシアン線表示は、変更箇所を示す。



工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	配管系統図(電力系) S=1:500		
図面番号	全 46 の 11	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系特殊部構造図(1/6)　(A1)S=1:30　(A3)S=1:60

A-3型マンホール(W1800×H2100×L4000)

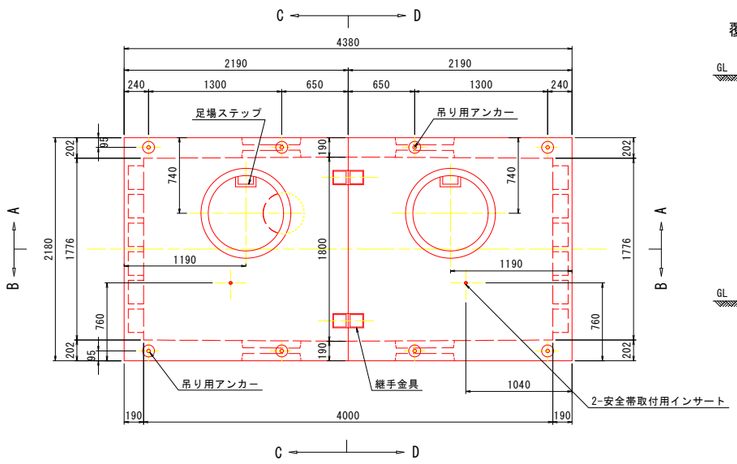
設計条件

設計荷重	活荷重		245kN(T-25荷重)
	衝撃係数	土被り1m未満	0．4
		土被り1m以上	0．3
内空寸法　(幅×高×長)			1800×2100×4000 mm
土の単位重量			20kN/m3(2.0tf/m3)
土圧係数			0．5
使用材料			
コンクリート			σ＝49N/mm2
鉄　　筋			SD295A
鋼　　材			SUS304,SS400(メッキ加工)

接地工
D種
14mm2

設置箇所		
歩道部	首部高 H=250	LE01
車道部	首部高 H=600	LE03,LE05,LE07,RE02,RE03,RE05 RE08
	首部高 H=850	RE01 RE04

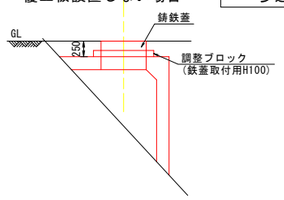
平面図



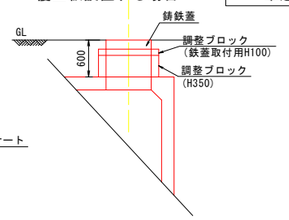
調整ブロック取付図

S=1:50

覆工板設置しない場合　歩道部

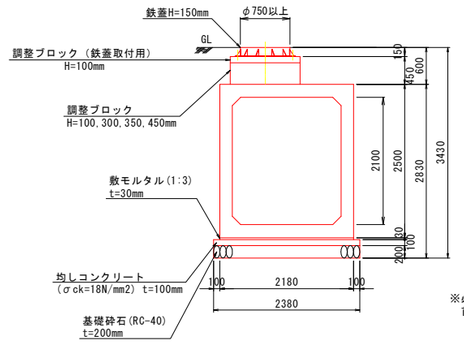


覆工板設置する場合　車道部



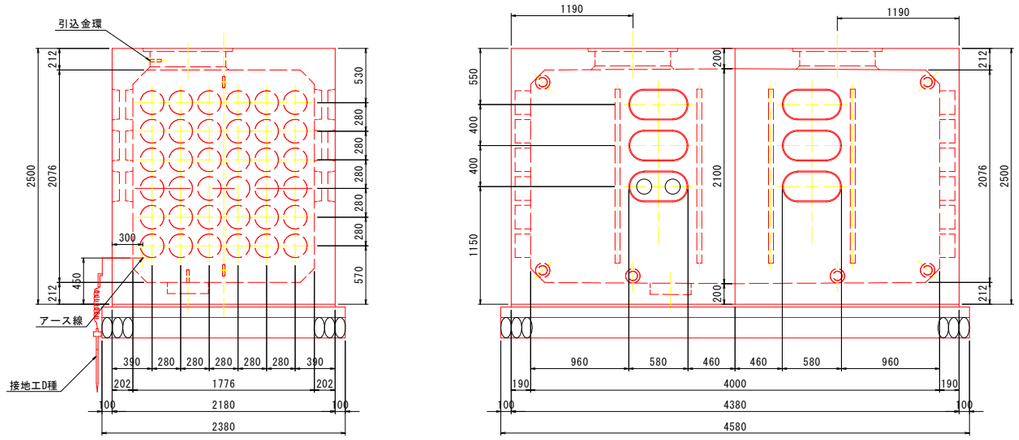
据付一般図

S=1:50

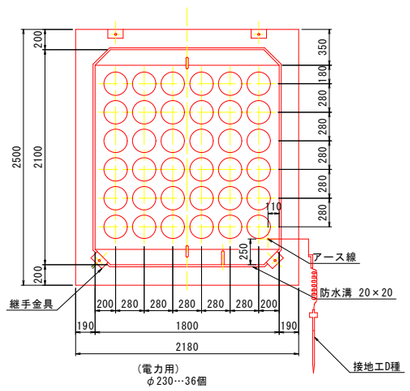


※必要に応じて調整コンクリートを使用して首部高を調整すること。

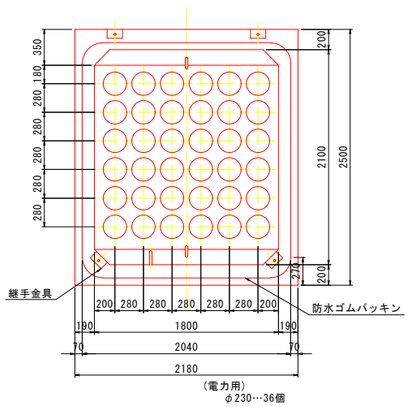
側面図



C-C断面

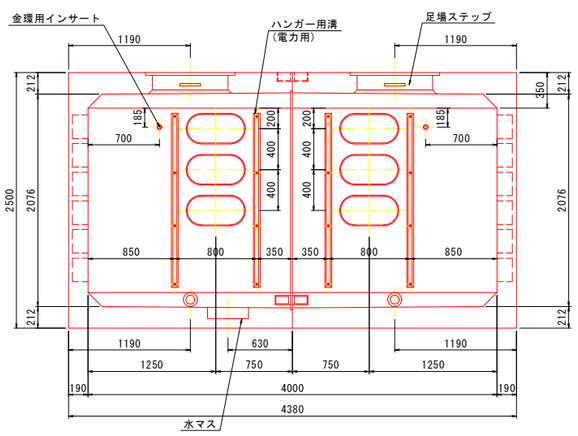


D-D断面



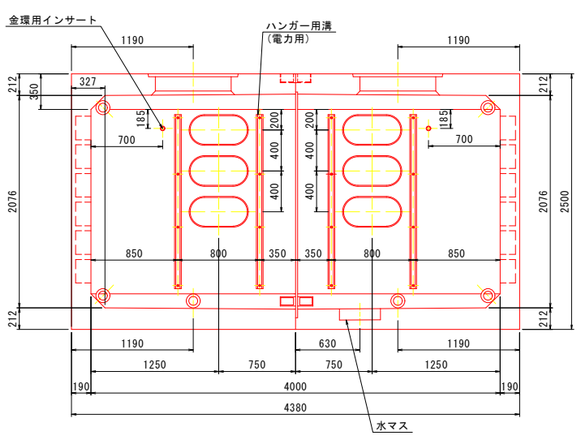
φ230…30個の場合がある

A－A断面図



280×560…3個　　280×560…3個

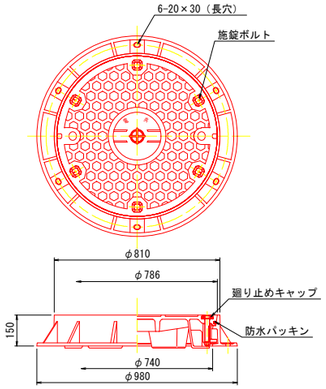
B－B断面図



280×560…3個　　280×560…3個

鋳鉄蓋構造図

(A1)S=1:15　(A3)S=1:30



数量表

1箇所あたり

種目		規格	計算式		数量	単位
本体工	基面整正		A=4.58×2.38	= 10.90	10.9	m2
	基礎砕石	t=200	A=4.58×2.38	= 10.90	10.9	m2
	均しコン型枠		A=(4.58+2.38)×0.10×2	= 1.39	1.4	m2
	均しコンクリート	σck=18N/mm2	V=4.58×2.38×0.10	= 1.09	1.1	m3
	敷モルタル	1:3	V=4.38×2.18×0.03	= 0.286	0.29	m3
	マンホール	1800×2100×4000	参考重量　W=22.9t　2分割		1.0	基
	調整ブロック	(下表による)			2.0	組
	鉄　蓋	T-25用	参考重量　W=0.19t		2.0	組
	接地工	D種			1.0	極

調整ブロック 数量表

首部高	鉄蓋	調整ブロック 規格・数量					単位	調整
	H150	鉄蓋取付用 H=100	調整用 H=100	調整用 H=300	調整用 H=350	調整用 H=450		
H250	1	1	－	－	－	－	個	
H600	1	1	－	－	1	－	個	
H850	1	1	－	2	－	－	個	

※注記

1) 電力系特殊部の設置について『九州地区電線共同マニュアル(案) R2.3改訂版』に準拠する事。
2) 電力系特殊部の設置箇所は、監督職員と協議の上、試掘調査を実施し地下埋設物の確認を行う事。

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その6)
事業名	無電柱化推進計画事業
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目
図面種類	電力系特殊部構造図(1/6)　S=1:30
図面番号	全 46 の 12　作製　令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課	

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系特殊部構造図(2/6)

A-3型ケーソン式マンホール(W1800×H2100×L4000)

(A1)S=1:30 (A3)S=1:60

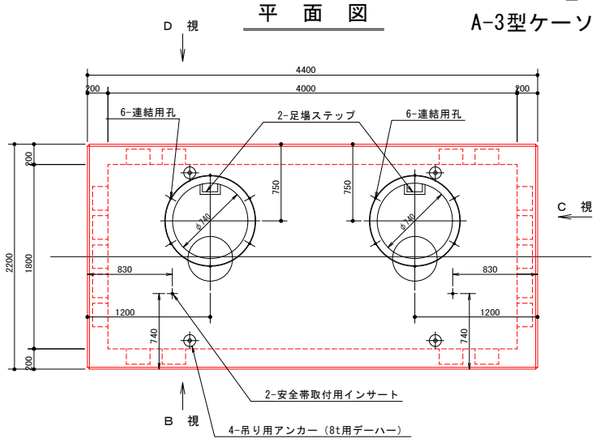
設計条件

設計荷重	活荷重		245kN(T-25荷重)
	衝撃係数	土被り1m未満	0.4
		土被り1m以上	0.3
内空寸法 (幅×高×長)			1800×2100×4000 mm
土の単位重量			20kN/m3(2.0tf/m3)
土圧係数			0.5
使用材料			
コンクリート			σ=49N/mm2
鉄筋			SD295A
鋼材			SUS304,SS400(メッキ加工)

設置箇所		
車道部	首部高H=600	LE02 LE04

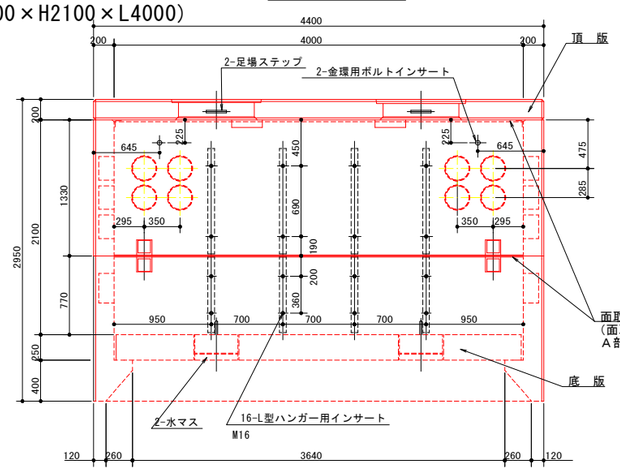
接地工
D種
14mm2

平面図

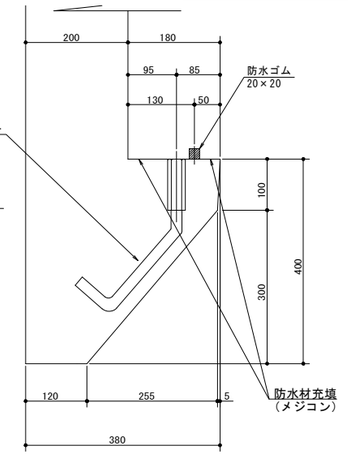


D視側面図

φ230--- 8個

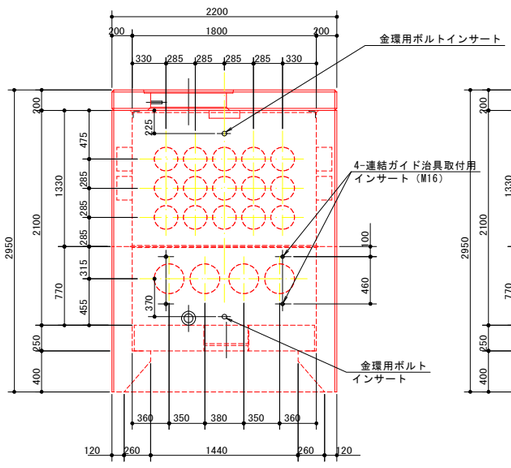


刃口部詳細図



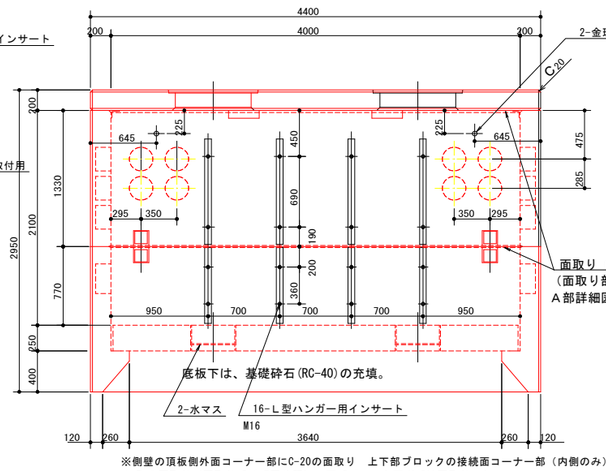
A視側面図

φ230---15個
φ290--- 4個



B視側面図

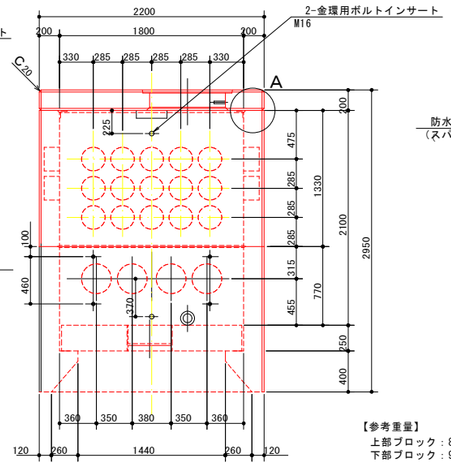
φ230--- 8個



※側壁の頂板側外面コーナー部にC-20の面取り　上下部ブロックの接続面コーナー部(内側のみ)に特殊の面取り(面取り部詳細図参照)、下部ブロック下端部は面取りなし

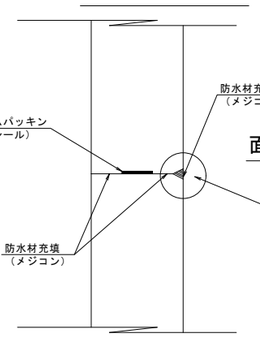
C視側面図

φ230---15個
φ290--- 4個

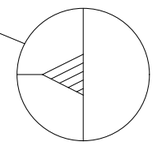


【参考重量】
上部ブロック：8250kg
下部ブロック：9850kg

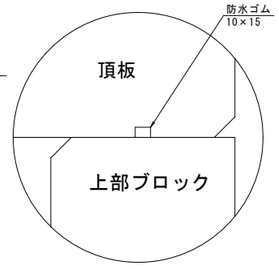
連結部詳細図



面取り部詳細図



A 部詳細図

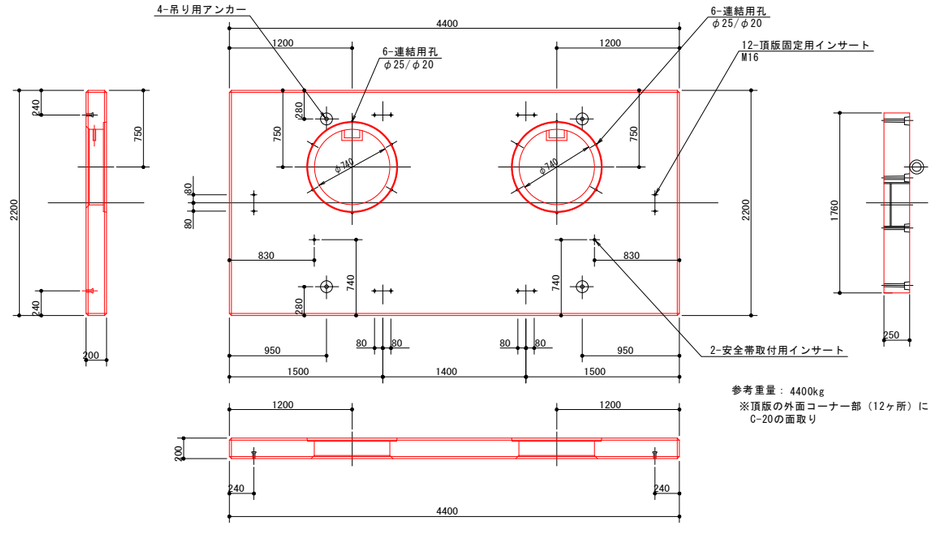


数量表

1箇所あたり

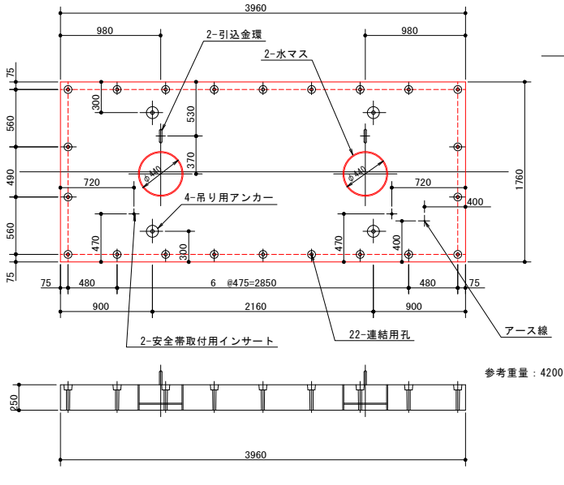
種目		規格	計算式	数量	単位
本体工	基礎砕石		(4.16×1.96+3.64×1.44)/2×0.30		
			+3.64×1.44×0.10 =2.533	2.53	m3
	マンホール	1800×2100×4000	参考重量 W=22.9t 2分割	1.0	基
	調整ブロック	(下表による)		2.0	組
	鉄蓋	T-25用	参考重量 W=0.19t	2.0	組
	接地工	D種		1.0	極

頂版詳細図



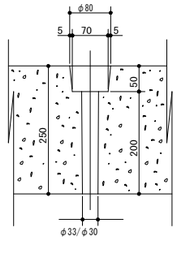
参考重量：4400kg
※頂版の外面コーナー部(12ヶ所)にC-20の面取り

底版詳細図



参考重量：4200kg

連結用孔詳細図



調整ブロック 数量表

首部高	鉄蓋	調整ブロック 規格・数量		単位
	H150	鉄蓋取付用H=100	調整用 H=350	
H600	1	—	1	個

1) 電力系特殊部の設置について『九州地区電線共同マニュアル(案) R6改訂版』に準拠する事。
2) 電力系特殊部の設置箇所は、監督職員と協議の上、試掘調査を実施し地下埋設物の確認を行う事。

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その6)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市 郡元一丁目		
図面種類	電力系特殊部構造図(2/6) S=1:30		
図面番号	全 46 の 13	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

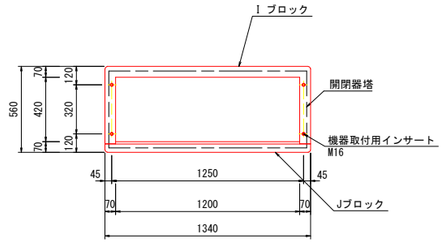
㈱新日本技術コンサルタント 099-281-9143

電力系特殊部構造図(3/6)　(A1)S=1:20　(A3)S=1:40

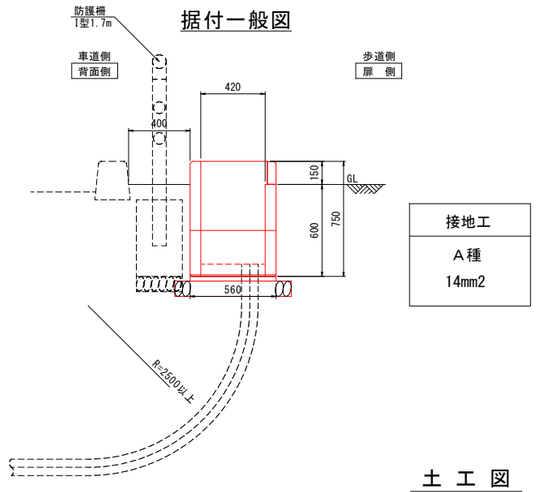
機器用ハンドホール(SWT用Kブロック付)(W420×H670×L1200)

設置箇所	
歩道部	SWT-L1～SWT-L5，予備SWT-L1 SWT-R1～SWT-R7，予備SWT-R1
車道部	－

平　面　図

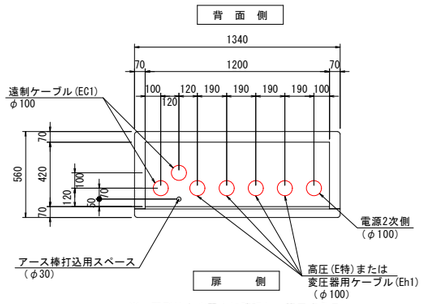


据付一般図



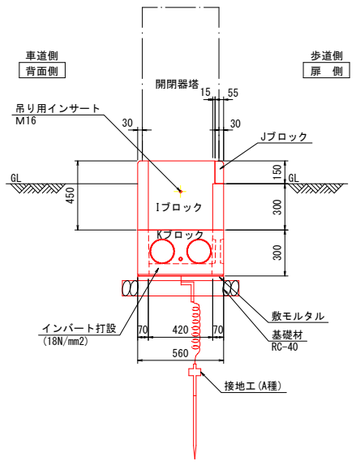
接地工
A種
14mm2

配管要領図

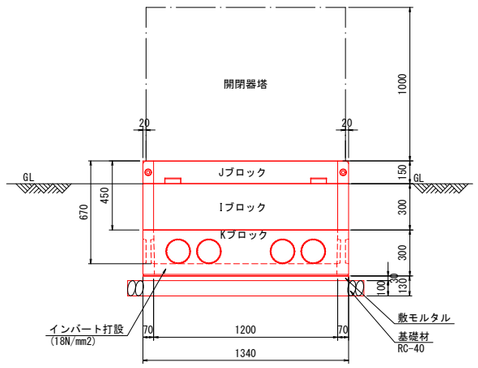


※　配列は九州電力に確認し、施工すること。

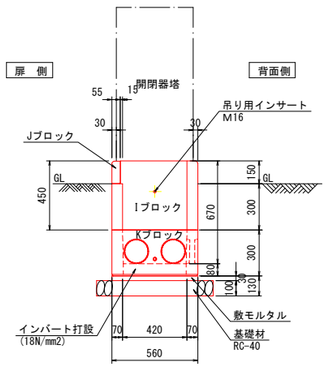
断　面　図



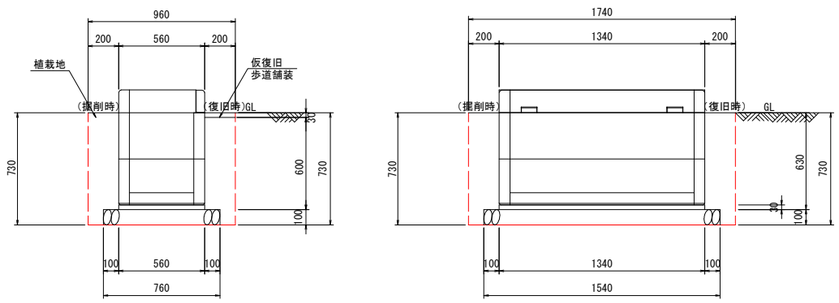
側　面　図



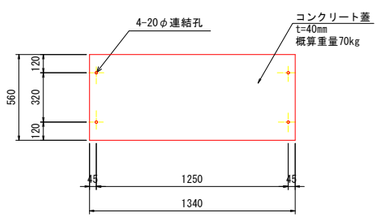
断　面　図



土　工　図



仮蓋
SWT用



※　仮蓋は機器据付完了時まで設置する。

数　量　表　　1箇所あたり

種　目		規　格	計　算　式	数　量	単位
本体工	基面整正		A=0.76×1.54 = 1.17	1.2	m2
	基礎砕石	t=100	A=0.76×1.54 = 1.17	1.2	m2
	敷モルタル	1:3	V=0.56×1.34×0.03 = 0.023	0.02	m3
	インバートコンクリート	σck=18N/mm2	V=0.42×1.20×0.08 = 0.040	0.04	m3
	ハンドホール	420×670×1200	参考重量　W=0.54t	1.0	基
	接地工	A種		1.0	極
	仮蓋	SWT用	560×1340×40mm　概算重量70kg	1.0	組

数　量　表　　1箇所あたり

種　目		規　格	計　算　式	数　量	単位
土工	床　掘	土砂	V=0.96×1.74×0.73 = 1.22	1.2	m3
	埋　戻	水締め	V=0.96×1.74×0.70- (0.76×1.54×0.10+0.56×1.34×0.60) = 0.60	0.6	m3
処理工	残土処理	土砂	V=1.2-0.6/0.95 = 0.57	0.6	m3
	As殻処理	歩道用			

※ 注 記

1) 通信系特殊部の設置について『九州地区電線共同マニュアル（案）R2.3改訂版』に準拠する事。
2) 通信系特殊部の設置箇所は、監督職員及び既存埋設管の管理事業者と協議の上、地下埋設物を確認の上、施工する事。

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系特殊部構造図(3/6)　S=1:20		
図面番号	全 46 の 14	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

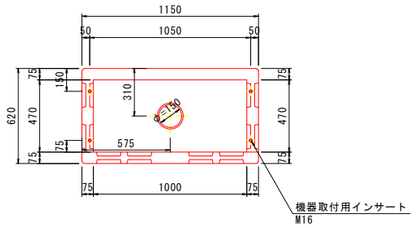
㈱新日本技術コンサルタント　　099-281-9143

電力系特殊部構造図(4/6) (A1)S=1:20 (A3)S=1:40

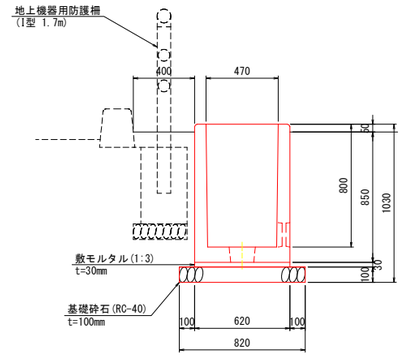
機器用ハンドホール(TR用) (W470×H800×L1000)

設置箇所	
歩道部(左)	TR-L1～TR-L7
歩道部(右)	TR-R1, TR-R2～TR-R10

平 面 図

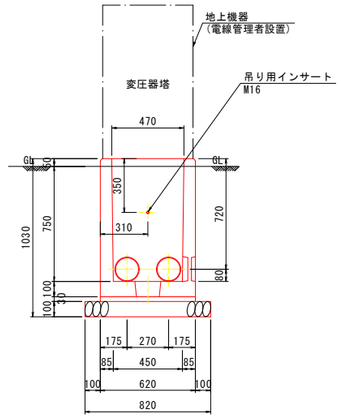


据付一般図

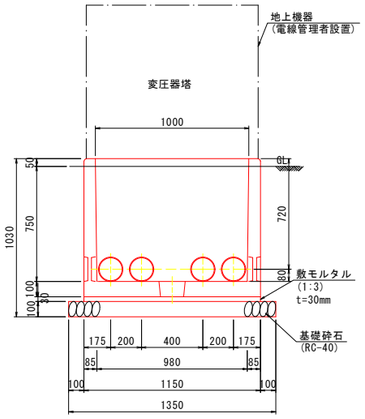


接地工
A種
38mm2

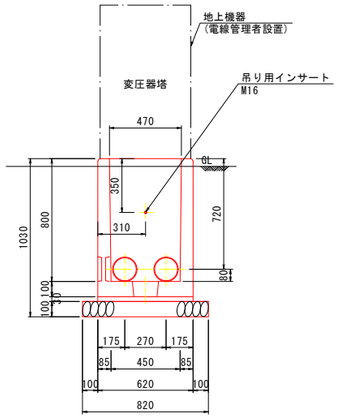
断 面 図



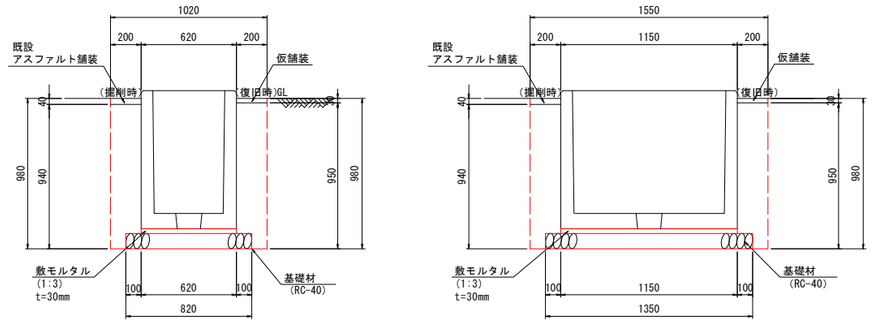
側 面 図



断 面 図



土 工 図



数 量 表

1箇所あたり

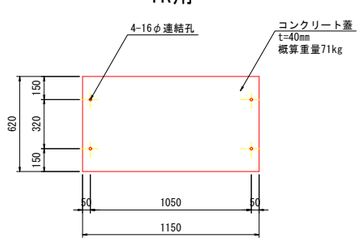
	種 目	規 格	計 算 式	数 量	単位
本体工	基面整正		A=0.82×1.35 = 1.11	1.1	m2
	基礎砕石	t=200	A=0.82×1.35 = 1.11	1.1	m2
	敷モルタル	1:3	V=0.62×1.15×0.03 = 0.021	0.02	m3
	ハンドホール	470×800×1000	参考重量 W=0.695t	1.0	基
	接地工	A種		1.0	極
	仮蓋	TR用	620×1150×40,概算重量71kg	1.0	組

数 量 表

1箇所あたり

	種 目	規 格	計 算 式	数 量	単位
土工	床 掘	土砂	V=1.02×1.55×0.94 = 1.49	1.5	m3
	埋 戻	水締め	V=1.02×1.55×0.95-(0.82×1.35×0.10+0.62×1.15×0.85) = 0.79	0.8	m3
処理工	残土処理	土砂	V=1.5-0.8/0.95 = 0.66	0.7	m3

仮蓋 TR用



※仮蓋は機器据付完了時まで設置する。

※ 注 記

1) 通信系特殊部の設置について『九州地区電線共同マニュアル（案）R2.3改訂版』に準拠する事。
2) 通信系特殊部の設置箇所は、監督職員及び既存埋設管の管理事業者と協議の上、地下埋設物を確認の上、施工する事。

工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市 郡元一丁目		
図面種類	電力系特殊部構造図(4/6) S=1:20		
図面番号	全 46 の 15	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

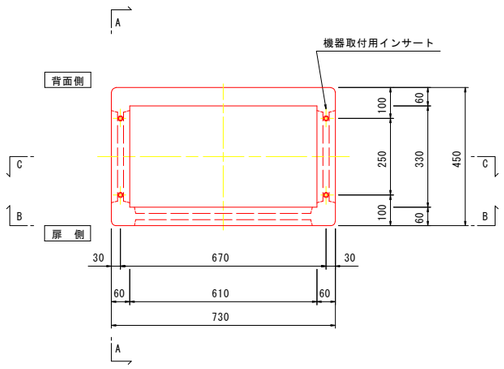
㈱新日本技術コンサルタント 099-281-9143

電力系特殊部構造図(5/6)　(A1)S=1:10　(A3)S=1:20

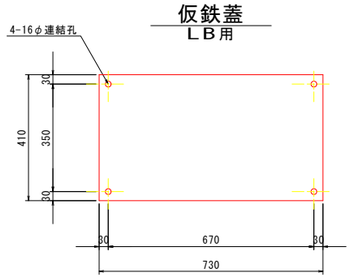
機器用ハンドホール(LB用-底なし)(W330×H650×L610)

設置箇所	
歩道部(左)	LB-L1～LB-L3, LB-L10
歩道部(右)	LB-R4, LB-R8, LB-R11, LB-R12

平　面　図



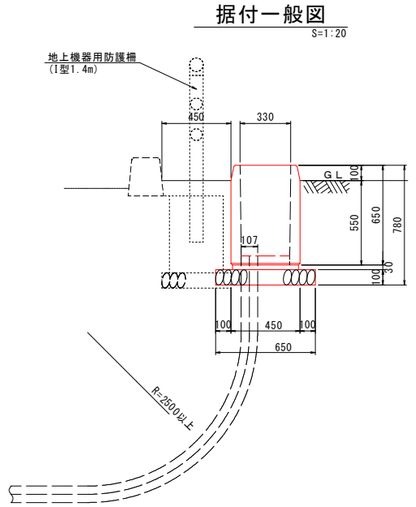
仮鉄蓋 LB用



※　仮鉄蓋は機器据付完了時まで設置する。

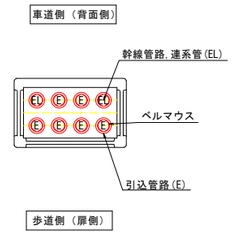
据付一般図

S=1:20

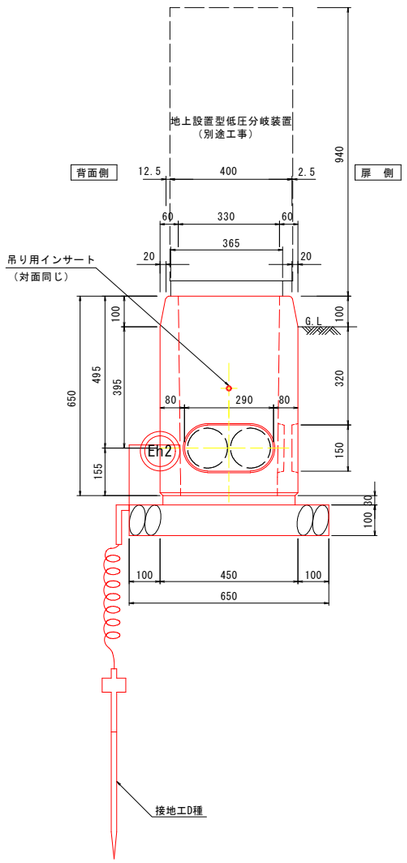


接地工
D種
14mm2

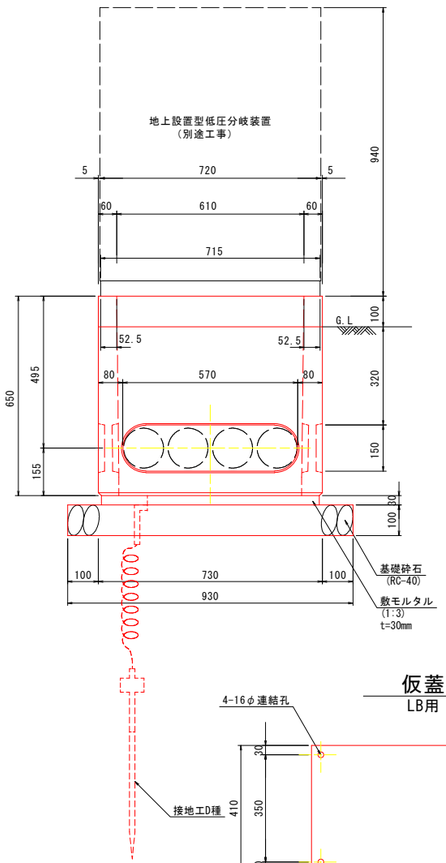
配管要領図



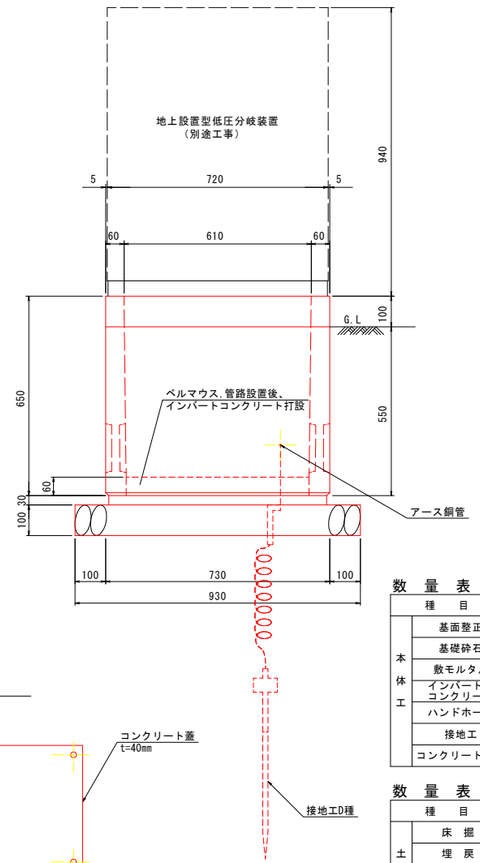
A-A断面



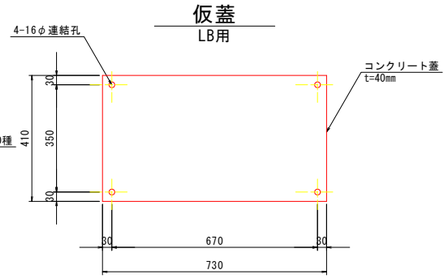
B-B断面



C-C断面



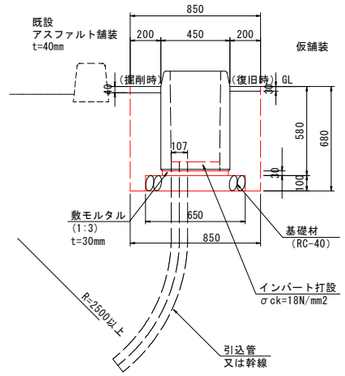
仮蓋 LB用



※　仮蓋は機器据付完了時まで設置する。

土工図

S=1:20



1箇所あたり

数　量　表

種　目		規　格	計　算　式	数　量	単位
本体工	基面整正		A=0.65×0.93 = 0.60	0.6	m2
	基礎砕石	t=100	A=0.65×0.93 = 0.60	0.6	m2
	敷モルタル	1:3	V=0.45×0.73×0.03 = 0.010	0.01	m3
	インバート コンクリート	σck=18N/mm2	V=0.32×0.60×0.06 = 0.012	0.01	m3
	ハンドホール	330×650×610 底なしタイプ	参考重量　W=0.2t	1.0	基
	接地工	D種		1.0	極
	コンクリート仮蓋	LB用	0.41×0.73×0.04, 概算重量30kg	1.0	組

数　量　表

1箇所あたり

種　目		規　格	計　算　式	数　量	単位
土工	床　掘	土砂	V=0.85×1.13×0.64 = 0.61	0.6	m3
	埋　戻	水締め	V=0.85×1.13×0.65-(0.65×0.93×0.10 +0.45×0.73×0.55) = 0.38	0.4	m3
処理工	残土処理	土砂	V=0.6-0.4/0.95 = 0.18	0.2	m3

ノック孔を設ける場合

150×290　－－－　2個

150×570　－－－　1個

合計　3個

※ 注 記

1) 通信系特殊部の設置について『九州地区電線共同マニュアル（案）R2.3改訂版』に準拠する事。
2) 通信系特殊部の設置箇所は、監督職員及び既存埋設管の管理事業者と協議の上、地下埋設物を確認の上、施工する事。

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その6)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系特殊部構造図(5/6)　S=1:10		
図面番号	全 46 の 16	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

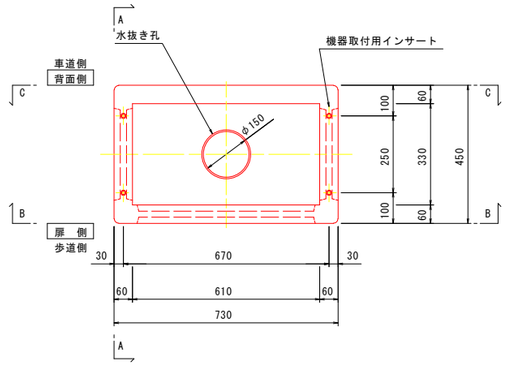
㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系特殊部構造図(6/6) (A1)S=1:10 (A3)S=1:20

機器用ハンドホール(LB用)(W330×H590×L610)

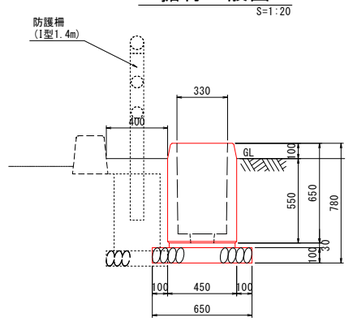
設置箇所	
歩道部(左)	LB-L4～LB-L9
歩道部(右)	LB-R1, LB-R2, LB-R3, LB-R5～LB-R7 LB-R9～LB-R10, LB-R13

平面図



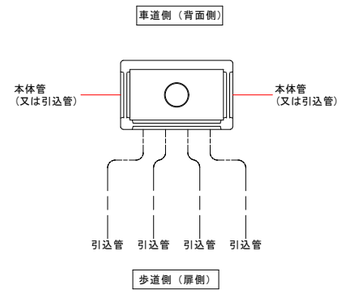
据付一般図

S=1:20

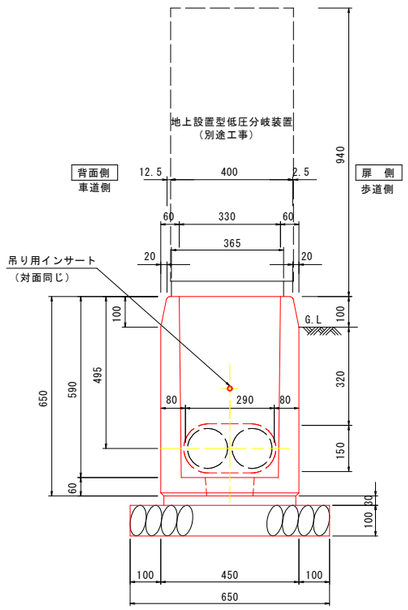


接地工
D種
14mm2

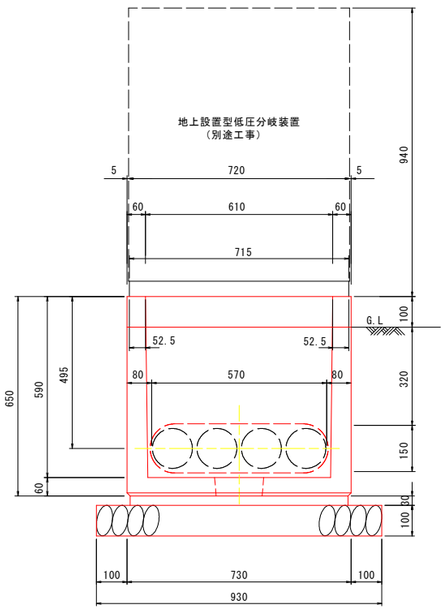
配管要領図



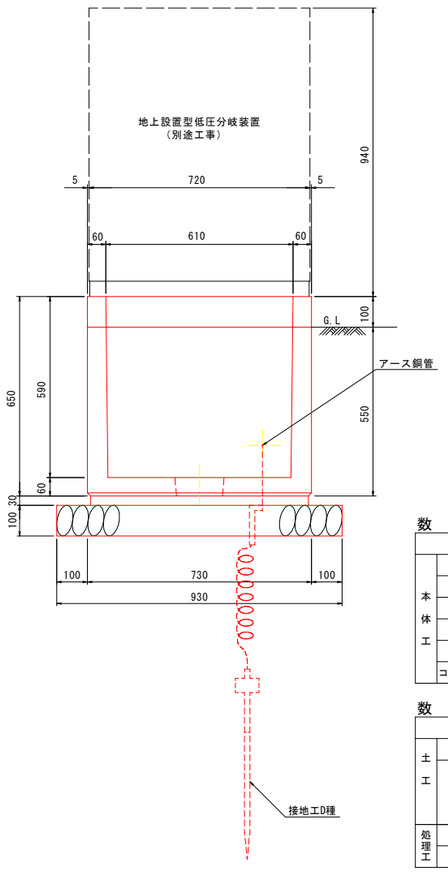
A-A断面



B-B断面

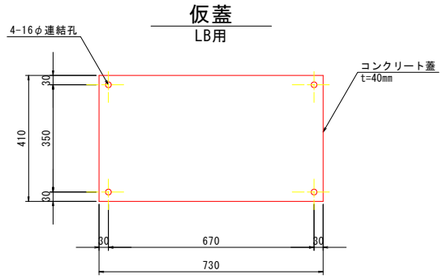


C-C断面



仮蓋

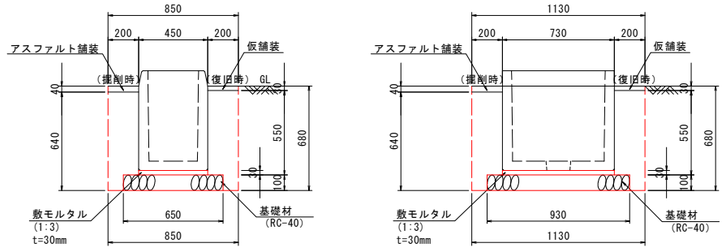
LB用



※ 仮蓋は機器据付完了時まで設置する。

土工図

S=1:20



数 量 表

1箇所あたり

種 目		規 格	計 算 式	数 量	単位
本体工	基面整正		A=0.65×0.93 = 0.60	0.6	m2
	基礎砕石	t=100	A=0.65×0.93 = 0.60	0.6	m2
	敷モルタル	1:3	V=0.45×0.73×0.03 = 0.010	0.01	m3
	ハンドホール	330×590×610	参考重量 W=0.225t	1.0	基
	接地工	D種		1.0	極
	コンクリート仮蓋	LB用	W=0.41×0.73×0.04=30kg	1.0	組

数 量 表

1箇所あたり

種 目		規 格	計 算 式	数 量	単位
土工	床 掘	土砂	V=0.85×1.13×0.64 = 0.61	0.6	m3
	埋 戻	水締め	V=0.85×1.13×0.65 -(0.65×0.93×0.10+0.45×0.73×0.55) = 0.38	0.4	m3
処理工	残土処理	土砂	V=0.6-0.4/0.95 = 0.18	0.2	m3

※ 注 記

1.) 電力系器機用ハンドホールの設置について『九州地区電線共同マニュアル（案）R2.3改訂版』に準拠する事。

2.) 電力系器機用ハンドホール部の設置箇所は、監督職員と協議の上、試掘調査を実施し地下埋設物の確認を行う事。

工 事 名	唐湊線(都元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市 都元一丁目		
図面種類	電力系特殊部構造図(6/6) S=1:10		
図面番号	全 46 の 17	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント 099-281-9143

電力系特殊部展開図(1/4)　(A1)S=1:25　(A3)S=1:50

左側

区分	記号	企　業　名	管材
電力系	E特	九州電力	(S)FEPφ150
	E特メ	九州電力	(S)FEPφ150
	Eh	九州電力	(S)FEPφ100
	EL	九州電力	(S)FEPφ100
	EC1	九州電力	(S)FEPφ100
	EC2	九州電力	(S)FEPφ100
	E	九州電力	(S)FEPφ80

名　称	規　格		数　量
ロングベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	4
		SFEP100	6
	難燃性FEP管用	FEP150	－
		FEP100	－
ベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP150	－
		FEP100	－
止水栓	強化可とう管用	SFEP150	2
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP150	－
		FEP100	－

【凡例】
(L)：ロングベルマウス
(B)：ベルマウス

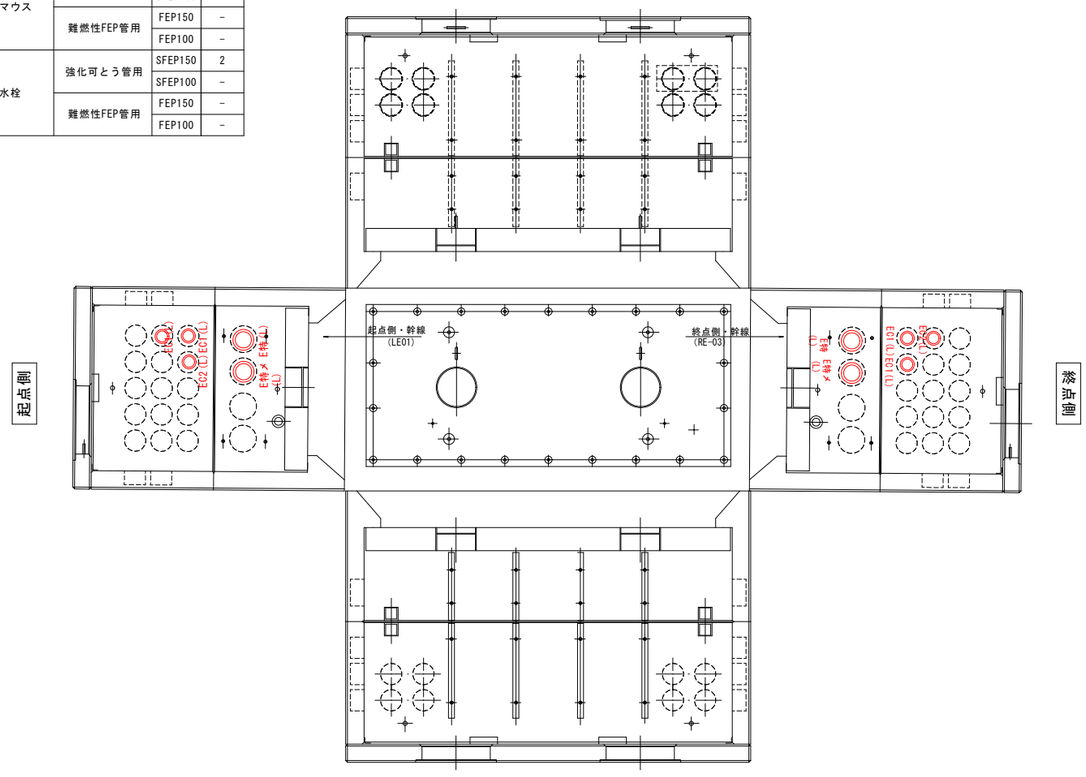
名　称	LE02
型　式	ｹｰｿﾝ式A-3型マンホール W1800×H2100×L4000

※ 管種，管径は下表を参照すること

名　称	LB-L1
型　式	機器用ハンドホール(LB用) 330×650×610　※底なし

※ 管種，管径は下表を参照すること

民地側

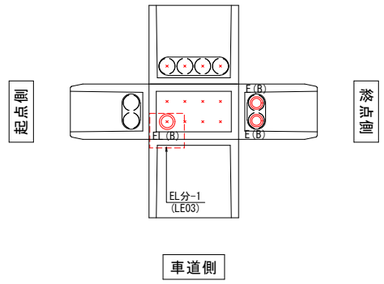


車道側

名　称	規　格		数　量
ロングベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
ベルマウス	強化可とう管用	SFEP100	1
	難燃性FEP管用	FEP100	－
		FEP80	2
止水栓	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
		FEP80	－

【凡例】
(L)：ロングベルマウス
(B)：ベルマウス

民地側



車道側

民地側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

起点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	E特	SFEP	150	1
	E特メ	SFEP	150	1
	EC1	SFEP	100	2
	EC2	SFEP	100	1
連　系				
引　込				

終点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

車道側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

起点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

底面

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	EL	SFEP	100	1
連　系				
引　込				

終点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込	E	FEP	80	2

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系特殊部展開図(1/4) S=1:25		
図面番号	全 46 の 18	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系特殊部展開図(2/4) (A1)S=1:25 (A3)S=1:50

右側

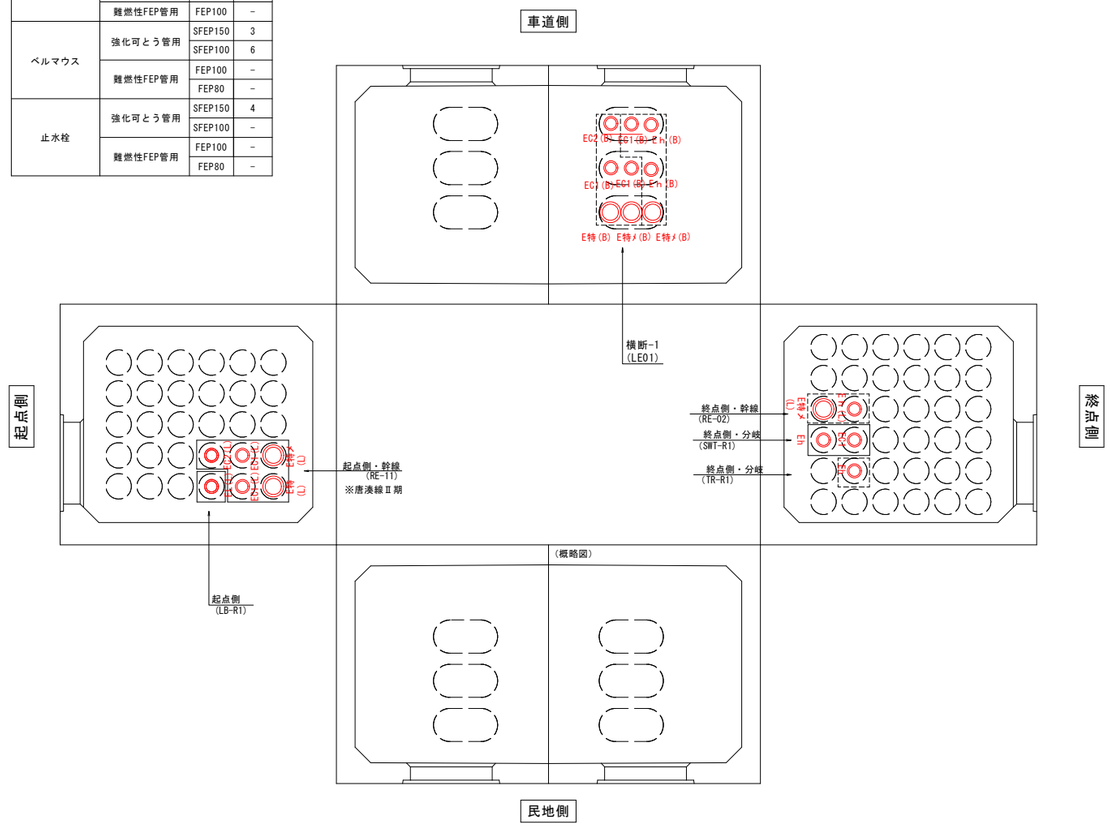
区分	記号	企　業　名	管材
電力系	E特	九州電力	(S)FEPφ150
	E特メ	九州電力	(S)FEPφ150
	Eh	九州電力	(S)FEPφ100
	EL	九州電力	(S)FEPφ100
	EC1	九州電力	(S)FEPφ100
	EC2	九州電力	(S)FEPφ100
	E	九州電力	(S)FEPφ80

名　称	RE01
型　式	A-3型マンホール W1800×H2100×L4000

※ 管種，管径は下表を参照すること

名　称	規　格		数　量
ロングベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	3
		SFEP100	8
	難燃性FEP管用	FEP100	－
ベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	3
		SFEP100	6
	難燃性FEP管用	FEP100	－
		FEP80	－
止水栓	強化可とう管用	SFEP150	4
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
		FEP80	－

【凡例】
(L)：ロングベルマウス
(B)：ベルマウス



車道側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	E特	SFEP	150	1
	E特メ	SFEP	150	2
	EC1	SFEP	100	3
	EC2	SFEP	100	1
	Eh	SFEP	100	2
連　系				
引　込				

起点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	E特	SFEP	150	1
	E特メ	SFEP	150	1
	EC1	SFEP	100	2
	EC2	**SFEP**	**100**	**1**
連　系				
分　岐	EL	SFEP	100	1

終点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	E特メ	SFEP	150	1
	Eh	SFEP	100	1
連　系				
分　岐	Eh	SFEP	100	2
	EC1	SFEP	100	1
引　込				

民地側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系特殊部展開図(2/4) S=1:25		
図面番号	全 46 の 19	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系特殊部展開図(3/4)　(A1)S=1:25　(A3)S=1:50

区分	記号	企　業　名	管材
電力系	E特	九州電力	(S)FEPφ150
	E特メ	九州電力	(S)FEPφ150
	Eh	九州電力	(S)FEPφ100
	EL	九州電力	(S)FEPφ100
	EC1	九州電力	(S)FEPφ100
	EC2	九州電力	(S)FEPφ100
	E	九州電力	(S)FEPφ80

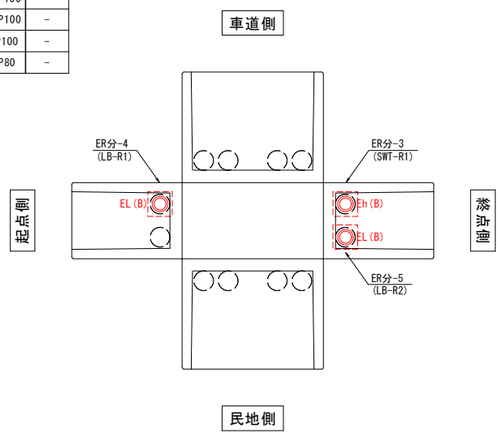
右側

名　称	TR-R1
型　式	機器用ハンドホール(TR用) 470×800×1000

※ 管種，管径は下表を参照すること

名　称	規　格		数　量
ロングベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	-
		SFEP100	-
	難燃性FEP管用	FEP100	-
ベルマウス	強化可とう管用	SFEP100	-
	難燃性FEP管用	FEP100	3
		FEP80	-
止水栓	強化可とう管用	SFEP150	-
		SFEP100	-
	難燃性FEP管用	FEP100	-
		FEP80	-

【凡例】
(L)：ロングベルマウス
(B)：ベルマウス



起点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	EL	FEP	100	1
連　系				
引　込				

車道側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

民地側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

終点側

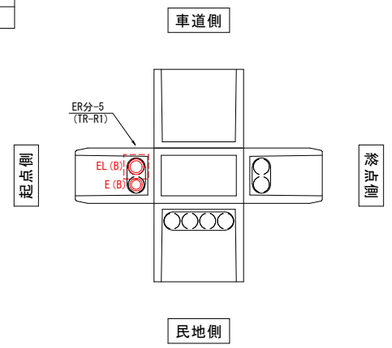
区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	Eh	FEP	100	1
	EL	FEP	100	1
連　系				
引　込				

名　称	LB-R2
型　式	機器用ハンドホール(LB用) 330×590×610

※ 管種，管径は下表を参照すること

名　称	規　格		数　量
ロングベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	-
		SFEP100	-
	難燃性FEP管用	FEP100	-
ベルマウス	強化可とう管用	SFEP100	-
	難燃性FEP管用	FEP100	1
		FEP80	1
止水栓	強化可とう管用	SFEP150	-
		SFEP100	-
	難燃性FEP管用	FEP100	-
		FEP80	-

【凡例】
(L)：ロングベルマウス
(B)：ベルマウス



起点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	EL	FEP	100	1
	E	FEP	80	1
連　系				
引　込				

車道側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

民地側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

終点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系特殊部展開図(3/4)　S=1:25		
図面番号	全 46 の　20	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　　099-281-9143

電力系特殊部展開図(4/4)　(A1)S=1:25　(A3)S=1:50

区分	記号	企　業　名	管材
電力系	E特	九州電力	(S)FEPφ150
	E特メ	九州電力	(S)FEPφ150
	Eh	九州電力	(S)FEPφ100
	EL	九州電力	(S)FEPφ100
	EC1	九州電力	(S)FEPφ100
	EC2	九州電力	(S)FEPφ100
	E	九州電力	(S)FEPφ80

右側

名　称	SWT-R1
型　式	機器用ハンドホール(SWT用) Kブロック付き W420×H750×L1200

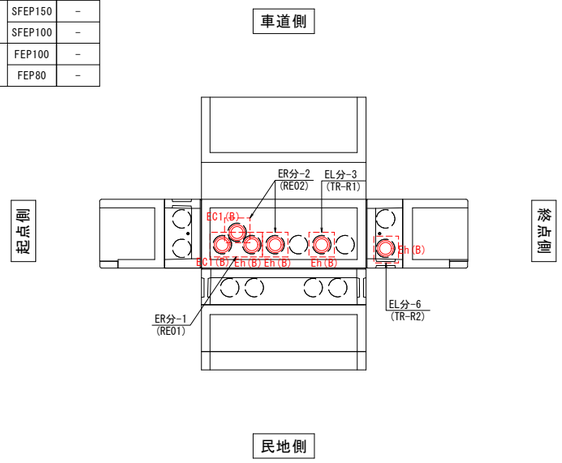
※ 管種，管径は下表を参照すること

名　称	TR-R2
型　式	機器用ハンドホール(TR用) 470×800×1000

※ 管種，管径は下表を参照すること

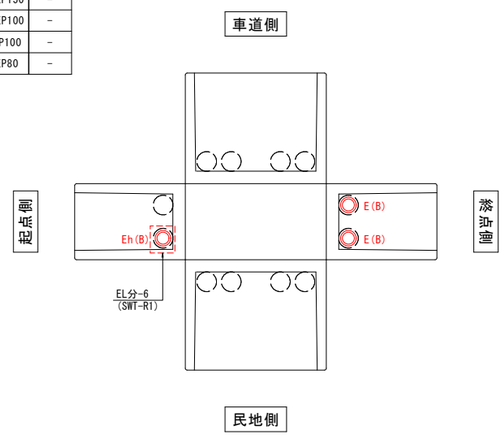
名　称	規　格		数　量
ロングベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
ベルマウス	強化可とう管用	SFEP100	6
	難燃性FEP管用	FEP100	－
		FEP80	－
止水栓	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
		FEP80	－

【凡例】
(L)：ロングベルマウス
(B)：ベルマウス



名　称	規　格		数　量
ロングベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
ベルマウス	強化可とう管用	SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	3
		FEP80	－
止水栓	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
		FEP80	－

【凡例】
(L)：ロングベルマウス
(B)：ベルマウス



起点側（底面）

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

底面

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	Eh	SFEP	100	3
	EC1	SFEP	100	2
連　系				
引　込				

民地側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

終点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	Eh	SFEP	100	1
連　系				
引　込				

起点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	Eh	FEP	100	1
連　系				
引　込				

車道側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

民地側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

終点側

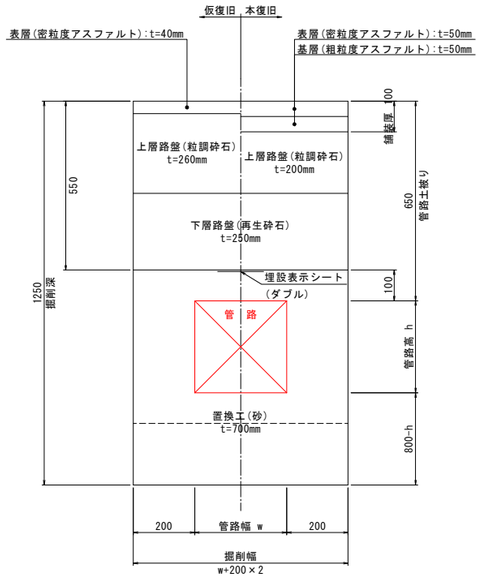
区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込	E	FEP	100	2

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系特殊部展開図(4/4)　S=1:25		
図面番号	全 46 の　21	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

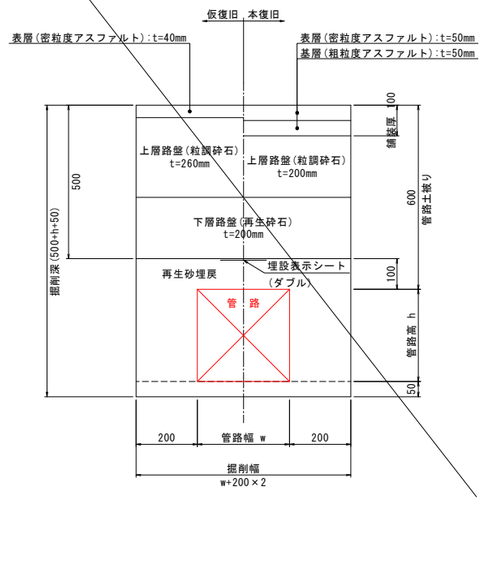
㈱新日本技術コンサルタント　　099-281-9143

標準管路断面図　(A1)S=1:10 (A3)S=1:20

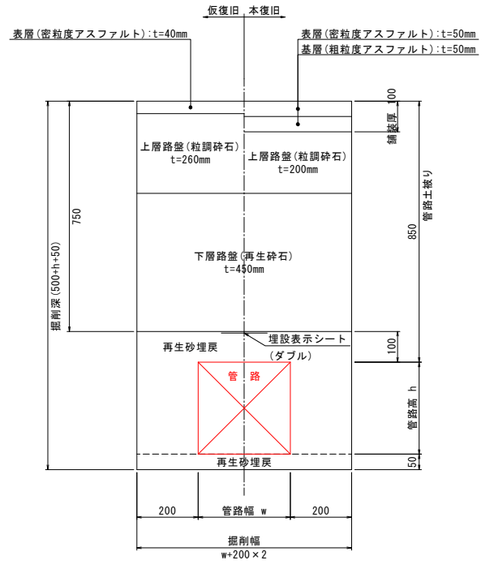
唐湊線車道舗装区間1
(BP～NO.19)
(下り線(鹿大側))
※区間内の取付市道車道舗装



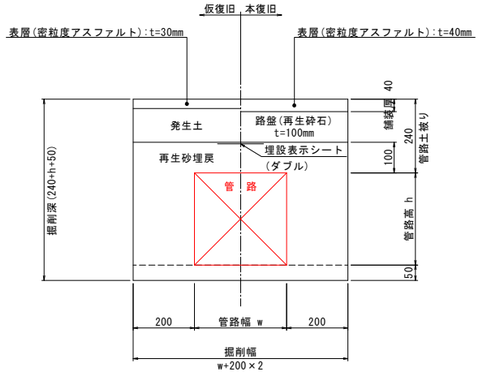
唐湊線車道舗装区間2
(NO.19～NO.50)
(上下線共)
※区間内の取付市道車道舗装



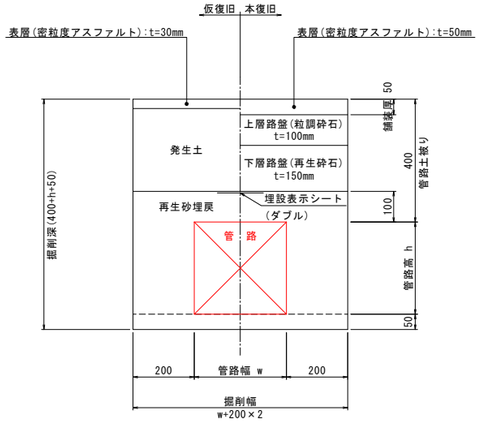
唐湊線車道舗装区間3
(NO.19～BP)
※区間内の取付市道車道舗装



歩道舗装
(標準部)



乗入部舗装Ⅰ
(全区間)



工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	標準管路断面図 S=1:10		
図面番号	全 46 の 22	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系管路工平面図(1/2)
【BP～NO.6】

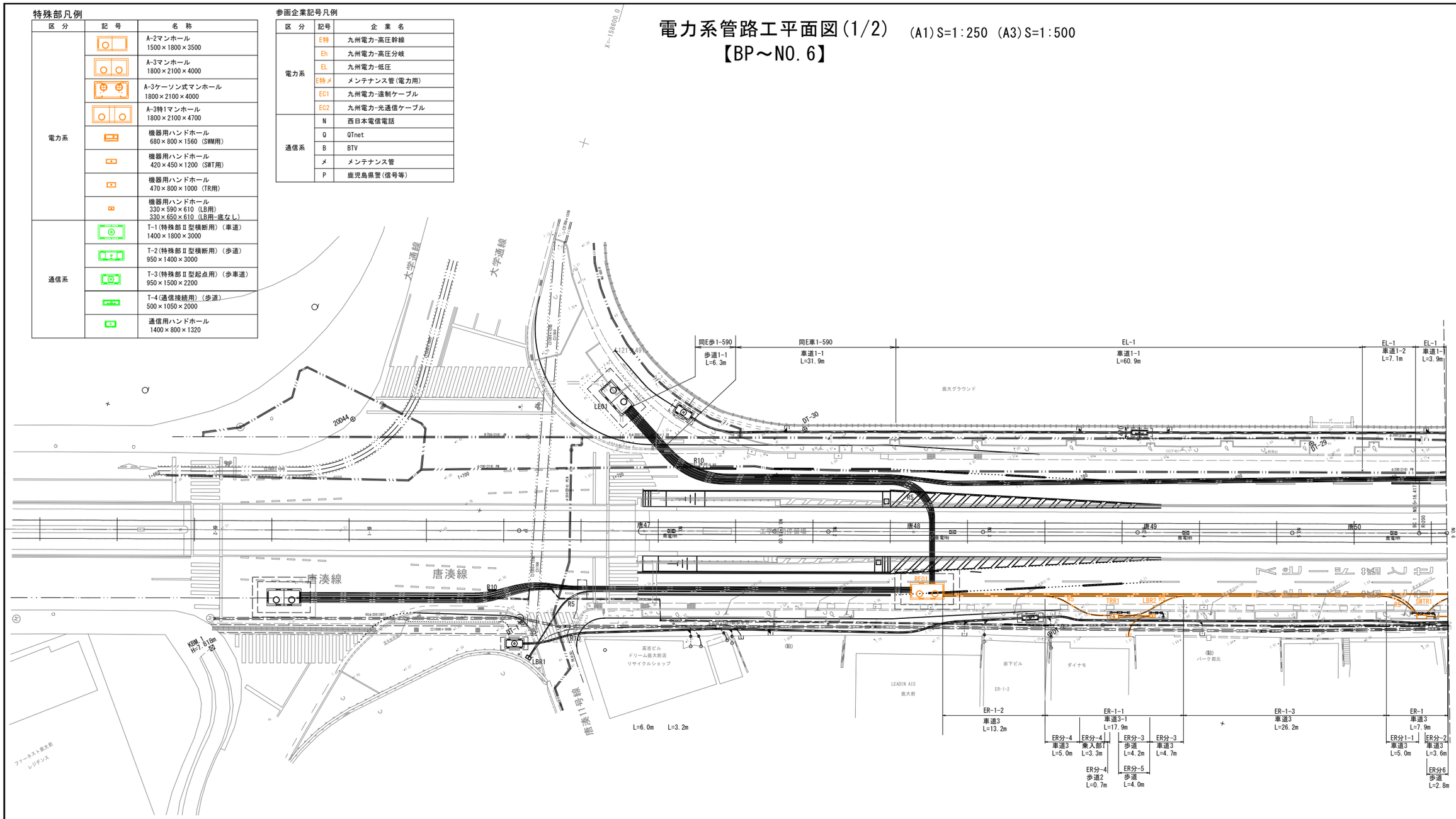
(A1)S=1:250 (A3)S=1:500

特殊部凡例

区　分	記　号	名　称
電力系		A-2マンホール 1500×1800×3500
		A-3マンホール 1800×2100×4000
		A-3ケーソン式マンホール 1800×2100×4000
		A-3特1マンホール 1800×2100×4700
		機器用ハンドホール 680×800×1560 (SWM用)
		機器用ハンドホール 420×450×1200 (SWT用)
		機器用ハンドホール 470×800×1000 (TR用)
		機器用ハンドホール 330×590×610 (LB用) 330×650×610 (LB用-底なし)
通信系		T-1(特殊部Ⅱ型横断用)(車道) 1400×1800×3000
		T-2(特殊部Ⅱ型横断用)(歩道) 950×1400×3000
		T-3(特殊部Ⅱ型起点用)(歩車道) 950×1500×2200
		T-4(通信接続用)(歩道) 500×1050×2000
		通信用ハンドホール 1400×800×1320

参画企業記号凡例

区　分	記号	企　業　名
電力系	E特	九州電力-高圧幹線
	Eh	九州電力-高圧分岐
	EL	九州電力-低圧
	E特メ	メンテナンス管(電力用)
	EC1	九州電力-遠制ケーブル
	EC2	九州電力-光通信ケーブル
通信系	N	西日本電信電話
	Q	QTnet
	B	BTV
	メ	メンテナンス管
	P	鹿児島県警(信号等)

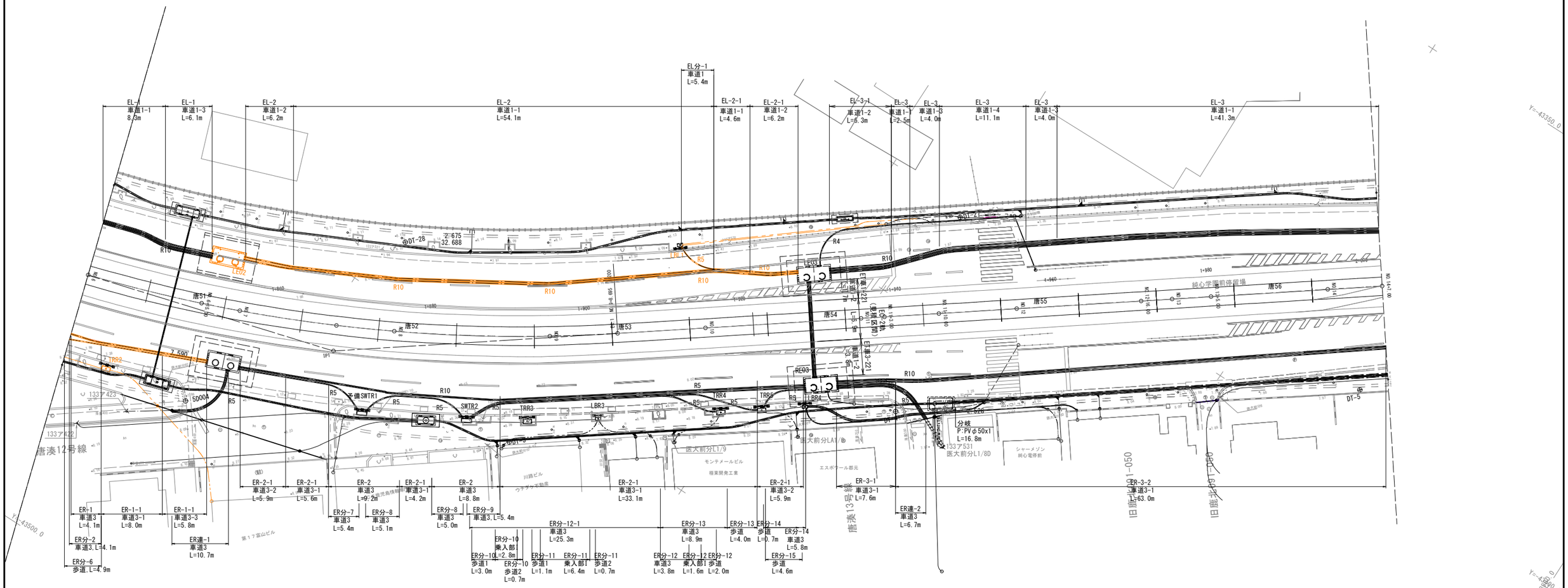


工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系管路工平面図(1/2)　S=1:250		
図面番号	全 46 の 23	作製	令和8年11月

鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系管路工平面図(2/2) (A1)S=1:250 (A3)S=1:500
【NO.6～NO.14+7.0】



工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系管路工平面図(2/2)　S=1:250		
図面番号	全 46 の 24	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

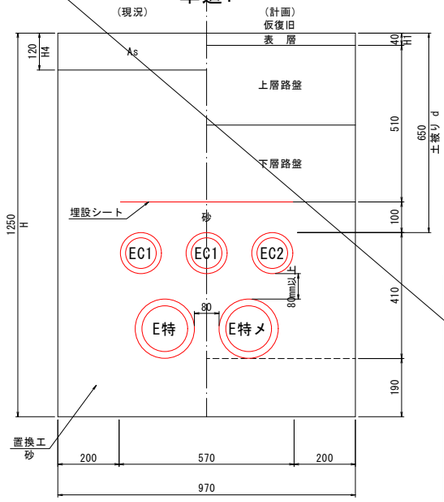
㈱新日本技術コンサルタント　　099-281-9143

電力系管路工断面図(1/3)　(A1)S=1:10　(A3)S=1:20

左側

電力系幹線

EL-1
LE01～LE02
車道1



SFEPφ150x2
SFEPφ100x3

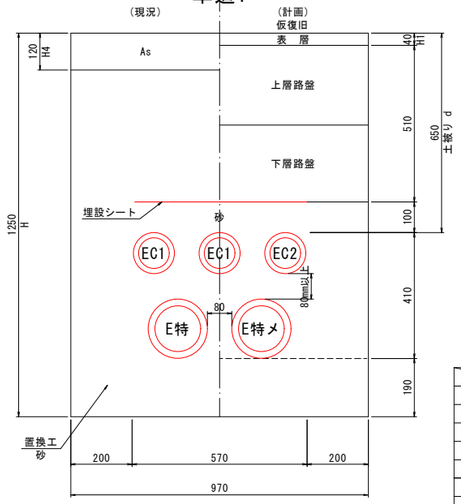
	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道1-1	650	40	0	0	120	1250
車道1-2	980	40	190	0	120	1440
車道1-3	1270	40	480	0	120	1730

※H2:砂の厚さ

1m当り

	計算式	数量	単位
車道1-1			
床掘	0.97*(1.25-0.12)	1.10	m3
埋戻し(砂)		-	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除		-	m2
車道1-2			
床掘	0.97*(1.44-0.12)	1.28	m3
埋戻し(砂)	0.97*0.19-0.06	0.12	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.029*2	0.06	m2
車道1-3			
床掘	0.97*(1.73-0.12)	1.56	m3
埋戻し(砂)	0.97*0.48-0.10	0.37	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014*3+SFEP:0.029*2	0.10	m2

EL-2
LE02～LE03
車道1



SFEPφ150x2
SFEPφ100x3

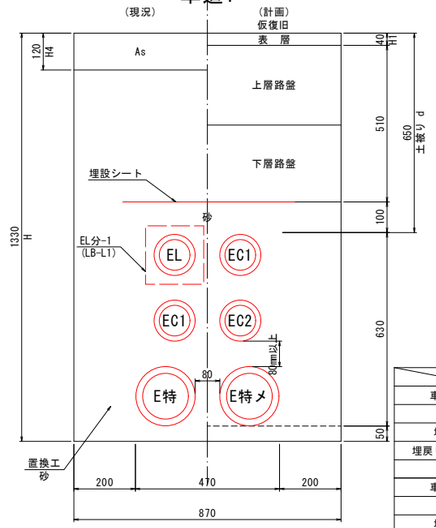
	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道1-1	650	40	0	0	120	1250
車道1-2	1280	40	490	0	120	1740

※H2:砂の厚さ

1m当り

	計算式	数量	単位
車道1-1			
床掘	0.97*(1.25-0.12)	1.10	m3
埋戻し(砂)		-	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除		-	m2
車道1-2			
床掘	0.97*(1.74-0.12)	1.57	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.165+0.10)-0.02	0.17	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014*3+SFEP:0.029*2	0.10	m2

EL-2-1
LE02～LE03
車道1



SFEPφ150x2
SFEPφ100x4

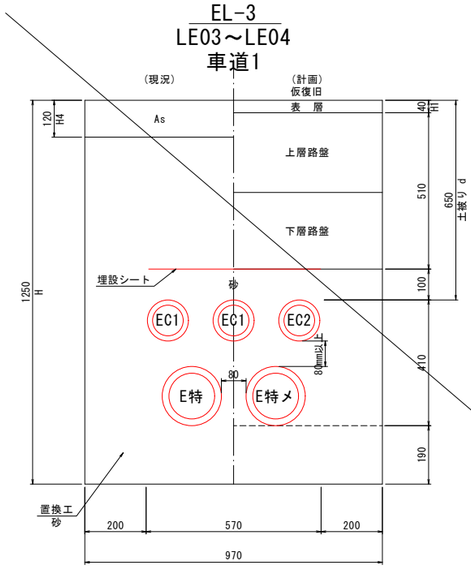
	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道1-1	650	40	80	0	120	1330
車道1-2	1280	40	710	0	120	1960

※H2:砂の厚さ

1m当り

	計算式	数量	単位
車道1-1			
床掘	0.87*(1.33-0.12)	1.05	m3
埋戻し(砂)	0.87*0.08	0.07	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除		-	m2
車道1-2			
床掘	0.87*(1.96-0.12)	1.60	m3
埋戻し(砂)	0.87*0.71-0.11	0.51	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014*4+SFEP:0.029*2	0.11	m2

EL-3
LE03～LE04
車道1



SFEPφ150x2
SFEPφ100x3

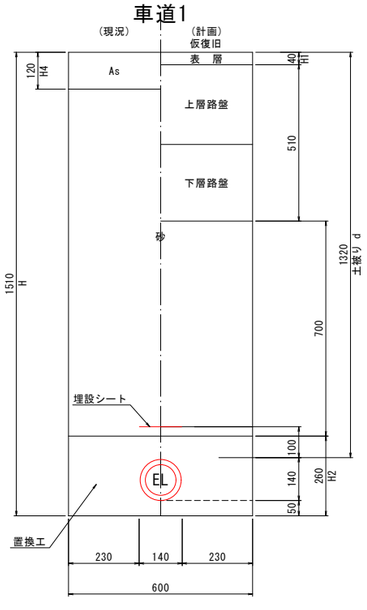
	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道1-1	650	40	0	0	120	1250
車道1-2	910	40	260	0	120	1510
車道1-3	1060	40	410	0	120	1660
車道1-4	1470	40	820	0	120	2070
車道1-5	1300	40	650	0	120	1900

※H2:砂の厚さ

1m当り

	計算式	数量	単位
車道1-1			
床掘	0.97*(1.25-0.12)	1.10	m3
埋戻し(砂)		-	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除		-	m2
車道1-2			
床掘	0.97*(1.51-0.12)	1.35	m3
埋戻し(砂)	0.97*0.26-0.06	0.19	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.029*2	0.06	m2
車道1-3			
床掘	0.97*(1.66-0.12)	1.49	m3
埋戻し(砂)	0.97*0.41-0.10	0.30	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014*3+SFEP:0.029*2	0.10	m2
車道1-4			
床掘	0.97*(2.07-0.12)	1.89	m3
埋戻し(砂)	0.97*0.82-0.10	0.70	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014*3+SFEP:0.029*2	0.10	m2
車道1-5			
床掘	0.97*(1.90-0.12)	1.73	m3
埋戻し(砂)	0.97*0.65-0.10	0.53	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014*3+SFEP:0.029*2	0.10	m2

EL分-1
LE03～LB-L1
車道1



SFEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道1	1320	40	260	0	120	1510

※H2:砂の厚さ

1m当り

	計算式	数量	単位
車道1			
床掘	0.60*(1.51-0.12)	0.83	m3
埋戻し(砂)	0.60*0.26-0.01	0.15	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014	0.01	m2

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系管路工断面図(1/3) S=1:10		
図面番号	全 46 の 25	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

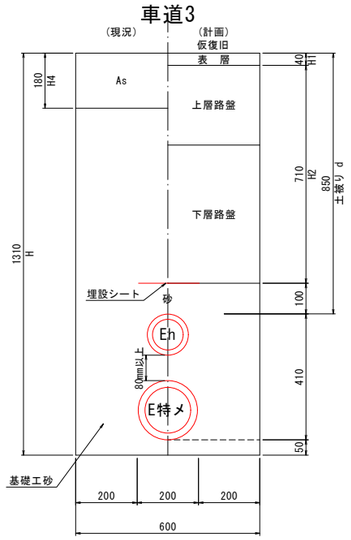
電力系管路工断面図(2/3)

(A1)S=1:10　(A3)S=1:20

右側

電力系幹線

ER-1
RE01～RE02
車道3



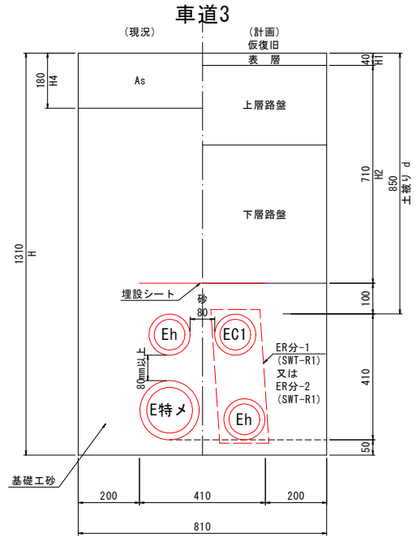
SFEPφ150x1
SFEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	850	40	710	0	180	1310

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.60*(1.31-0.18)	0.68	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.410+0.10)-0.04	0.29	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014+SFEP:0.029	0.04	m2

ER-1-1
RE01～RE02
車道3



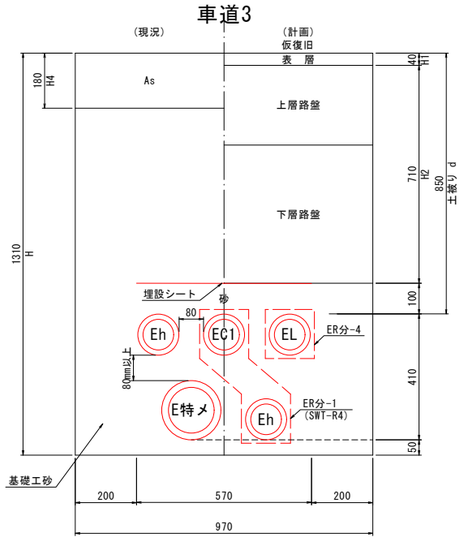
SFEPφ150x1
SFEPφ100x3

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3-1	850	40	710	0	180	1310
車道3-2	1390	40	710	680	180	1850
車道3-3	1360	40	710	650	180	1820

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3-1			
床掘	0.81*(1.31-0.18)	0.92	m3
埋戻し(砂)	0.81*(0.05+0.41+0.10)-0.07	0.38	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014*3+SFEP:0.029	0.07	m2
車道3-2			
床掘	0.81*(1.85-0.18)	1.35	m3
埋戻し(砂)	0.81*(0.05+0.41+0.10)-0.07	0.38	m3
埋戻し(発生土)	0.81*0.68	0.55	m3
管路控除	SFEP:0.014*3+SFEP:0.029	0.07	m2
車道3-3			
床掘	0.81*(1.82-0.18)	1.33	m3
埋戻し(砂)	0.81*(0.05+0.41+0.10)-0.07	0.38	m3
埋戻し(発生土)	0.81*0.65	0.53	m3
管路控除	SFEP:0.014*3+SFEP:0.029	0.07	m2

ER-1-2
RE01～RE02
車道3



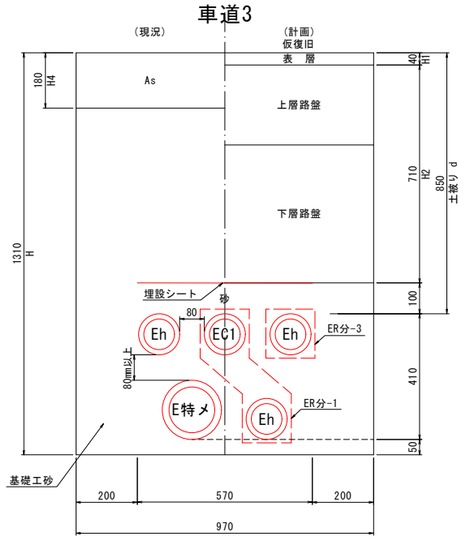
SFEPφ150x1
SFEPφ100x4

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	850	40	710	0	180	1310

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.97*(1.31-0.18)	1.10	m3
埋戻し(砂)	0.97*(0.05+0.41+0.10)-0.09	0.45	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014*4+SFEP:0.029	0.09	m2

ER-1-3
RE01～RE02
車道3



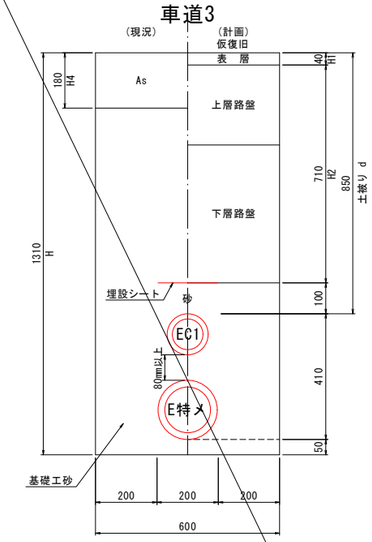
SFEPφ150x1
SFEPφ100x4

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	850	40	710	0	180	1310

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.97*(1.31-0.18)	1.10	m3
埋戻し(砂)	0.97*(0.05+0.41+0.10)-0.08	0.46	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014*4+SFEP:0.029	0.08	m2

ER-2
RE02～RE03
車道3



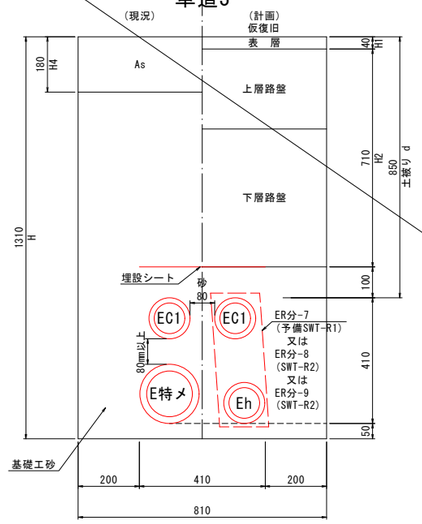
SFEPφ150x1
SFEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	850	40	710	0	180	1310

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.60*(1.31-0.18)	0.68	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.41+0.10)-0.04	0.30	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014+SFEP:0.029	0.04	m2

ER-2-1
RE02～RE03
車道3



SFEPφ150x1
SFEPφ100x3

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3-1	850	40	710	0	180	1310
車道3-2	1520	40	710	670	180	1980

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3-1			
床掘	0.81*(1.31-0.18)	0.92	m3
埋戻し(砂)	0.81*(0.05+0.41+0.10)-0.07	0.38	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014*3+SFEP:0.029	0.07	m2
車道3-2			
床掘	0.81*(1.98-0.18)	1.46	m3
埋戻し(砂)	0.81*(0.05+0.41+0.10)-0.07	0.38	m3
埋戻し(発生土)	0.81*0.67	0.54	m3
管路控除	SFEP:0.014*3+SFEP:0.029	0.07	m2

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)
事　業　名	無電柱化推進計画事業
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目
図面種類	電力系管路工断面図(2/3)　S=1:10
図面番号	全 46 の 26
作製	令和8年11月

鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課

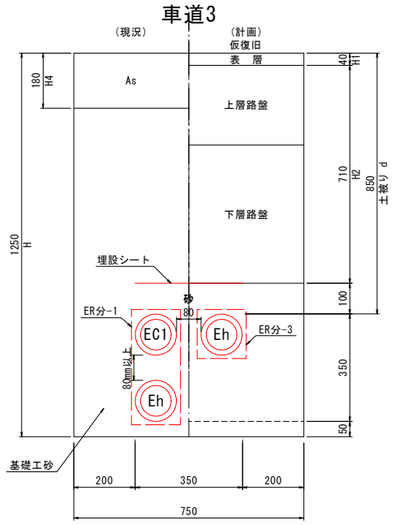
㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系管路工断面図(3/3)　(A1)S=1:10　(A3)S=1:20

右側

電力系分岐

ER分-1-1
RE01～SWT-R1
車道3



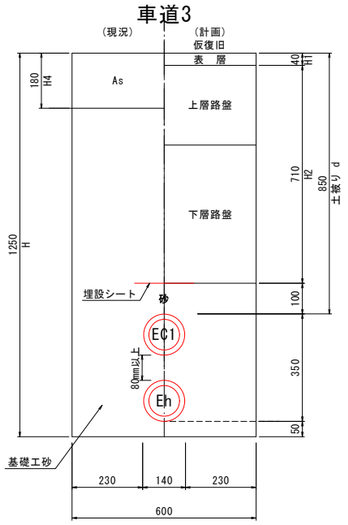
SFEPφ100x3

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	850	40	710	0	180	1250

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.75*(1.25-0.18)	0.80	m3
埋戻し(砂)	0.75*(0.05+0.35+0.10)-0.04	0.34	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014*3	0.04	m2

ER分-2
SWT-R1～RE02
車道3



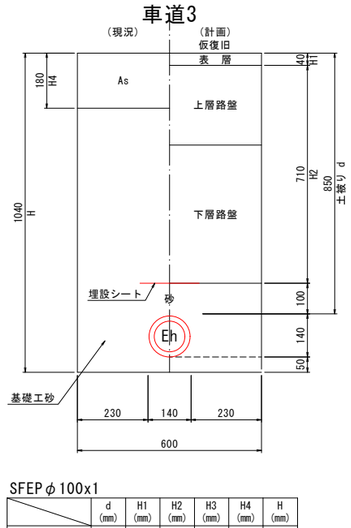
SFEPφ100x2

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	850	40	710	0	180	1250

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.60*(1.25-0.18)	0.64	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.35+0.10)-0.03	0.27	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014*2	0.03	m2

ER分-3
SWT-R1～TR-R1
車道3



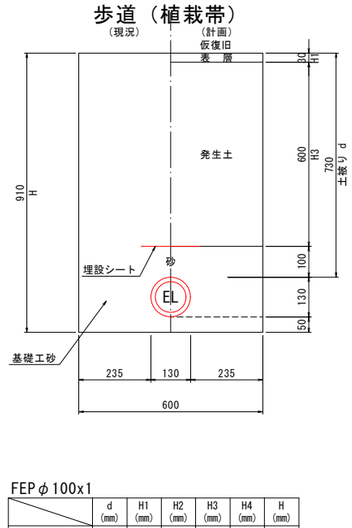
SFEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	850	40	710	0	180	1040

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.60*(1.04-0.18)	0.52	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.14+0.10)-0.01	0.16	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014	0.01	m2

ER分-3
SWT-R1～TR-R1
歩道（植栽帯）



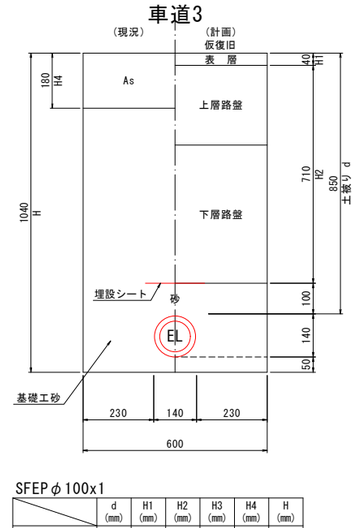
FEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
歩　道	730	30	0	600	0	910

1m当り

	計算式	数量	単位
歩　道			
床掘	0.60*0.91	0.55	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.14+0.10)-0.01	0.16	m3
埋戻し(発生土)	0.60*0.60	0.36	m3
管路控除	FEP:0.013	0.01	m2

ER分-4
TR-R1～LB-R1
車道3



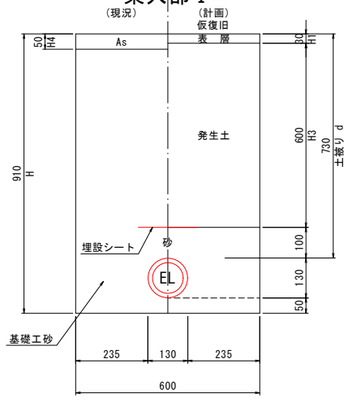
SFEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	850	40	710	0	180	1040

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.60*(1.04-0.18)	0.52	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.14+0.10)-0.01	0.16	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014	0.01	m2

ER分-4
TR-R1～LB-R1
乗入部Ⅰ



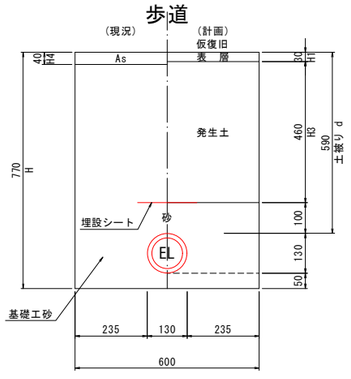
FEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
乗入部Ⅰ	730	30	0	600	50	910

1m当り

	計算式	数量	単位
乗入部Ⅰ			
床掘	0.60*(0.91-0.05)	0.52	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.13+0.10)-0.01	0.16	m3
埋戻し(発生土)	0.60*0.60	0.36	m3
管路控除	FEP:0.013	0.01	m2

ER分-4
TR-R1～LB-R1
歩道



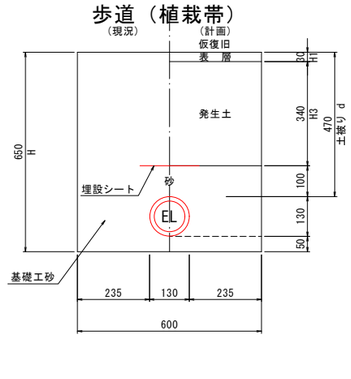
FEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
歩道1	590	30	0	460	40	770
歩道2	605	30	0	475	40	785

1m当り

	計算式	数量	単位
歩道1			
床掘	0.60*(0.77-0.04)	0.44	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.13+0.10)-0.01	0.16	m3
埋戻し(発生土)	0.60*0.46	0.28	m3
管路控除	FEP:0.013	0.01	m2
歩道2			
床掘	0.60*(0.785-0.04)	0.45	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.13+0.10)-0.01	0.16	m3
埋戻し(発生土)	0.60*0.475	0.29	m3
管路控除	FEP:0.013	0.01	m2

ER分-5
TR-R1～LB-R2
歩道（植栽帯）



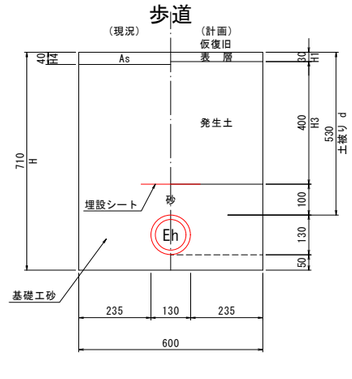
FEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
歩　道	470	30	0	340	0	650

1m当り

	計算式	数量	単位
歩　道			
床掘	0.60*0.65	0.39	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.13+0.10)-0.01	0.16	m3
埋戻し(発生土)	0.60*0.34	0.20	m3
管路控除	FEP:0.013	0.01	m2

ER分-6
SWT-R1～TR-R2
歩道



FEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
歩　道	530	30	0	400	40	710

1m当り

	計算式	数量	単位
歩　道			
床掘	0.60*(0.71-0.04)	0.40	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.13+0.10)-0.01	0.16	m3
埋戻し(発生土)	0.60*0.40	0.24	m3
管路控除	FEP:0.013	0.01	m2

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系管路工断面図(3/3)　S=1:10		
図面番号	全 46 の 27	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

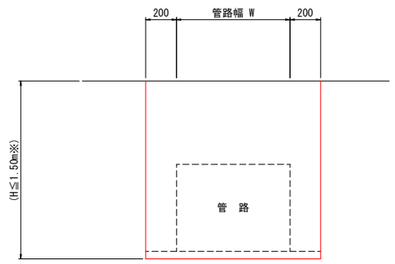
㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

仮設工構造図(1/4)

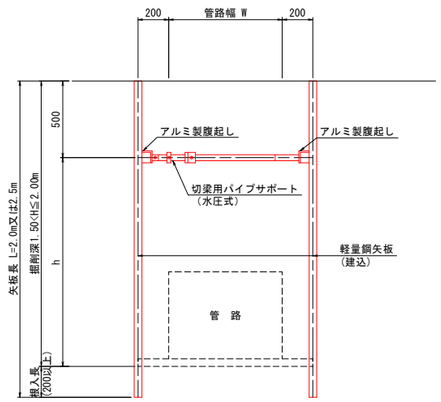
(A1)S=1:20, (A3)S=1:40

電力系・通信系管路部※掘削深H≦3.0

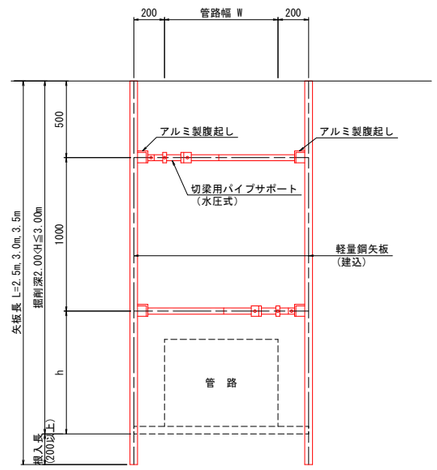
標準断面図
(H≦1.50m※)



標準断面図
(1.50<H≦2.00m)
軽量鋼矢板・建込工法



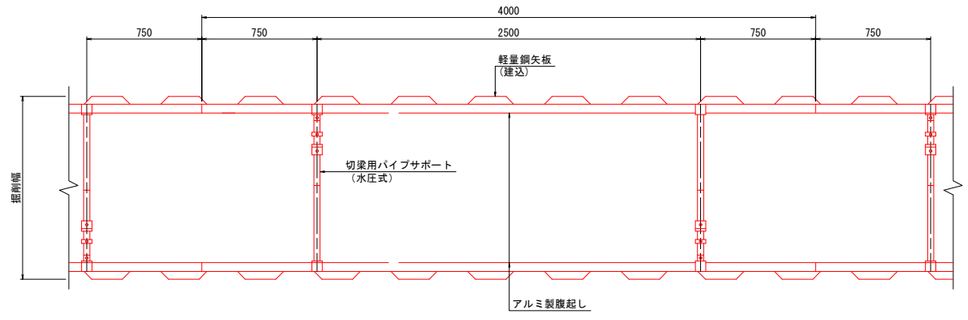
標準断面図
(2.00<H≦3.00m)
軽量鋼矢板・建込工法



※既存管路があり近接施工となる箇所は、管路管理者の立会をすること。

※支保材の設置段数,軽量鋼矢板の最小根入れ長は、「汚水管路施設設計標準図」(鹿児島市水道局下水道部,H27.4)に基づき設定。
※地下水の状況により施工できない場合は、監督職員と協議すること。

管路部・標準割付図
(1.50<H≦3.00m)
軽量鋼矢板



工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	仮設工構造図(1/4)　S=1:20		
図面番号	全 46 の 28	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

仮設工構造図(2/4)　(A1)S=1:50, (A3)S=1:100

電力系特殊部 (A-3型MH) 1800×2100×4000

設置場所	車道部 (RE01)

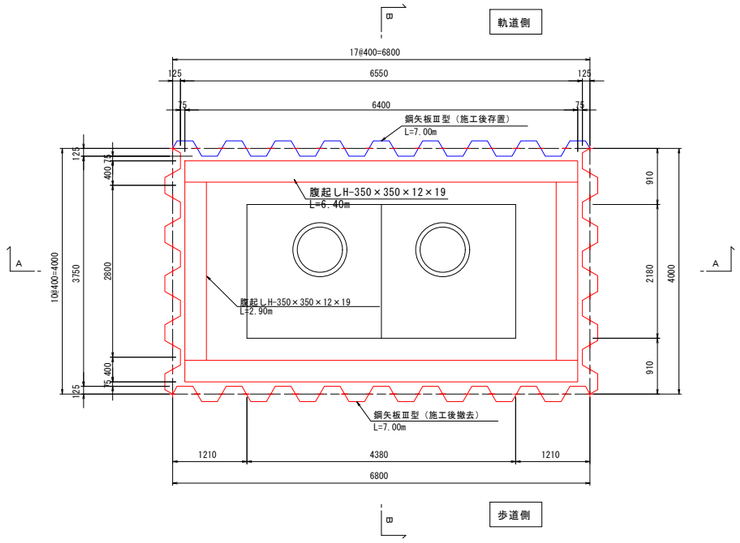
設計条件

対象構造物		電力系特殊部(A-3型)
掘削面積		4.000mx6.800m
掘削深さ		3.810m
地下水位		GL-4.100m
土 圧	安定計算	ランキン
	断面計算	断面計算用土圧
水 圧		三角形
地表面上載荷重		10.0 kN/m2

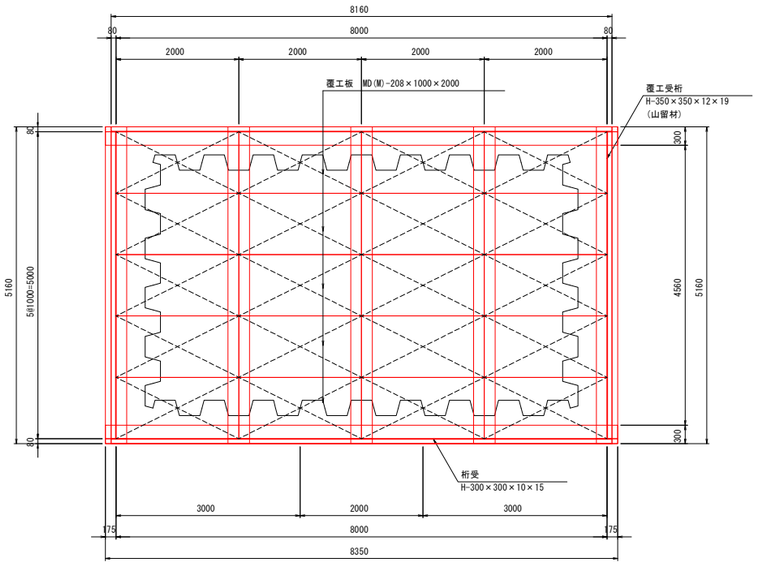
仮設工重量表　　1箇所あたり

部 材 名	寸 法		単位質量	1本当たり質量	個数	質 量	単位
鋼矢板	Ⅲ型(施工後撤去)	L=7.00m	0.060t/m	0.420	37	15.54	t
〃	〃 (施工後存置)	L=7.00m	0.060t/m	0.420	17	7.14	t
腹起し	H-400×400×13×21	L=6.40m	0.172t/m	1.101	2	2.20	t
〃	H-400×400×13×21	L=2.80m	0.172t/m	0.482	2	0.96	t
					計	25.84	t
覆工板	1000×2000×208	A=2.00m2	0.200t/m2	0.424	20	40.00	m2
					計	40.00	m2
					重量	8.48	t
覆工受桁	H-350×350×12×19	L=5.16m	0.135t/m	0.697	5	3.49	t
桁 受	H-300×300×10×15	L=8.35m	0.093t/m	0.777	2	1.55	t
ズレ止め	[-200×80×7.5	L=5.00m	0.0246t/m	0.123	2	0.25	t
〃	[-200×80×7.5	L=8.16m	0.0246t/m	0.201	2	0.40	t
					計	5.69	t
受桁基礎	再生砕石(RC-40) t=200	L=8.35m	W=0.58m	A=4.84m2	2	9.68	m2
基面整正						9.68	m2

支保工平面図

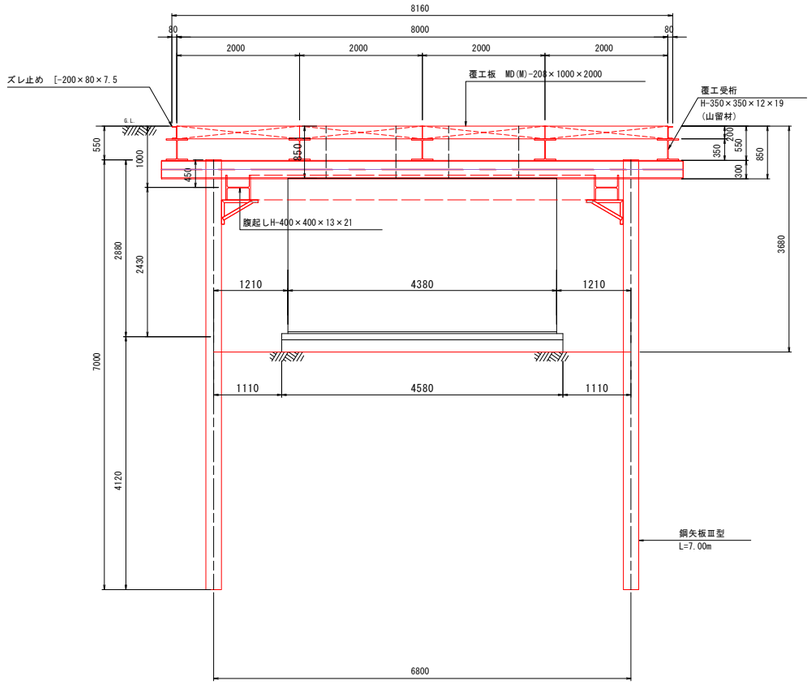


路面覆工平面図



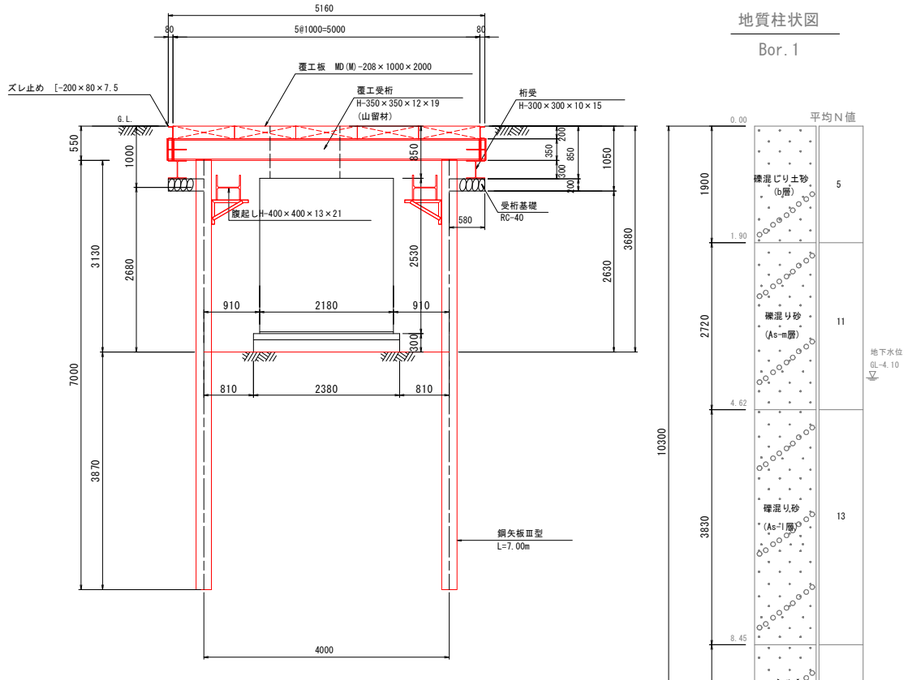
側 面 図

A-A断面



断 面 図

B-B断面



地質柱状図

Bor.1

注　記

1) 軌道敷側の鋼矢板は、土木用摩擦低減材
(土付着防止用塗料)を施し、
土付着防止工法により施工すること。

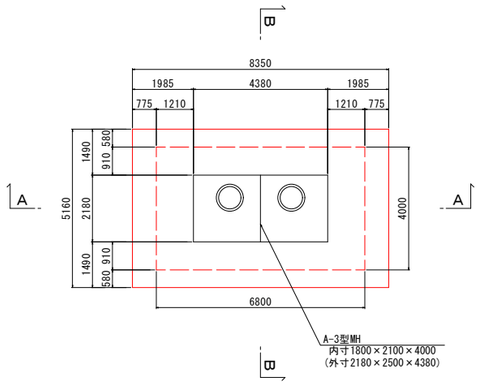
2) 支障物が近接している等の理由により、
プレハブマンホールの施工が困難な場合は、
ケーソン式マンホールの使用を検討すること。

工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	仮設工構造図(2/4)　S=1:50 電力系特殊部 (A-3型MH)		
図面番号	全 46 の 29	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　　099-281-9143

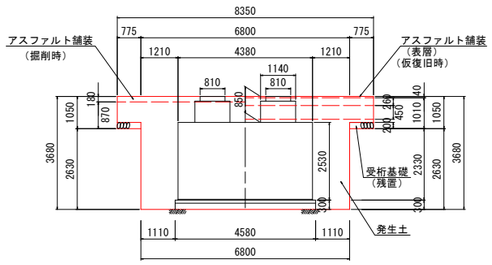
仮設工構造図(3/4)　(A1)S=1:100, (A3)S=1:200

土工平面図

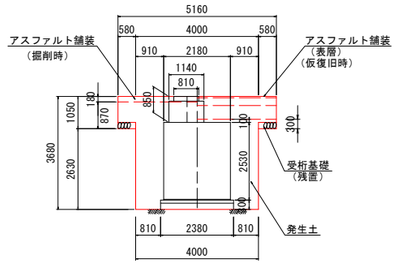


車道舗装3
首部高H=850

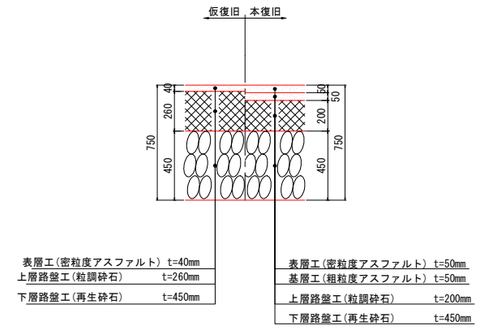
A-A断面図
S=1:100



B-B断面図
S=1:100



唐湊線車道舗装区間3
舗装構成図　S=1:20



電力系特殊部A-3MH 一覧表

	名　称	土 被 り	掘 削 深	現 況 舗 装 厚	備　考
1	LE03	600	3430	As120	車道舗装1
2	LE05	600	3430	As120	車道舗装2-1
3	LE07	600	3430	As120	車道舗装2-1
4	RE05	600	3430	As120	車道舗装2-1
5	RE08	600	3430	As80 Co220	車道舗装2-2
6	RE01	850	3680	As180	車道舗装3
7	RE02	600	3430	As180	車道舗装3
8	RE03	600	3430	As180	車道舗装3
9	RE04	850	3680	As180	車道舗装3

※ 土被りなどは、縦断図を参照すること

電力系特殊部 A-3MH 土工数量表 (車道舗装3,首部高H=850)

1箇所当り

種　目		規　格	計　算　式		数　量	単位
舗装工	1次 舗装版切断	t=180	L=(8.35+5.16)×2	= 27.02	27.0	m
	1次 舗装版破砕	t=180	A=8.35×5.16	= 43.09	43.1	m2
	仮復旧 舗装復旧(車道1) 表　層	t=40	A=8.35×5.16-3.14/4×0.81×0.81×2	= 42.06	42.1	m2
	仮復旧 舗装復旧(車道1) 上層路盤	t=260	A=8.35×5.16-3.14/4×1.14×1.14×2	= 41.05	41.1	m2
	仮復旧 舗装復旧(車道1) 下層路盤	t=450	A=8.35×5.16-3.14/4×1.14×1.14×2	= 41.05	41.1	m2
土工	床　掘	土　砂	V=8.35×5.16×0.87+6.80×4.00×2.63	=109.02	109.0	m3
	埋　戻	転　圧	V=8.35×5.16×0.30+6.80×4.00×2.63 -(4.58×2.38×0.30+4.38×2.18×2.53 +1.14×1.14×3.14/4×0.10×2 +(8.35×0.58×2+0.775×4.0×2)×0.2)	= 53.65	53.7	m3
	埋戻土	発生土	V=53.65/0.9	= 59.61	59.6	m3
処理工	残土処理	土砂	V=109.02-59.61	= 49.41	49.4	m3
		アスファルト殻	V=43.09×0.18	= 7.76	7.8	m3

工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	仮設工構造図(3/4)　S=1:50 電力系特殊部 (A-3型MH)		
図面番号	全 46 の 30	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

仮設工構造図(4/4)　(A1)S=1:50, (A3)S=1:100

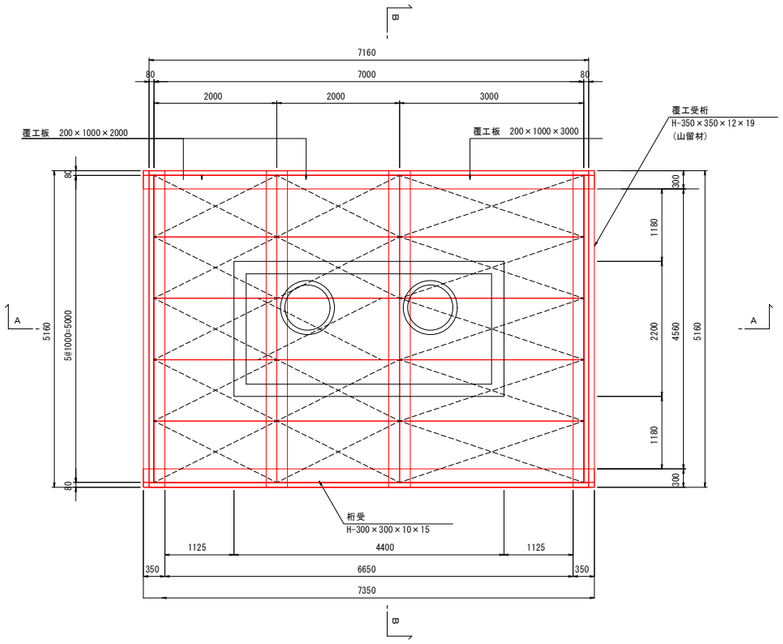
電力系特殊部（A-3型MH：ケーソン式）1800×2100×4000

設置場所	車道部
対象箇所	LE02 LE04

設計条件

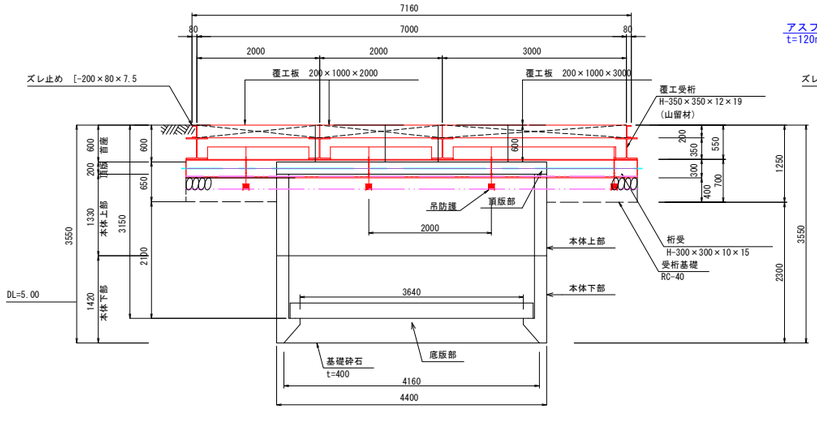
対象構造物		電力系特殊部(A-3型)
掘削面積		7.350mx5.160m
掘削深さ		3.550m
地下水位		GL-3.350m
土　圧	安定計算	ランキン
	断面計算	断面計算用土圧
水　圧		三角形
地表面上載荷重		10.0 kN/m2

路面覆工平面図



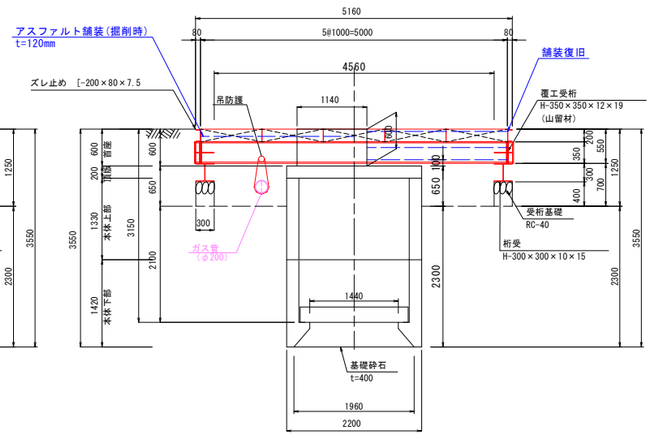
側　面　図

A－A断面

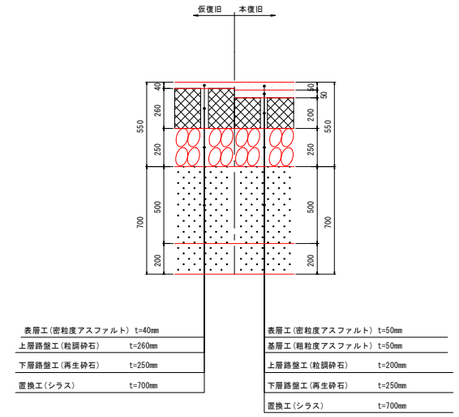


側　面　図

B－B断面

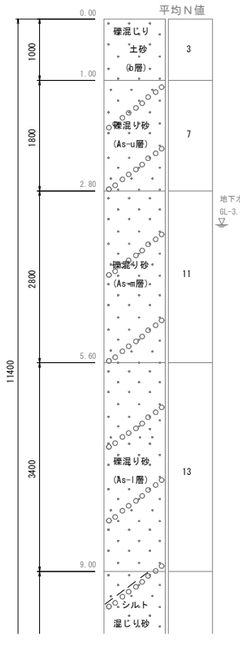


唐湊線車道舗装区間1
舗装構成図　S=1:20



想定値

区間①



仮設工重量表

1箇所あたり

部　材　名	寸　法		単位質量	1本当たり質量	個数	質　量	単位
覆工板	1000×2000×200	A=2.00m2	0.212t/m2	0.424	10	20.00	m2
〃	1000×3000×200	A=3.00m2	0.208t/m2	0.624	5	15.00	m2
					計	35.00	m2
					重量	7.36	t
覆工受桁	H-350×350×12×19	L=5.16m	0.135t/m	0.697	4	2.79	t
桁　受	H-300×300×10×15	L=7.35m	0.093t/m	0.684	2	1.37	t
ズレ止め	[-200×80×7.5	L=5.00m	0.0246t/m	0.123	2	0.25	t
〃	[-200×80×7.5	L=7.16m	0.0246t/m	0.176	2	0.35	t
					計	4.76	t
受桁基礎	再生砕石(RC-40) t=400	L=7.35m	W=0.30m	A=2.21m2	2	4.42	m2
基面整正						4.42	m2

土工数量表（車道舗装1）

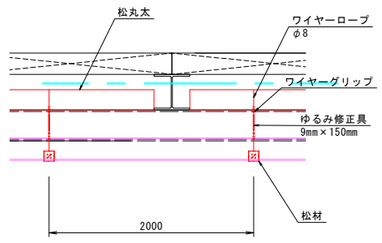
1箇所当り

種　目		規　格	計　算　式	数　量	単位
舗装工 1次	舗装版切断	t=120	L=(7.35+5.16)×2 = 25.02	25.0	m
	舗装版破砕	t=120	A=7.35×5.16 = 37.93	37.9	m2
舗装工 仮復旧	舗装復旧(車道1)	表　層　t=40	A=7.35×5.16-3.14/4×1.14×1.14×2 = 35.89	35.9	m2
		上層路盤　t=260	A=7.35×5.16-3.14/4×1.14×1.14×2 = 35.89	35.9	m2
		下層路盤　t=250	A=7.35×5.16-3.14/4×1.14×1.14×2 = 35.89	35.9	m2
土工	床　掘	土　砂	V=7.35×5.16×1.25+4.40×2.20×2.30 = 69.67	69.7	m3
土工	埋　戻	転　圧	V=7.35×5.16×1.25-(4.40×2.20×0.65 +1.14×1.14×3.14/4×0.10×2 +7.35×0.30×0.40×2) = 39.15	39.2	m3
土工	埋戻土	発生土	V=39.15/0.9 = 43.50	43.5	m3
土工	基礎砕石	再生砕石(RC-40) t=400	V=(3.64×1.44+4.16×1.96)/2×0.40 = 2.68	2.7	m3
処理工	残土処理	土砂	V=69.67-43.50 = 26.17	26.2	m3
		アスファルト殻	V=37.93×0.12 = 4.55	4.6	m3

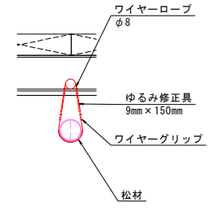
吊防護　詳細図

S=1:30

側面図



断面図



吊防護　数量表

1箇所当り

種　目	規　格	計　算　式	数　量	単位
松丸太	L=2.0m, φ150	N=2 = 2.0	2	本
松丸太	L=3.0m, φ150	N=1 = 1.0	1	本
ワイヤーロープ	L=1.5m, φ8	N=2×4 = 8.0	8	本
ワイヤーグリップ	φ8	N=2×4×4 = 32.0	32	個
ゆるみ修正具	9mm×150mm	N=2×4 = 8.0	8	個
松材	L=0.4m, 100mm×100mm	L=0.4×4 = 1.6	2	m

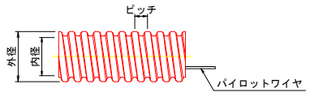
工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)
事　業　名	無電柱化推進計画事業
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目
図面種類	仮設工構造図(4/4)　S=1:50 電力系特殊部（A-3型MH：ケーソン式）
図面番号	全 46 の 31 ／ 作製 令和8年11月

鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

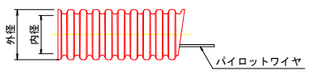
※参考図　電力系管路部材詳細図　(A1)S=1:4 (A3)S=1:8

FEP管



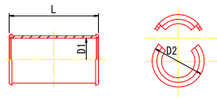
呼び径	外 径 (約mm)	内 径 (約mm)	ピッチ (約mm)
φ80	102	80	25
φ100	130	100	32
φ150	189	150	47

SFEP管



呼び径	外 径 (約mm)	内 径 (約mm)
φ80	107	83
φ100	134	103
φ150	193	150

SFEP用直管継手



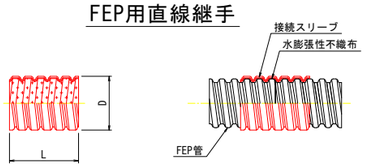
呼び径	D1 (約mm)	D2 (約mm)	L (約mm)
φ80	113	132	215
φ100	141	161	260
φ150	200	220	300

SFEP用異種管継手



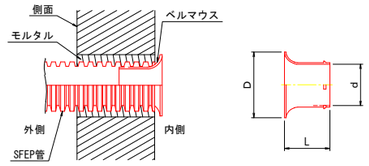
呼び径	D1 (約mm)	外 径 D2 (約mm)	内 径 D2 (約mm)
φ80	108	102	80
φ100	140	130	100
φ150	200	189	150

FEP用直線継手



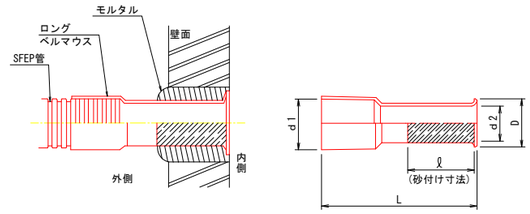
呼び径	外 径 D (約mm)	長 さ L (約mm)
φ80	111	135
φ100	140	175
φ150	201	190

SFEP用ベルマウス



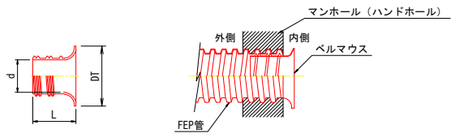
呼び径	D (約mm)	d (約mm)	L (約mm)
φ80	113	75	85
φ100	145	93	100
φ150	200	140	150

SFEP用ロングベルマウス



呼び径	d1 (約mm)	d2 (約mm)	D (約mm)	L (約mm)	ℓ (約mm)
φ80	108	77	114	350	150
φ100	137	100	156	350	150
φ150	196	154	214	350	150

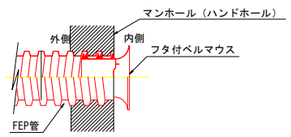
FEP用ベルマウス



呼び径	外 径 DT (約mm)	内 径 d (約mm)	長 さ L (約mm)
φ100	144	93	105
φ150	205	141	150

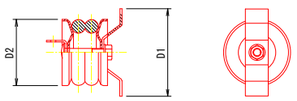
FEP用蓋付ベルマウス

予備管路の防砂用



SFEP用防水栓

ロングベルマウスφ100用、φ150用



※サイズによって多少形状が異なります。

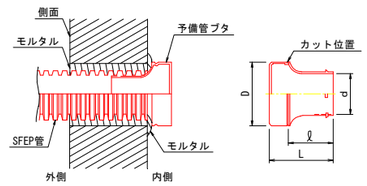
ベルマウス用

呼び径	D1 (約mm)	D2 (約mm)
φ80	86	70
φ100	125	88
φ150	145	128

ロングマウス用

呼び径	D1 (約mm)	D2 (約mm)
φ80	86	78
φ100	125	88
φ150	180	148

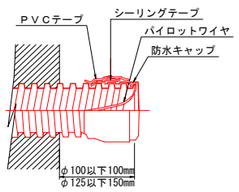
SFEP用予備管ブタ



呼び径	D (約mm)	d (約mm)	ℓ (約mm)	L (約mm)
φ80	115	75	86	122.5
φ100	150	92.5	101	141
φ150	206	140	153	199

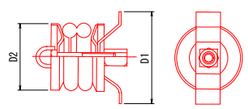
FEP用防水キャップ

管路端部の防水用



FEP用防水栓

ベルマウス用の防水栓

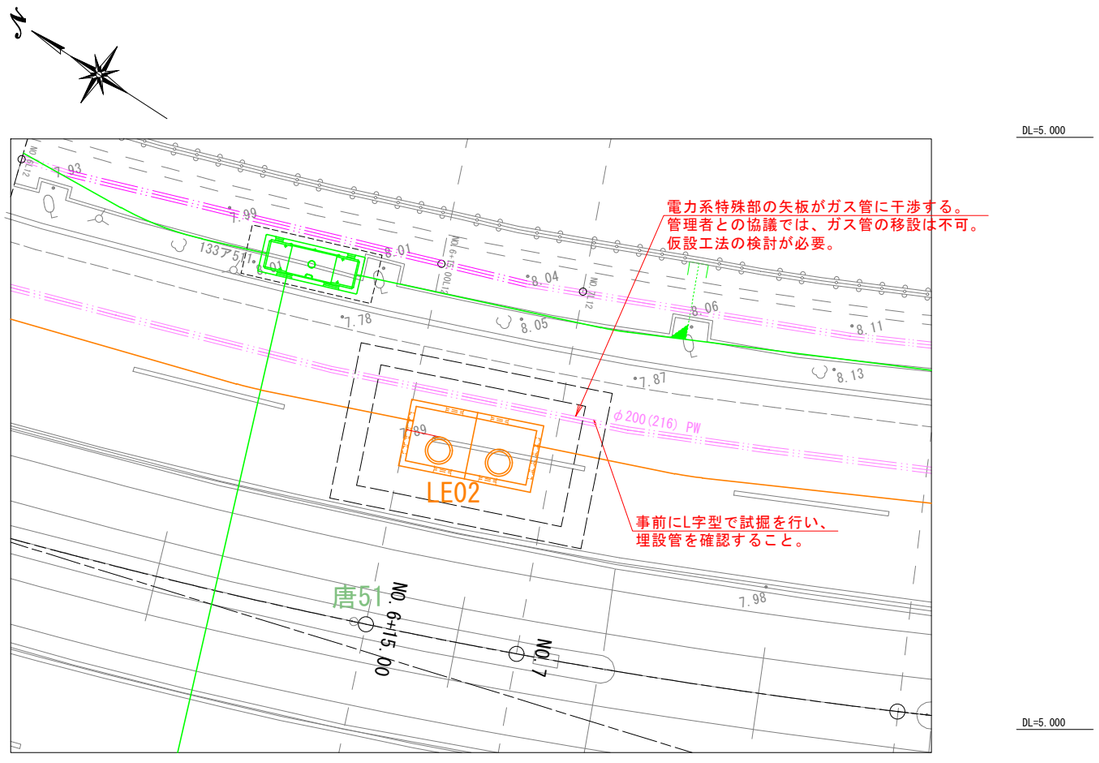


呼び径	D1 (約mm)	D2 (約mm)
φ100	120	88
φ150	140	128

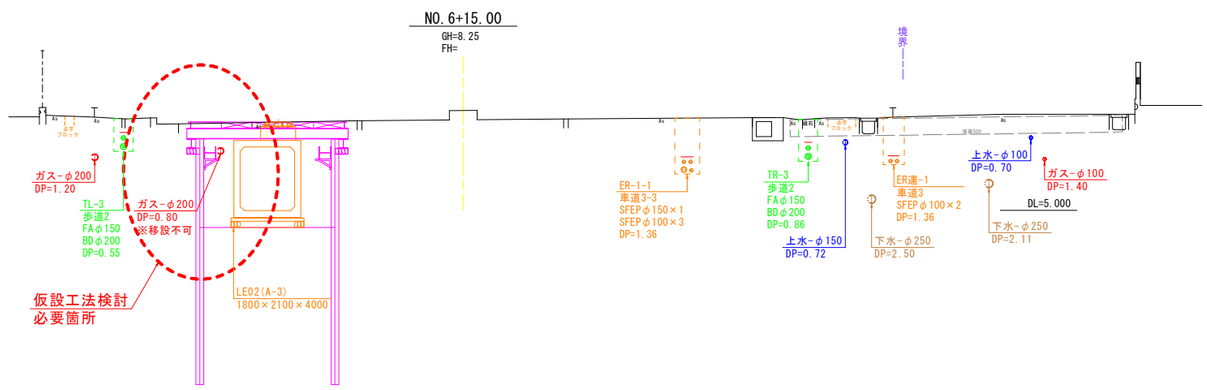
工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系管路部材詳細図 ※参考図		
図面番号	全 46 の 32	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

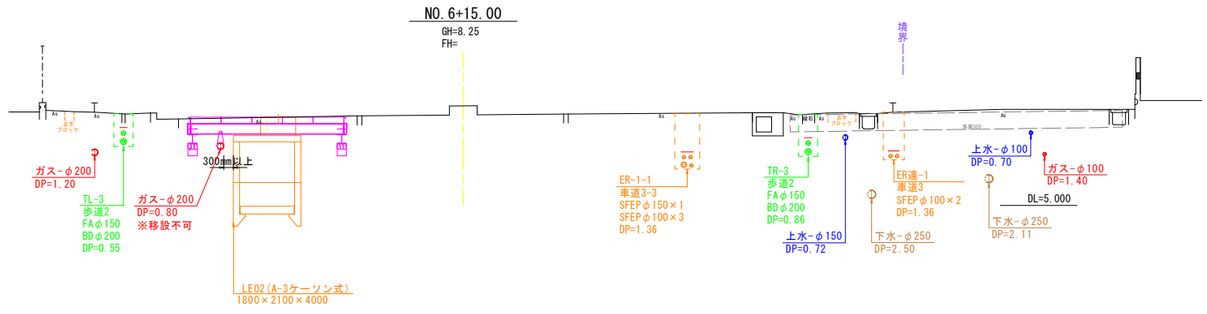
支障物件検討箇所図　　(A1)S=1:100　(A3)S=1:200



【検討前】



【検討後】



【概要】

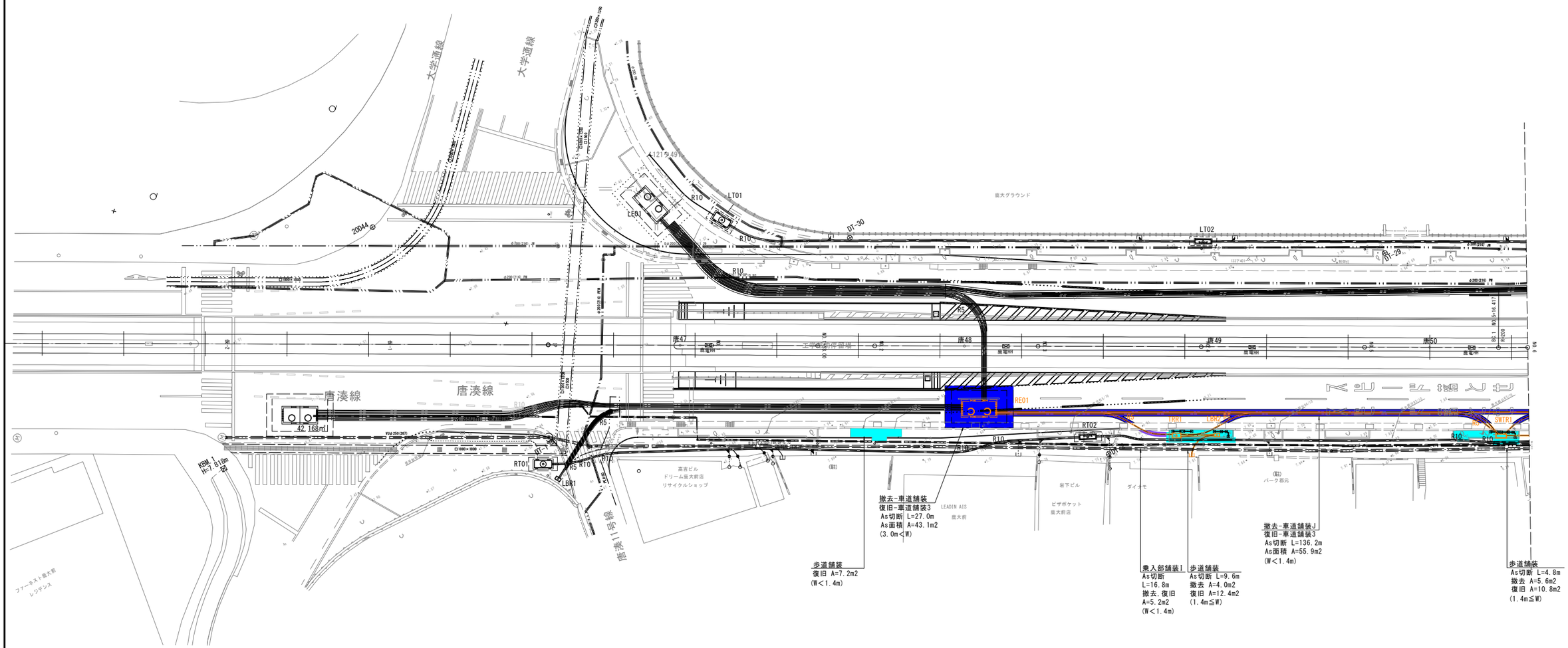
・プレハブ→ケーソン式への変更
・マンホール躯体とガス管の離隔確保（300mm以上）
・吊防護によるガス管の保護

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	支障物件検討箇所図　S=1:100		
図面番号	全 46 の 33	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　　099-281-9143

舗装撤去・復旧平面図(1/2)　(A1)S=1:250 (A3)S=1:500
【BP～NO.6】

・・・車道1舗装
・・・車道2舗装
・・・車道3舗装
・・・歩道舗装
・・・乗入部舗装Ⅰ



数量計算書

工種			計算式	合計	単位
取壊工(昼間)					
舗装版切断	歩道		16.8+9.6+4.8	31.2	m
舗装版破砕	歩道	t=4cm(標準部)	4.0+5.6	9.6	
	歩道	t=5cm(乗入部)	5.2	5.2	
	合計			14.8	m2
As殻処分量	歩道	t=4cm(標準部)	9.6×0.04	0.4	
	歩道	t=5cm(乗入部)	5.2×0.05	0.3	
	合計			0.7	m3
舗装復旧	歩道	t=4cm(標準部)(W＜1.4m)	5.2	5.2	
	歩道	t=5cm(乗入部)(1.4m≦W)	12.4+10.8	23.2	
				28.4	m2

※舗装撤去・復旧平面図(1/2)(2/2)より

数量計算書

工種			計算式	合計	単位
舗装復旧	歩道	t=4cm(標準部)(W＜1.4m)	7.2	7.2	m2

※単独費で計上

数量計算書

工種			計算式	合計	単位
取壊工(夜間)					
舗装版切断	車道		27.0+136.2+25.0+58.0+83.3+38.8	368.3	m
舗装版破砕	車道	t=10cm(既設舗装)	43.1+55.9+37.9+24.9+35.9+15.6	213.3	
	車道	t=4cm(仮舗装)	43.1+55.9+37.9+24.9+35.9+15.6	213.3	
	合計			426.6	m2
As殻処分量	車道	t=10cm(既設舗装)	213.3*0.10	21.3	
	車道	t=4cm(仮舗装)	213.3*0.05	10.7	
	合計			32.0	m3
舗装復旧	車道	t=4cm(仮舗装)(W＜1.4m)	55.9+24.9+35.9+15.6	132.3	m2
	車道	t=10cm(本復旧)(W＜1.4m)	55.9+24.9+35.9+15.6	132.3	m2
	車道	t=4cm(仮舗装)(3.0m＜W)	43.1+37.9	81.0	m2
	車道	t=10cm(本復旧)(3.0m＜W)	43.1+37.9	81.0	m2
	上層路盤	t=26cm(車道1,車道3)	37.9+24.9+35.9+43.1+55.9+15.6	213.3	m2
	下層路盤	t=25cm(車道1)	37.9+24.9+35.9	98.7	m2
	下層路盤	t=45cm(車道3)	43.1+55.9+15.6	114.6	m2

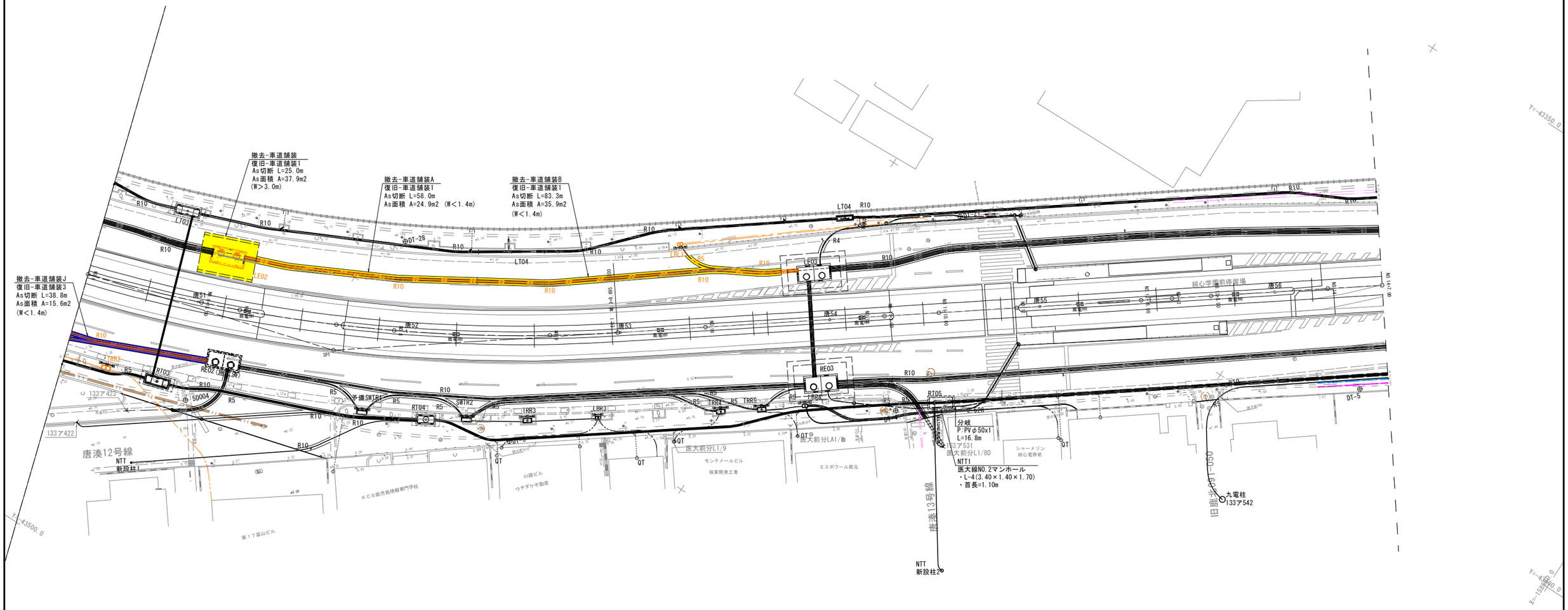
※舗装撤去・復旧平面図(1/2)(2/2)より

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	舗装撤去・復旧平面図(1/2) S=1:250		
図面番号	全 46 の 34	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

舗装撤去・復旧平面図(2/2)　(A1)S=1:250 (A3)S=1:500
【NO.6～NO.14+7.0】

・・・車道1舗装
・・・車道2舗装
・・・車道3舗装
・・・歩道舗装
・・・乗入部舗装Ⅰ



工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	舗装撤去・復旧平面図(2/2) S=1:250		
図面番号	全 46 の 35	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

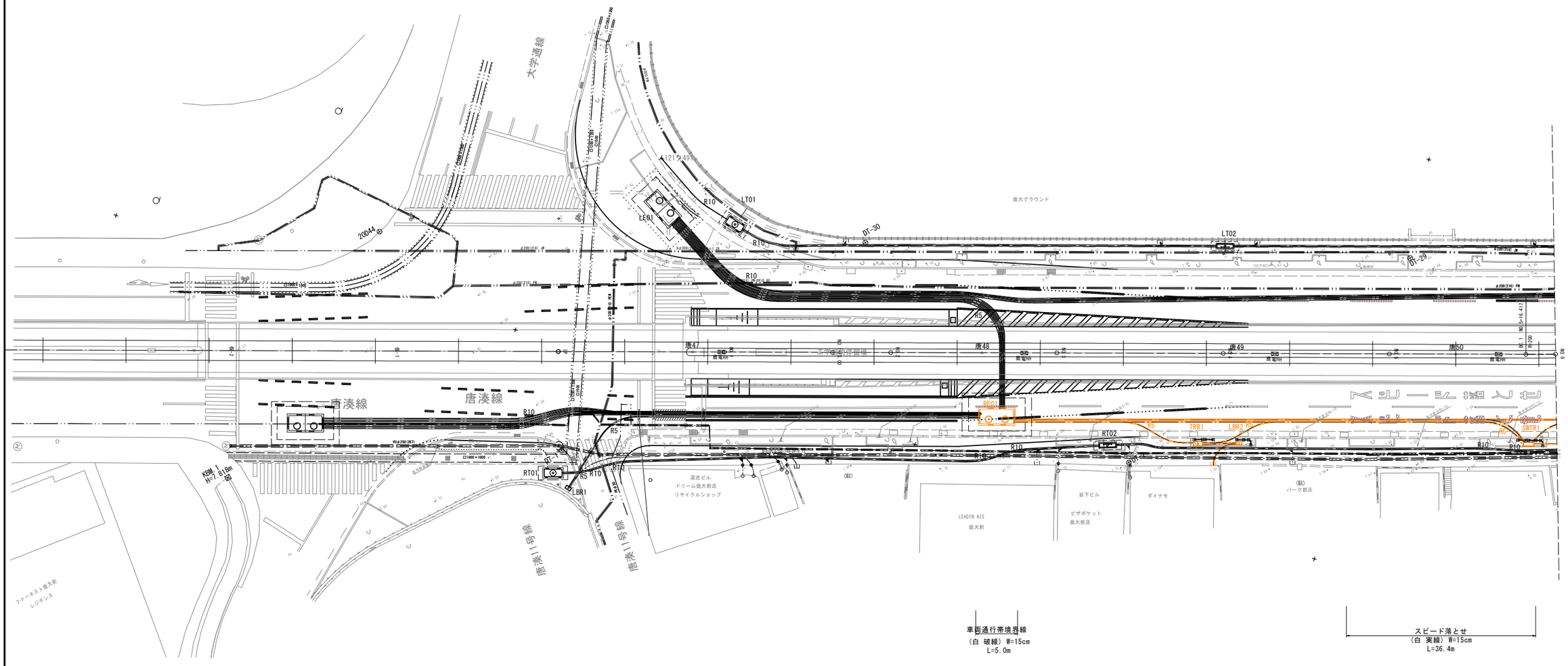
㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

安全施設工 平面図(1/2) (A1)S=1:250 (A3)S=1:500
【BP～NO.6】

数量計算書

工種	計算式	合計	単位
区画線　車両通行帯境界線　白　実線　W=15cm	10.0	10.0	m
車両通行帯境界線　白　破線　W=15cm	5.0+15.0+10.0	30.0	m
矢印・記号・文字　スピード落とせ	36.4	36.4	m

※安全施設工 平面図(1/2)(2/2)より

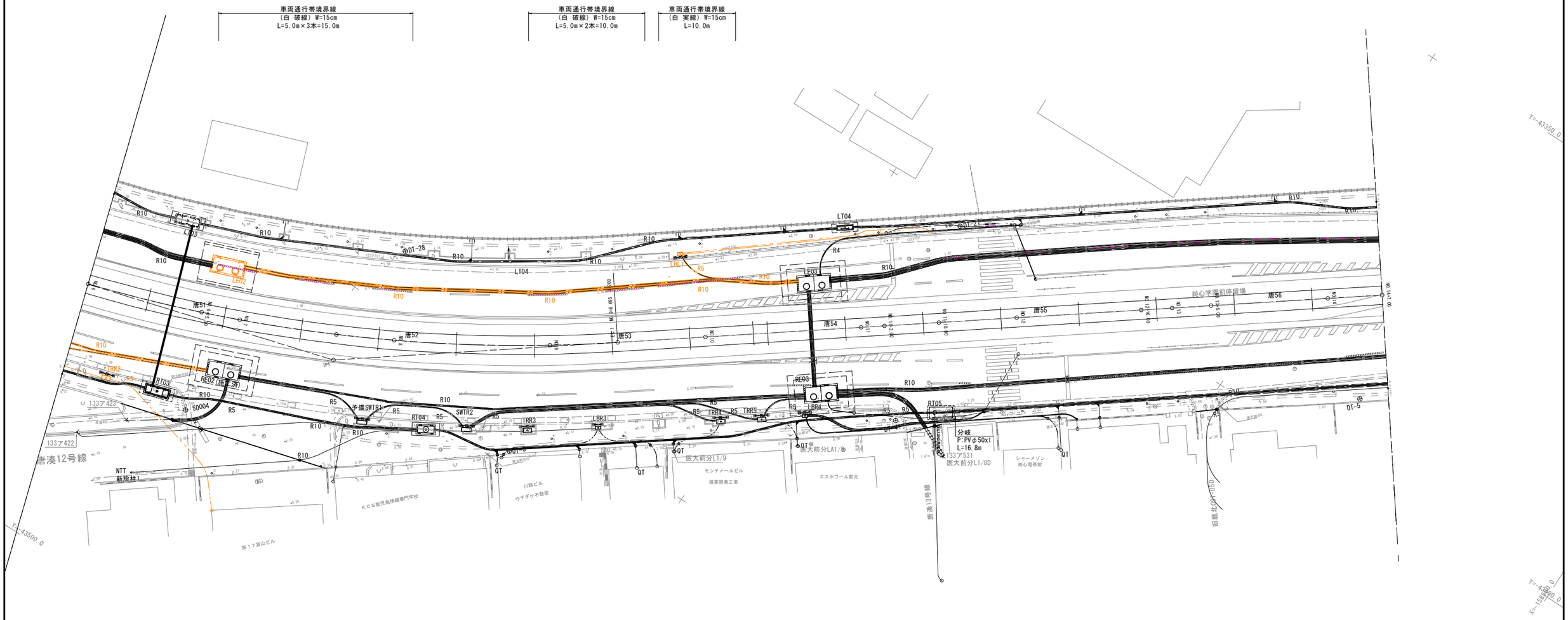


工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	安全施設工 平面図(1/2) S=1:250		
図面番号	全 46 の 36	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

安全施設工 平面図(2/2)　(A1)S=1:250 (A3)S=1:500

【NO.6～NO.14+7.0】

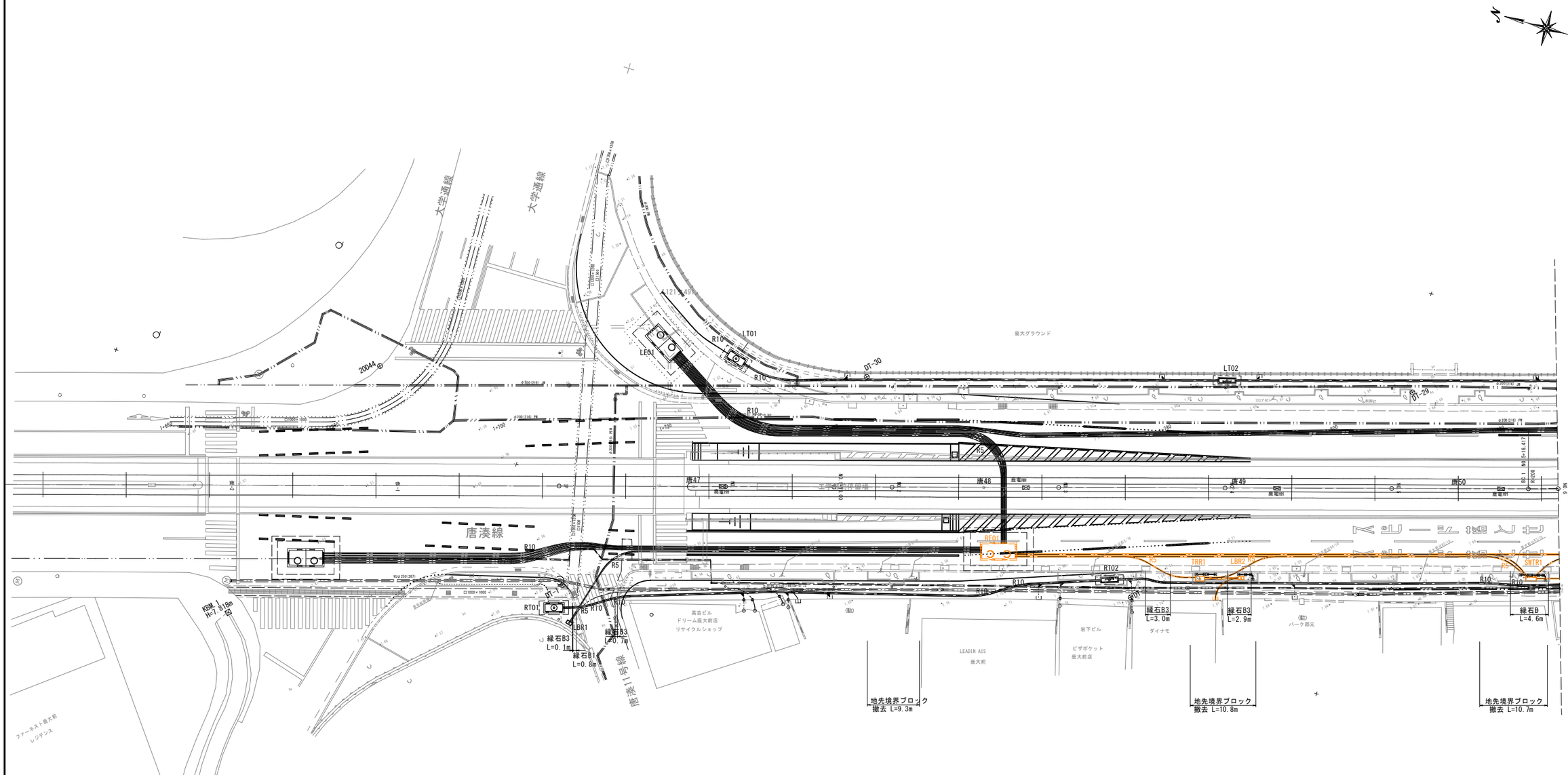


工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	安全施設工 平面図(2/2) S=1:250		
図面番号	全 46 の 37	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

構造物撤去・復旧平面図(1/2) (A1)S=1:250 (A3)S=1:500

【BP～NO.6】



数量計算書

工種	計算式	合計	単位
地先境界ブロック　撤去	10.8+10.7+17.0	38.5	m
処分量	38.5×0.01	0.4	m3
縁石　縁石B	4.6+1.2+0.6	6.4	
縁石B3	3.0+2.9	5.9	
合計		12.3	m

※構造物撤去・復旧平面図(1/2)(2/2)より

数量計算書

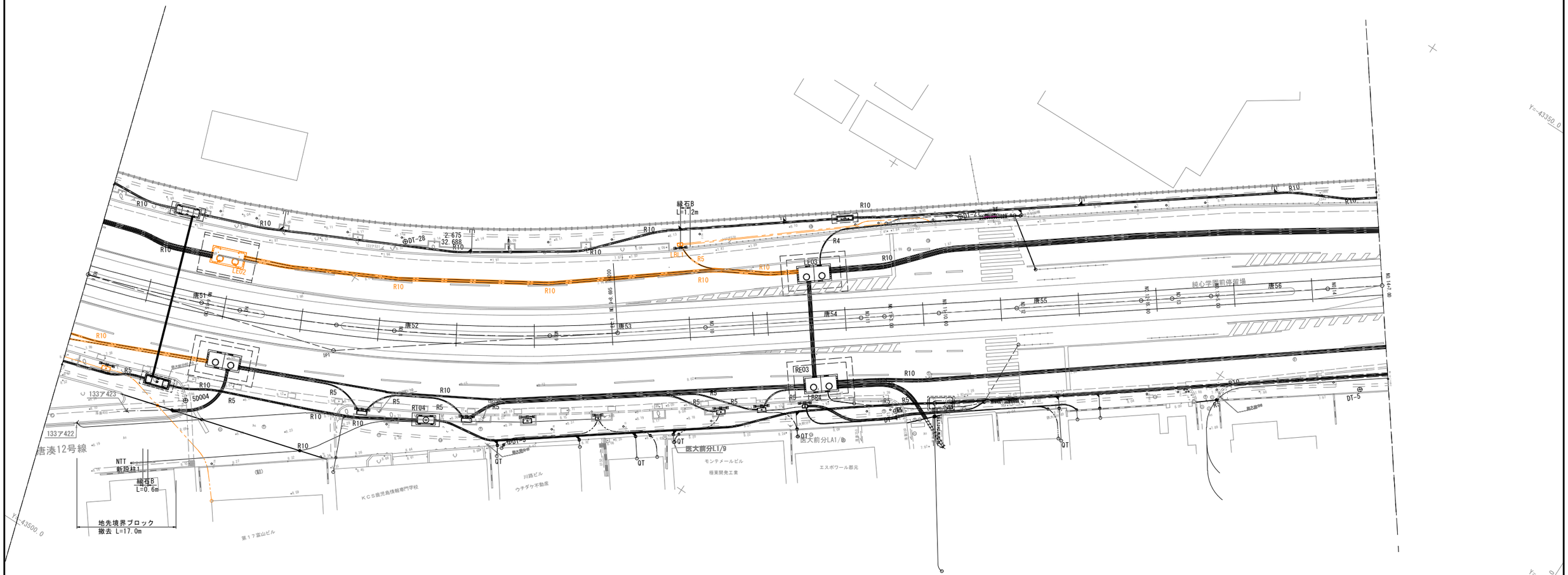
工種	計算式	合計	単位
地先境界ブロック　撤去	9.3	9.3	m
処分量	9.3×0.01	0.1	m3

※単独費で計上

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	構造物撤去・復旧平面図(1/2) S=1:250		
図面番号	全 46 の 38	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

構造物撤去・復旧平面図(2/2) (A1)S=1:250 (A3)S=1:500
【NO.6～NO.14+7.0】

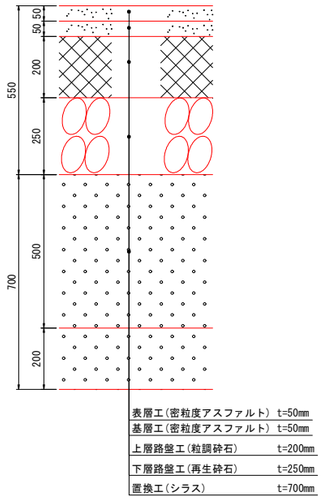


工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	構造物撤去・復旧平面図(2/2) S=1:250		
図面番号	全 46 の 39	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

舗装工構造図　(A1)S=1:10　(A3)S=1:20

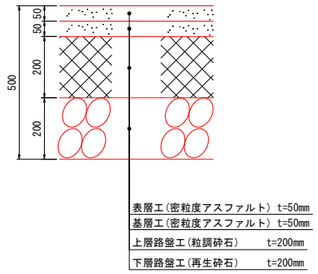
唐湊線車道舗装区間1
(BP～NO.19)
(下り線(鹿大側))



※アスファルト舗装構成の比較（内地）より

設計期間：20年
信 頼 性：90%
設計CBR ：6%（現路床を置換後）
交通区分：N5交通
（大型車交通量：1000台未満/日・方向とする※）
※H27道路交通センサス

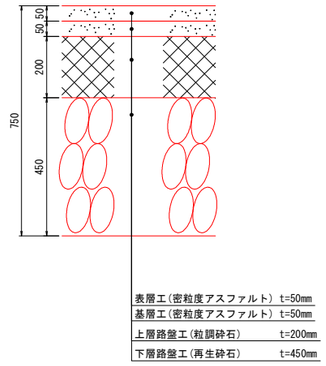
唐湊線車道舗装区間2
(NO.19～NO.50)
(上下線共)



※アスファルト舗装構成の比較（内地）より

設計期間：20年
信 頼 性：90%
設計CBR ：8%
交通区分：N5交通
（大型車交通量：1000台未満/日・方向とする※）
※H27道路交通センサス

唐湊線車道舗装区間3
(NO.19～BP)

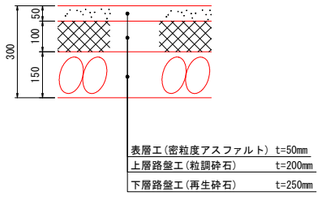


※アスファルト舗装構成の比較（内地）より

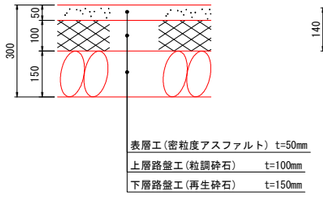
設計期間：20年
信 頼 性：90%
設計CBR ：3%
交通区分：N5交通
（大型車交通量：1000台未満/日・方向とする※）
※H27道路交通センサス

取付市道車道舗装

支線市道

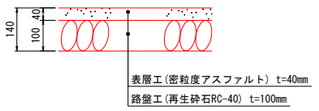


乗入部舗装 I
(全区間)



※九州地方整備局「土木工事設計要領」
p道1-40 乗入規格表による値。

歩道舗装
(標準部)



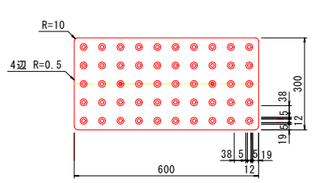
※九州地方整備局「土木工事設計要領」
p道1-161 一般的なアスファルト舗装による値。

誘導ブロック設置

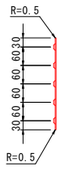
*既設の配置と同じ形状を設置すること。

点状ブロック
MMA樹脂製点字タイル
(警告)

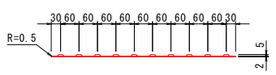
平面図



断面図



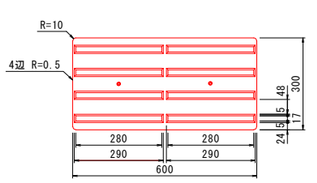
立面図



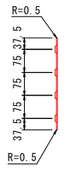
＊工法はタイルと接着剤が一体化する溶融接着方式である。
＊耐摩耗、耐圧縮性能向上のためタイル骨材にはセラミック100%の仕様とする。

線状ブロック
MMA樹脂製点字タイル
(誘導)

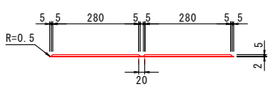
平面図



断面図



立面図



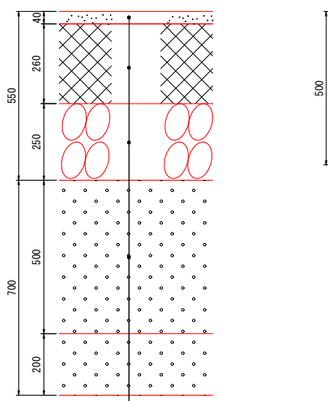
＊工法はタイルと接着剤が一体化する溶融接着方式である。
＊耐摩耗、耐圧縮性能向上のためタイル骨材にはセラミック100%の仕様とする。

仕 様

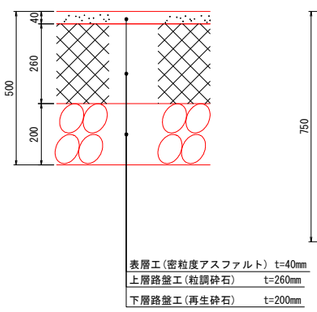
品名(点字タイル)	MMA樹脂製点字タイル（セラミック配合）
品名(接着材)	MMA樹脂製接着剤（溶融接着方式）
工　法	タイルと接着剤が一体化する溶融接着方式
寸　法	300mm×600mm×2mm t
材　質	MMA樹脂製
仕　様	無機顔料・セラミック骨材仕様(各100%)

仮復旧舗装(車道)
(区間本線の舗装に準ずる)

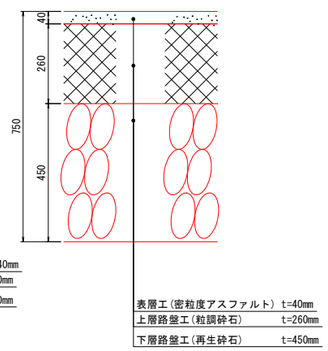
唐湊線車道舗装区間1



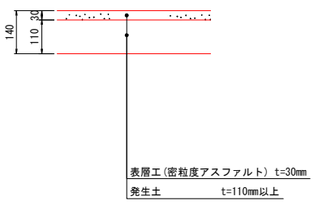
唐湊線車道舗装区間2



唐湊線車道舗装区間3



仮復旧舗装(歩道・乗入部)
(全区間)



工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	舗装工構造図 S=1:10		
図面番号	全 46 の 40	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

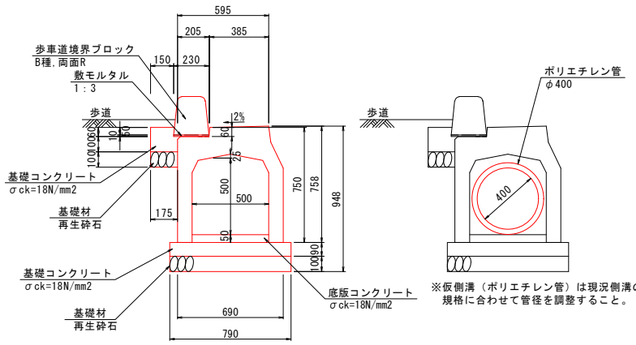
㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

縁石工・側溝工構造図　(A1)S=1:20 (A3)S=1:40

縁石B
標準部(両面R)B種
セミフラット部

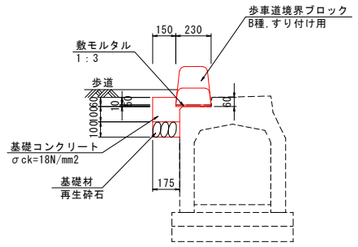
側溝
街路型
自由勾配側溝

仮側溝
ポリエチレン管
自由勾配側溝

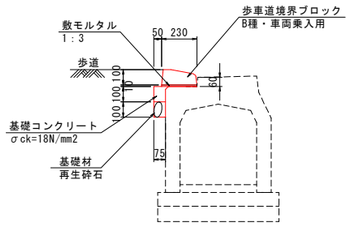


※仮側溝（ポリエチレン管）は現況側溝の規格に合わせて管径を調整すること。

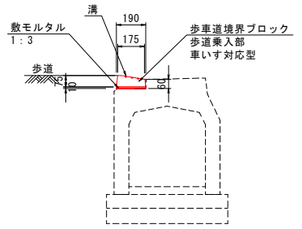
縁石B1
すりつけ部
セミフラット部



縁石B2
車両乗入用



縁石B3
歩道乗入用



縁石B　数量表
10m当り

種別	規格	計算式	数量	単位	摘要
基面整正		0.175×10 =1.75	1.75	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40	0.175×10 =1.75	1.75	m2	t=100mm
敷モルタル	1:3	0.23×0.01×10 =0.023	0.023	m3	
型枠		0.16×10 =1.60	1.60	m2	
コンクリート	σck=18N/mm2	0.175×0.16×10 =0.28	0.28	m3	
歩車道境界ブロック	標準B種・両面R		5	個	※L=2.0m 231kg/個

縁石B1　数量表
10m当り

種別	規格	計算式	数量	単位	摘要
基面整正		0.175×10 =1.75	1.75	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40	0.175×10 =1.75	1.75	m2	t=100mm
敷モルタル	1:3	0.23×0.01×10 =0.023	0.023	m3	
型枠		0.16×10 =1.60	1.60	m2	
コンクリート	σck=18N/mm2	0.175×0.16×10 =0.28	0.28	m3	
歩車道境界ブロック	B種・すり付け用		10	個	※L=1.0m 102kg/個

縁石B2　数量表
10m当り

種別	規格	計算式	数量	単位	摘要
基面整正		0.075×10 =0.75	0.75	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40	0.075×10 =0.75	0.75	m2	t=100mm
敷モルタル	1:3	0.16×0.01×10 =0.016	0.016	m3	
型枠		0.10×10 =1.00	1.00	m2	
コンクリート	σck=18N/mm2	0.075×0.10×10 =0.08	0.08	m3	
歩車道境界ブロック	B種・車両乗入用		16.67	個	※L=0.6m 28kg/個

縁石B3　数量表
10m当り

種別	規格	計算式	数量	単位	摘要
基面整正			—	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40		—	m2	t=100mm
敷モルタル	1:3	0.19×0.01×10 =0.019	0.019	m3	
型枠			—	m2	
コンクリート	σck=18N/mm2		—	m3	
歩車道境界ブロック	B種・車両乗入用		16.67	個	※L=0.6m 28kg/個

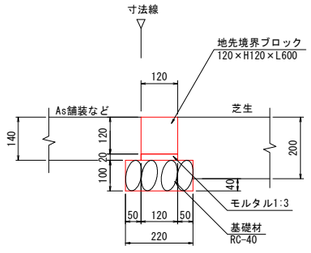
側溝　数量表(500×500～1400)
10m当り

種別	規格	計算式	数量	単位	摘要
基面整正		0.79×10 =7.90	7.90	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40	0.79×10 =7.90	7.90	m2	t=100mm
型枠		0.09×10×2 =1.80	1.80	m2	
コンクリート	σck=18N/mm2	0.09×0.79×10 =0.71	0.71	m3	
底版コンクリート	σck=18N/mm2	0.05×0.50×10 =0.25	0.25	m3	
側溝	街路型 自由勾配側溝	※50mm以上。前後の側溝底高で調整すること ※設置場所の深さに合わせた製品を設置すること	10.0	m	L=2.5m
蓋版			10.0	枚	
集水蓋			2.00	枚	

仮側溝　数量表
10m当り

種別	規格	計算式	数量	単位	摘要
仮側溝	ポリエチレン管φ400	10.0 =10.0	10.0	m	

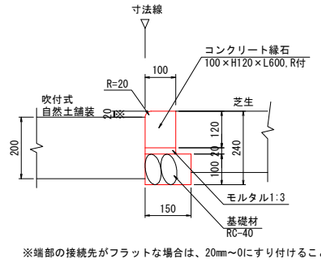
地先境界ブロック
120×H120×L600
(A1)S=1:10 (A3)S=1:20



地先境界ブロック　数量表
10m当り

種別	規格	計算式	数量	単位	摘要
床掘		((0.17+0.19)×0.04 +0.05×0.1)/2×10 =0.10	0.1	m3	
埋戻し		0.1-0.17×0.04×10=0.03	0.03	m3	
残土		0.1-0.03/0.9 =0.07	0.1	m3	
基面整正		0.17×10 =1.70	1.70	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40	0.17×10 =1.70	1.70	m2	t=100mm
モルタル	1:3	0.12×0.02×10 =0.024	0.02	m3	
地先境界ブロック	120×H120×L600		10.0	m	※L=600 20kg/本

コンクリート縁石
100×H120×L600
(A1)S=1:10 (A3)S=1:20

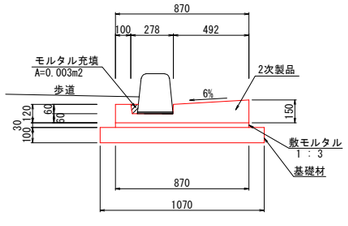


※端部の接続先がフラットな場合は、20mm～0にすり付けること。

コンクリート縁石　数量表
10m当り

種別	規格	計算式	数量	単位	摘要
床掘		-	-	m3	
埋戻し		-	-	m3	
残土		-	-	m3	
基面整正		0.15×10 =1.50	1.50	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40	0.15×10 =1.50	1.50	m2	t=100mm
モルタル	1:3	0.10×0.02×10 =0.020	0.02	m3	
コンクリート縁石	150×H150×L600 R付		10.0	m	※L=600 17kg/本

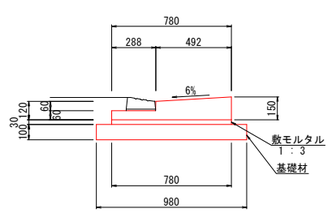
L型側溝
組合せL型側溝・標準部
セミフラット部



L型側溝(標準部)　数量表
10m当り

種別	規格	計算式	数量	単位	摘要
基面整正		1.070×10 =10.70	10.70	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40	1.070×10 =10.70	10.70	m2	t=100mm
敷モルタル	1:3	0.87×0.03×10 =0.26	0.26	m3	
モルタル充填	1:3	0.003×10 =0.03	0.03	m3	
L型側溝	2次製品	寸法：150×870×2000 参考重量W=456kg	5.0	個	

L型側溝
組合せL型側溝・乗入部



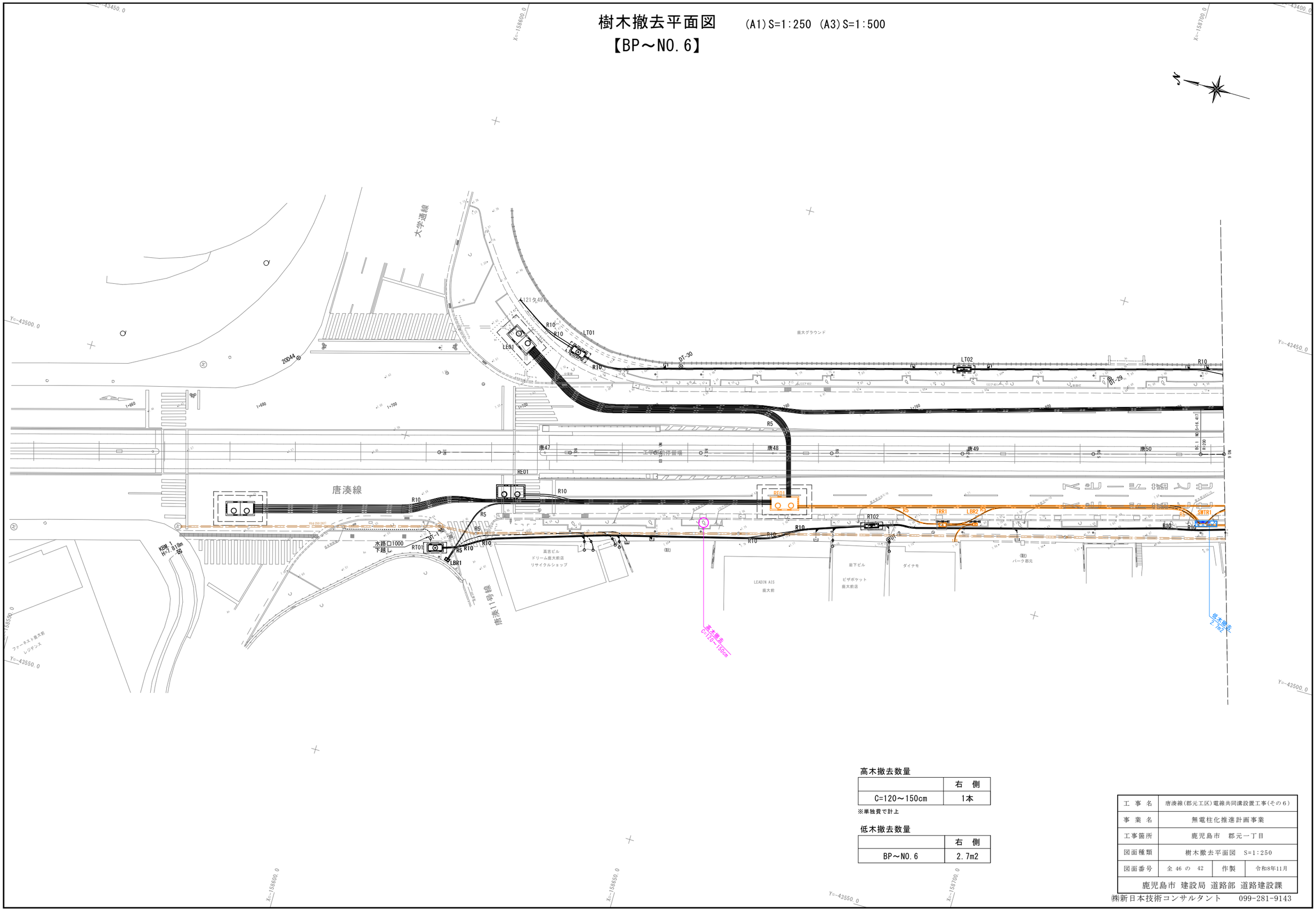
L型側溝(乗入部)　数量表
10m当り

種別	規格	計算式	数量	単位	摘要
基面整正		0.98×10 =9.80	9.80	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40	0.98×10 =9.80	9.80	m2	t=100mm
敷モルタル	1:3	0.78×0.03×10 =0.23	0.23	m3	
L型側溝	2次製品	寸法：150×780×1000 参考重量W=198kg	5.0	個	

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その6)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	縁石工・側溝工構造図　S=1:20		
図面番号	全 46 の 41	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

樹木撤去平面図　(A1)S=1:250 (A3)S=1:500
【BP～NO.6】



高木撤去数量

	右　側
C=120～150cm	1本

※単独費で計上

低木撤去数量

	右　側
BP～NO.6	2.7m2

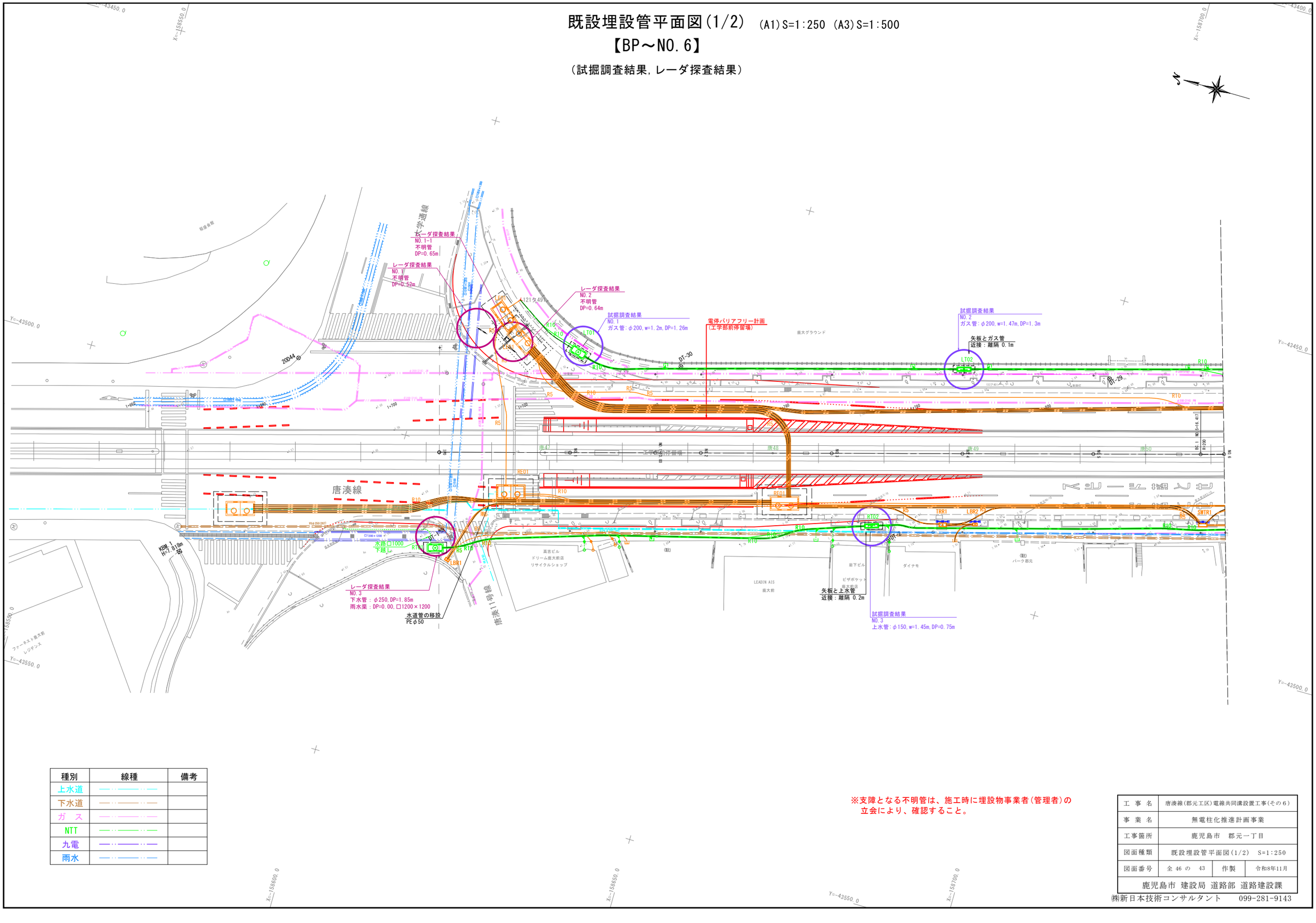
工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	樹木撤去平面図　S=1:250		
図面番号	全 46 の 42	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

既設埋設管平面図(1/2)　(A1)S=1:250　(A3)S=1:500

【BP～NO.6】

（試掘調査結果，レーダ探査結果）



種別	線種	備考
上水道		
下水道		
ガス		
NTT		
九電		
雨水		

※支障となる不明管は、施工時に埋設物事業者(管理者)の立会により、確認すること。

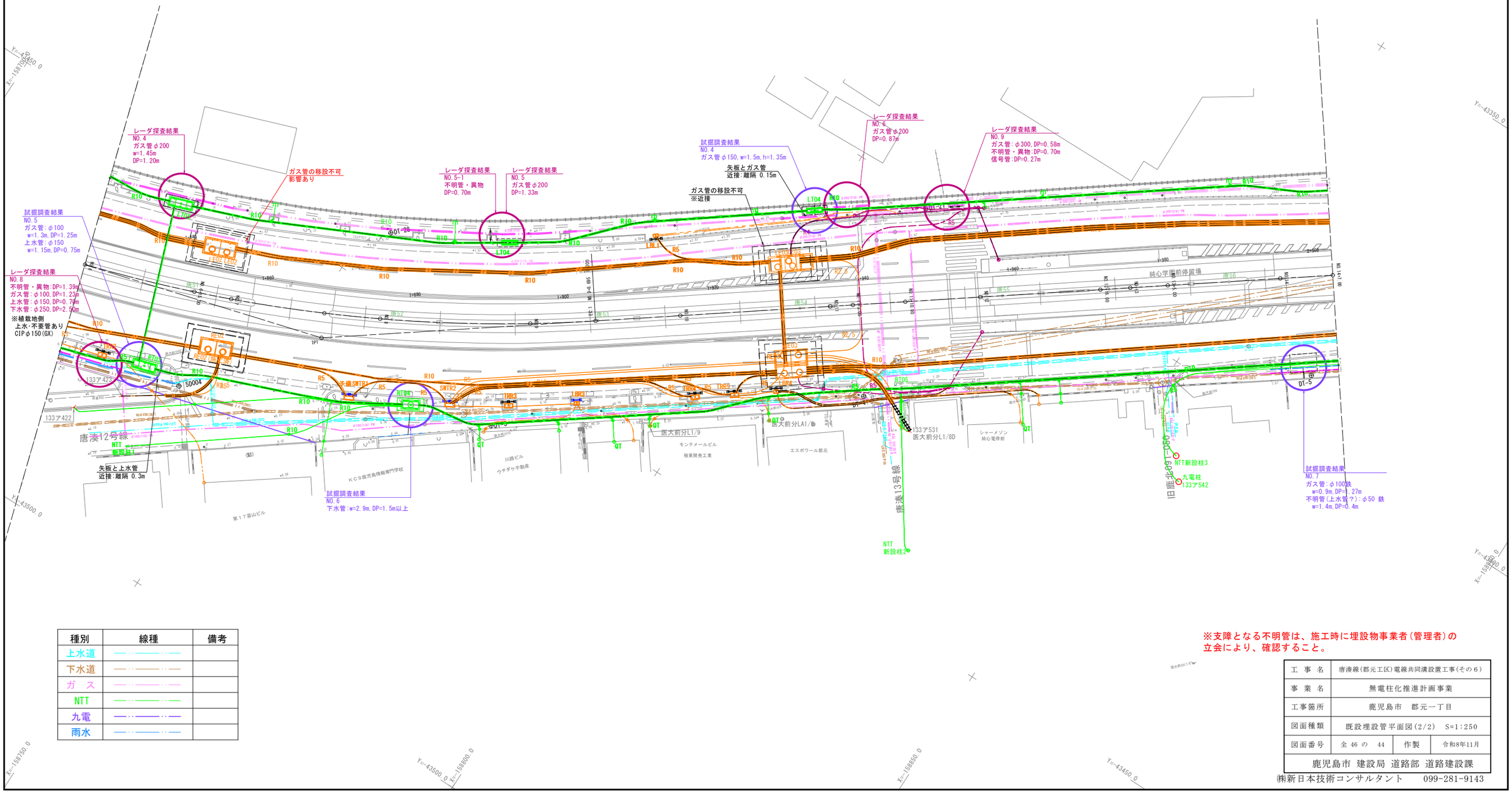
工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その6)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	既設埋設管平面図(1/2)　S=1:250		
図面番号	全 46 の 43	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

既設埋設管平面図(2/2)　(A1)S=1:250　(A3)S=1:500

【NO.6～NO.14+7.0】

（試掘調査結果，レーダ探査結果）



種別	線種	備考
上水道		
下水道		
ガ　ス		
NTT		
九電		
雨水		

※支障となる不明管は、施工時に埋設物事業者(管理者)の立会により、確認すること。

工　事　名	唐湊線(都元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　都元一丁目		
図面種類	既設埋設管平面図(2/2)　S=1:250		
図面番号	全 46 の 44	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

試掘工(1/2)
【BP～NO.6】

(A1)S=1:250 (A3)S=1:500

特殊部凡例

区　分	記　号	名　称
電力系		A-2マンホール 1500×1800×3500
		A-3マンホール 1800×2100×4000
		A-3特Iマンホール 1800×2100×4700
		機器用ハンドホール 680×800×1560（SWM用）
		機器用ハンドホール 420×450×1200（SWT用）
		機器用ハンドホール 470×800×1000（TR用）
		機器用ハンドホール 330×590×610（LB用） 330×650×610（LB用-底なし）
通信系		T-1（特殊部Ⅱ型横断用）（車道） 1400×1800×3000
		T-2（特殊部Ⅱ型横断用）（歩道） 950×1400×3000
		T-3（特殊部Ⅱ型起点用）（歩車道） 950×1500×2200
		T-4（通信接続用）（歩道） 500×1050×2000
		通信用ハンドホール 1400×800×1320

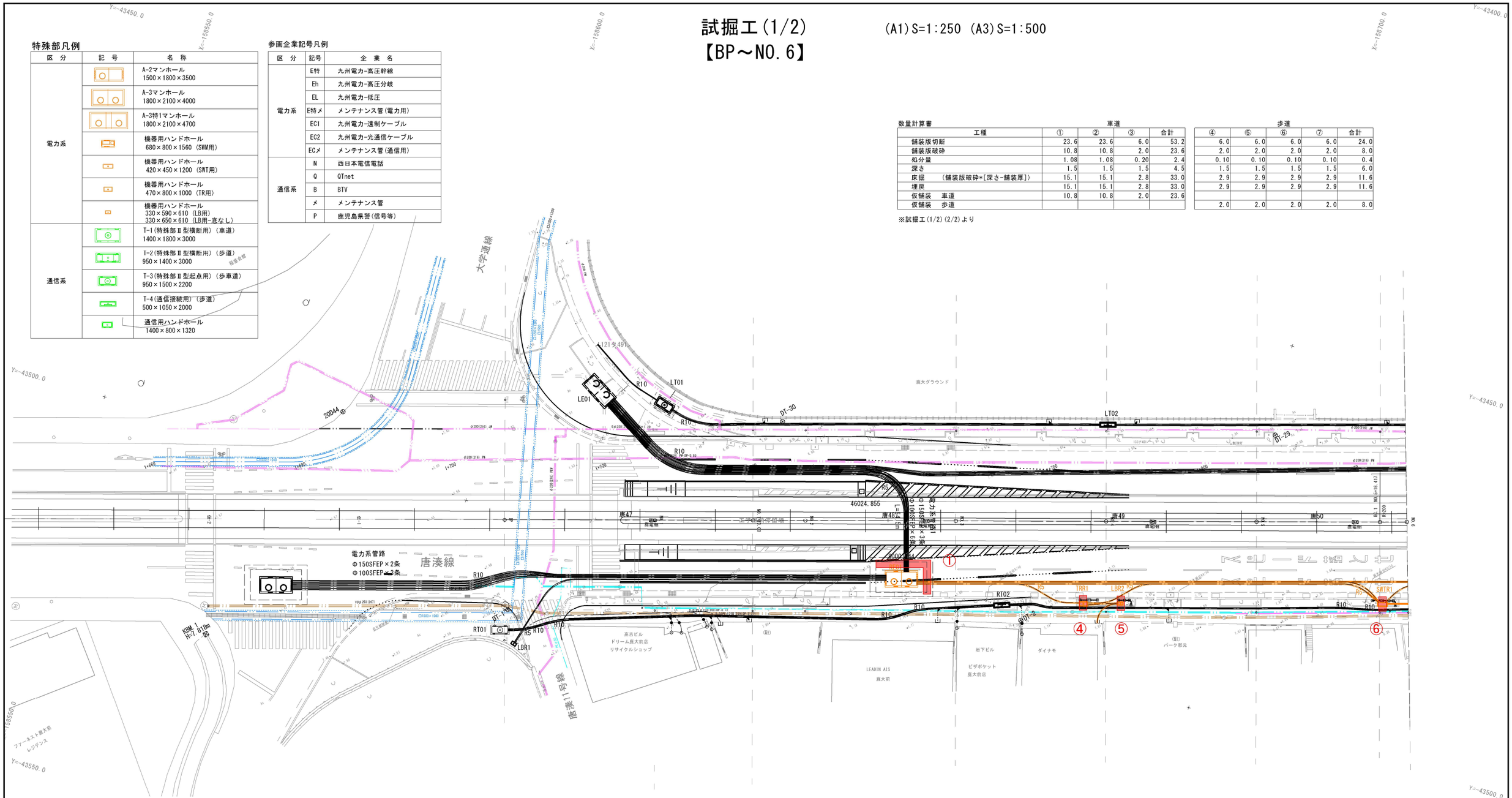
参画企業記号凡例

区　分	記号	企　業　名
電力系	E特	九州電力-高圧幹線
	Eh	九州電力-高圧分岐
	EL	九州電力-低圧
	E特メ	メンテナンス管(電力用)
	EC1	九州電力-遠制ケーブル
	EC2	九州電力-光通信ケーブル
	ECメ	メンテナンス管(通信用)
通信系	N	西日本電信電話
	Q	QTnet
	B	BTV
	メ	メンテナンス管
	P	鹿児島県警(信号等)

数量計算書

工種	車道 ①	②	③	合計	歩道 ④	⑤	⑥	⑦	合計
舗装版切断	23.6	23.6	6.0	53.2	6.0	6.0	6.0	6.0	24.0
舗装版破砕	10.8	10.8	2.0	23.6	2.0	2.0	2.0	2.0	8.0
処分量	1.08	1.08	0.20	2.4	0.10	0.10	0.10	0.10	0.4
深さ	1.5	1.5	1.5	4.5	1.5	1.5	1.5	1.5	6.0
床掘　（舗装版破砕+[深さ-舗装厚]）	15.1	15.1	2.8	33.0	2.9	2.9	2.9	2.9	11.6
埋戻	15.1	15.1	2.8	33.0	2.9	2.9	2.9	2.9	11.6
仮舗装　車道	10.8	10.8	2.0	23.6					
仮舗装　歩道					2.0	2.0	2.0	2.0	8.0

※試掘工(1/2)(2/2)より



種別	線種	備考
上水道		
下水道		
ガ　ス		
NTT		
九電		
雨水		

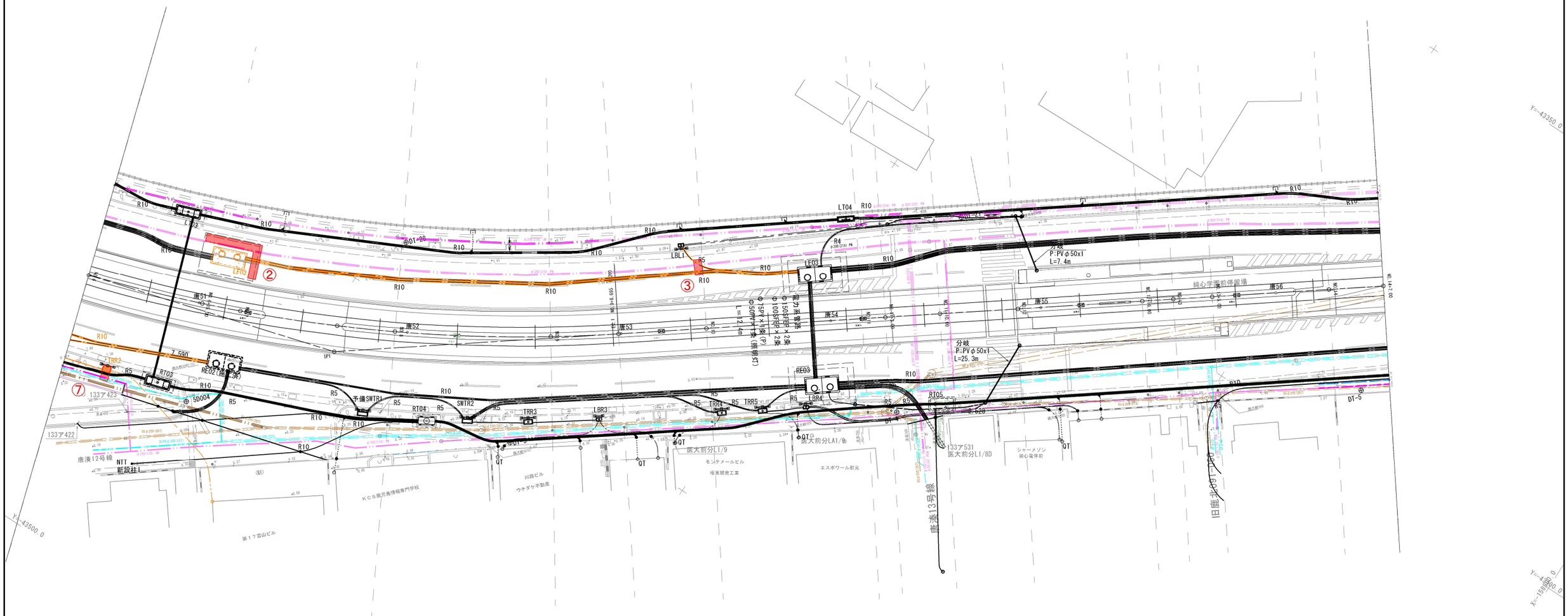
工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	試掘工(1/2)　S=1:250		
図面番号	全 46 の 45	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

試掘工(2/2)

【NO.6～NO.14+7.0】

(A1)S=1:250 (A3)S=1:500



工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その６)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	試掘工(2/2)　S=1:250		
図面番号	全 46 の　46	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143